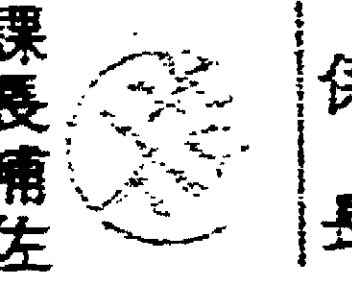
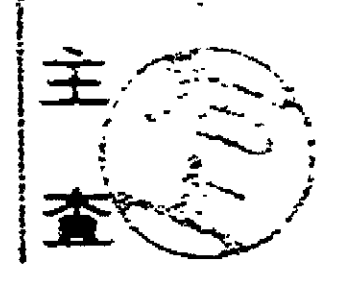
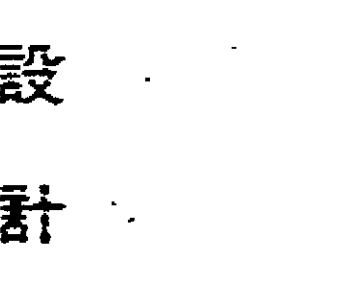


畜犬管理センター管理棟 建設主体工事設計図

昭和54年度

静岡市建築部営繕課

マイクロ NO. 63-2974	昭和 ____年度	工事設計図	図面名 _____ _____ _____	縮尺 _____ 昭和 ____ 年 ____ 月 ____ 日	静岡市 建築部 営繕課	課長  課長補佐  係長  主査  設計	設計事務所 _____ _____ _____	担当者 _____ _____ _____	施設 コードNo. _____ 図 番 _____ _____
---------------------	--------------	-------	--------------------------------	--	----------------	--	----------------------------------	--------------------------------	--

意匠圖

図番	図名	内容	縮尺
A - 1	図面リスト	意匠図, 構造図	
A - 2	建築工事時記仕様書		
A - 3	仕上表	外部仕上, 内部仕上	
A - 4	案内図		1:2500
A - 5	配置図	公図写, 敷地面積求積表	1: 200 1: 600
A - 6	面積表	管理棟客室床面積求積表	1: 100
A - 7	平面図	1階平面図, 2階平面図, 屋根伏図	1: 100
A - 8	立面図	東側立面図, 南側立面図, A-A断面図 西側立面図, 北側立面図, B-B断面図	1: 100
A - 9	矩計図		1: 20
A - 10	平面詳細図 1	1階平面詳細図	1: 50
A - 11	平面詳細図 2	2階平面詳細図	1: 50
A - 12	断面詳細図 1	階段詳細図	1: 20
A - 13	断面詳細図 2		1: 20
A - 14	部分詳細図		1: 20
A - 15	展開図 1	玄関ホール, 事務室, 研究室	1: 50
A - 16	展開図 2	準備室, 湯沸室, 脱衣室, 浴室	1: 50
A - 17	展開図 3	便所, 会議室, 倉庫, 休憩室	1: 50
A - 18	展開図 4	階段室	1: 50
A - 19	天井伏図	1階天井伏図, 2階天井伏図, 2階床伏図	1: 100
A - 20	建具表 1	建具キープラン AD-1~6 SD-1	1: 100 1: 50
A - 21	建具表 2	AW-1~7, ADW-1, 2	1: 50

A - 22

A - 23	雜 詳細図		
A - 24	渡り廊下各図	平面図, 基礎伏図, 梁伏図, 断面図, etc.	1: 20 1: 100
A - 25	ポンプ室各図	平面詳細図, 基礎伏図, 梁伏図, 断面図, etc.	1: 20 1: 30 1: 50, 1: 100
A - 25 ^s	変電室各図	平面詳細図, 基礎伏図, 小屋梁伏図, 立面図, 組計図	1: 50 1: 30

構造図

[illegible]

建築工事特記仕様書

工事概要

工事名称 畜犬管理センター管理棟建設主体工事

工事場所 静岡市産女 953番地

工事規模 鉄筋コンクリート造 2 階 建 鉄骨造 建築面積 123.18 M²
延面積 197.37 M²

別途工事 電気、衛生、空調、雑

一般共通事項

総 則 本工事の仕様は次に掲げる特記仕様書(図面に記載された仕様も含む)に記載された事項の他は総て、建設大臣官房営繕部制定「建築工事共通仕様書」昭和 52 年度版に依る。但し本工事に関係ない事項は適用しない。本工事は特記仕様書、設計図(表紙共 33 枚)設計書、現場説明事項に依るものとし前記何れかに記載あるもの又は技術上当然行うべき工事は含む事とする。

工事管理 本工事は最少限次の工事係員を専従させ、他工事の業務を行う事は出来ない。係員は何れも経歴書提出の上監督員の承認を受けなければならない。

現場代理人 1 名 建設業法に依る。

主任技術者 1 名 一級建築士、二級建築士

係 員 1 名 主任技術者と兼務可

工事写真 本市「工事用写真撮影要領」に依る。但し竣工写真はカラーとする。尚、塗装工事に於ける各塗膜層を確認出来る様カラー撮影とする。

仮 設 工 事 仮囲いは工事関係者以外乱りに出入り出来ぬ様に高さ(1.8 M)の(合板 鋼板)とする。尚その範囲は設計図に依るものとする。

場内には仮設便所、防災施設(消火器具、喫煙所等)を設ける。尚監督員詰所は 種別 号とする。電力用水の小メーターを必ず設置する。尚設置撤去には監督員の立合いを要する。

土 工 事 残土処分は(場内、場外)とし、その指定場所は(業者処分)とし地名地番、土地所有者、土量を明記の上写真を添へて提出する。

杭 打 工 事 AC杭、RC杭、PC杭 径 300φ 長さ 5 M 耐力 20 TON/本 結果表を提出する事。

コンクリート工事 鉄筋コンクリートの所要強度、Fc=210kg/cm²、無筋コンクリートの所要強度、Fc=135 kg/cm² 製品はJIS規格による。

鉄 筋 工 事 丸鋼 SR 24 異形鉄筋 SD (30、35)

鉄 骨 工 事 鉄骨加工図及現寸図を作成し監督員の承認を得る事。
ボルト締付試験表を提出の上監督員の承認を得る事。尚締付完了后検査を行う。その数は各ボルト群毎にボルト数の10%以上かつ1個以上として結果表を提出する事。 錆止めは塗装業者が施工する。

防 水 工 事 屋内E-2 屋外A-2

責 任 施 工 本工事は責任施工とし請負業者、防水施工業者の連帯責任とし保証書(期間10年)を提出する事。

組 積 工 事 ブロック C種、防水 100 120 150 200 補強鉄筋 タテ9φ ー@400 ヨコ9φ ー@400
但し、隅角部及開口部は13φ 補強とする。
ALC版、ヘーベル、イトシ、シボレックス、小野田製品とする。割付図書提出の上監督員の承認を得る事。

タ イ ル 工 事 割付図提出の上監督員の承認を得る事。 在来工法、改良圧着工法、圧着工法、伸縮母地

木 工 事 本工事着手前に加工図を提出し、監督員の承認を得る事。
造作材の等級 (B 種) 代用樹種 (認、禁止、一部)

左 官 工 事 各部仕様の柱、壁、出隅は24% (8 分) 入隅は9 % (3 分) 丸面取りとし平面定木摺仕上とする。
コンクリート下地、モルタル塗の場合は、水洗の上、接着剤を塗り施工する。

金 属 工 事 製作金物は工作図を作成の上監督員の承認を受け製作する。尚取付前に監督員の製品検査を受ける事。
錆止めは塗装業者が施工する。

建 具 工 事 製作に先立ち施工図を提出監督員の承認を得る事。
アルミ建具 強度 240kg/M² YKK、不二、豊和、三協、 同等品とする。
ガラス廻り押へについて、原則としてUゴムを使用し、使用不可能な場合は、シリコーン押へとする。

鋼 製 建 具 渡辺、三井、近畿、同等品とする。

鋼製シャッター 鈴木、小保、東洋、文化、日本、三和同等品とする。

木 製 建 具 合板類は総て耐水合板(タイプⅡ)とする。又見込寸法は総て仕上寸法とし両面取りとする。

建 具 金 物 総て見本品提出の上監督員の承認を得る事。

鍵 保 管 箱 建具錠は名札(プラスチック製)を付け保管箱に収めて引渡す事。

内 装 工 事 本工事に使用する材料は総て見本品提出の上監督員承認后使用する。
天井割付図等施工図を提出監督員の承認を得る事。
湯沸室、浴室、更衣室、実験室、ハステレススを使用する事

塗 装 工 事 鉄部錆止め 17.4.3 表 A類 B類、C類
色合い、柄は総て見本帳(昭和48年度日本塗料工業会)及見本塗により決定する。

造 作 家 具 工 事 本工事は製作図を提出監督員承認の上製作取付の事。

雑 工 事 室名札、便所表示板、ロッカー、人研流し、カウンター、換気扇、ダムウエーダ
見本カタログ等提出の上監督員の承認を得る事

附 帯 工 事 非常階段、鉄骨造 階建用、 渡り廊下、 鉄骨造平家建、延面積 28.22 M²
受水槽、ポンプ室、鉄筋コンクリート造平家建、延面積 18.18 M²
鉄骨造平家建

マイクロ NO. 63-2976	昭和 54年度	畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図	図 面 名 建築工事特記仕様書	総尺 昭和54年7月 日	静岡市建築部 営繕課	課長補佐 係長	主査 設計	設計事務所 株式会社ナカノ工房 一級建築士事務所	担当者	図 番 5-15-000 A-31-2
---------------------	------------	-----------------------	--------------------------	-----------------	---------------	------------	----------	--------------------------------	-----	------------------------------

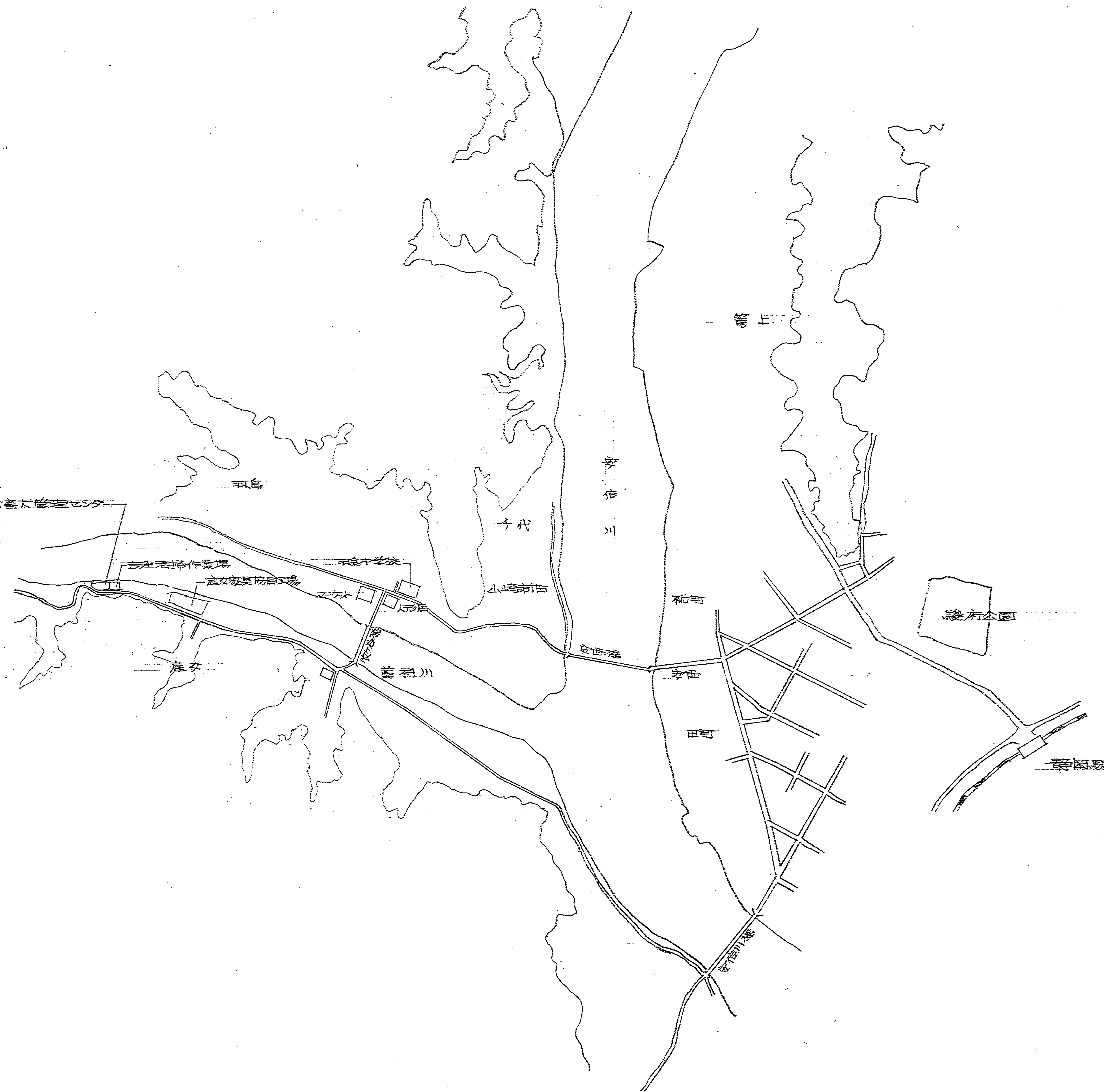
外部仕上

屋 上	コンクリート直仕上/上アスファルト防水(A-2)、防水サエ—豆粒利コンクリート打金鍍押エ仕上(作務員地、ホコリ等遮りガ付) 押エレンガ 堅固ニ防水モルタル金鍍押エ仕上、防水底—アスファルトシリシテ、土層入層—監修協会仕様ニ依ル
ト レ イ ン	機型トレイン φ75 — 鋳鉄製
屋 上 手 摺	アルミ製
壁 樋	樹脂塩化ビニール管(VP) φ75 VP塗り、取付金物 @1200以内 OP塗り 食料マス: @0.8% 塩ビ鋼板裏面付ロエ OP塗
庇	防水モルタル金鍍押エ A.E.P.塗
上 ゲ 裏	コンクリート打放し 小口タイル貼、アルミ白磁色スラットレール張
外 壁	コンクリート打放し上無機塩化カルシウム吹付、小口タイル貼、柱梁型—コンクリート打放し上無機塩化カルシウム吹付
ヤ 木	コンクリート打放

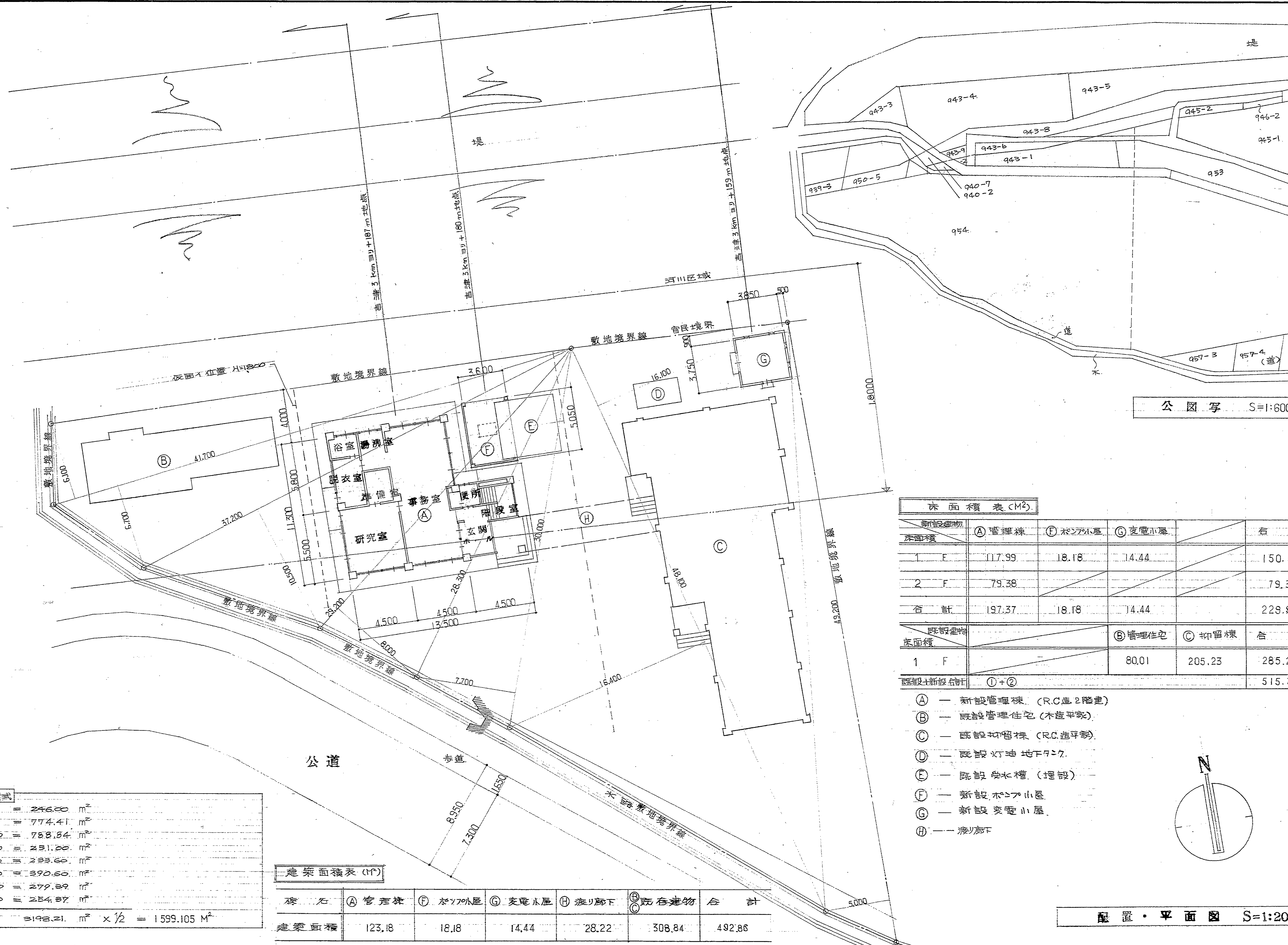
外 窓	アルミサッシュ
玄関ポーチ	床:100 角床用磁器タイル貼、階段—踏面磁器タイル貼、100 角床用磁器タイル貼、ノンスリップ:磁器タイル貼
大 走 り	コンクリート金鍍押エ (目地切) 階段—踏面磁器タイル貼、100 角床用磁器タイル貼、ノンスリップ:磁器タイル貼
備 考	

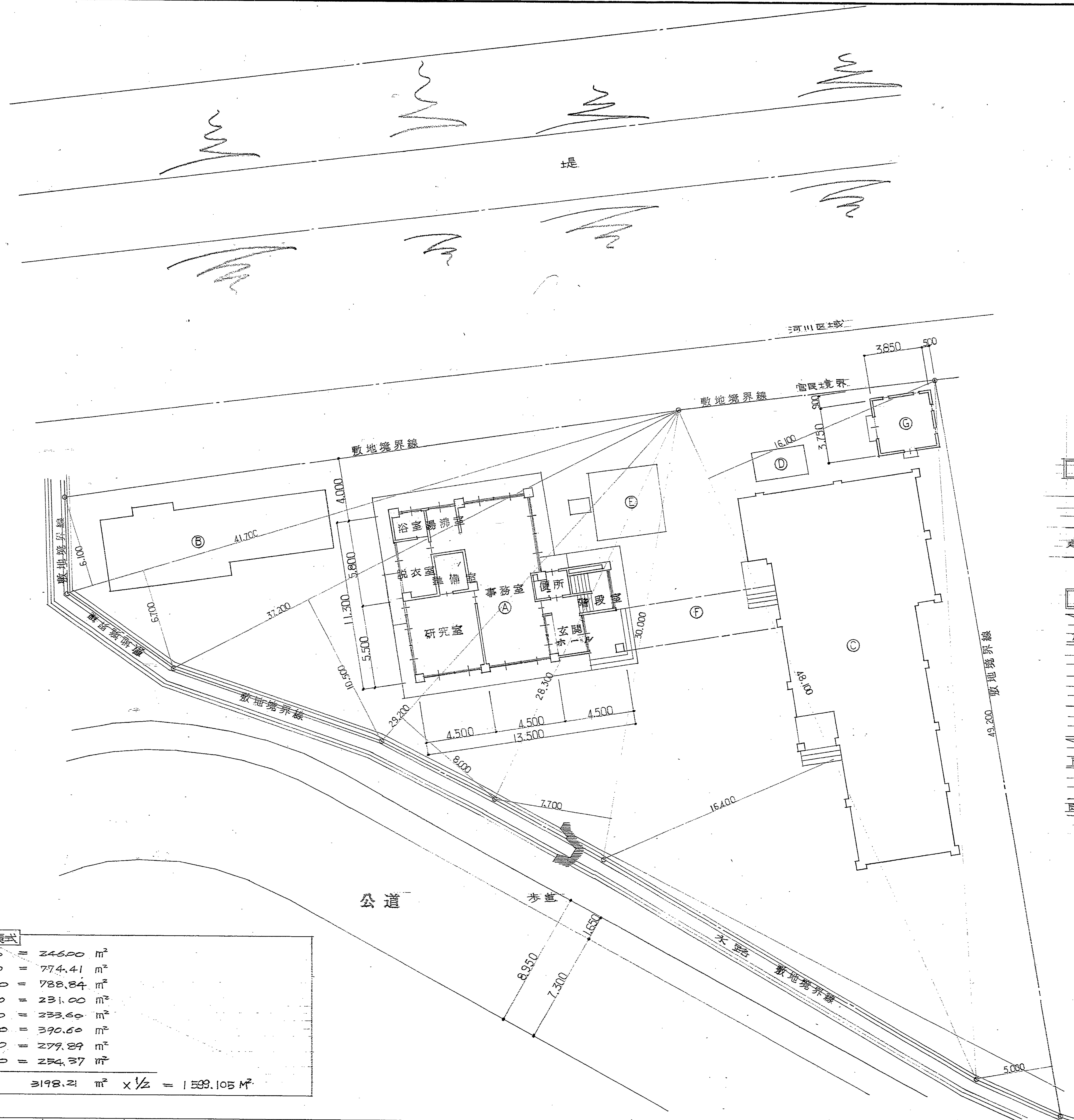
内部仕上

階	室 名	床	塗 装	巾 木	塗 装	腰 壁	塗 装	天 井	塗 装	備 考
1	玄関 ホール	100角床用磁器タイル貼		モルタル金鍍押エ (目地切) H=90	A.E.P.	②25% モルタル金鍍押エ	A.E.P.	化粧石ゴウボード張 (シフトン程度) 910×910×9		カウンタ—、廻りフチ:塩ビ製
1	事務室	②2% 長尺床材貼		モルタル金鍍押エ (目地切) H=90	A.E.P.	②25% モルタル金鍍押エ 樹脂系塗料吹付 (ラフトン程度)		化粧石ゴウボード張 (シフトン程度) 455×910×9		アルミフラインドボックス 廻り縁:塩ビ製
1	湯沸室	②2% 長尺床材貼		モルタル金鍍押エ (目地切) H=90	A.E.P.	②25% モルタル金鍍押エ	A.E.P.	石綿ケイサンカルシウム板目遮シ張 910×1820×6	VPzチア	流シカス台 φ=1795、排水口 (KJ-4型)、排水口 (φ250) 排水口 φ=1200、廻り縁:塩ビ製
1	浴室	24 角モザイクタイル貼						②63%フレキシブル板目遮シ張 910×1820×6	VP	ステンレス浴槽、バラン型風呂金 (ホム付) 廻りフチ:塩ビ製、換気レザター 200×150
1	脱衣室	②15 フローリング張 材種:ナラ		木製(ラワン程度) H=100	O.P.	②25% モルタル金鍍押エ	A.E.P.	石綿ケイサンカルシウム板目遮シ張 910×1820×6	VPzチア	廻りフチ:塩ビ製
1	研究室	150角カンカータイル貼					V.P.	石綿ケイサンカルシウム板目遮シ張 910×1820×6	V.P.	実験台、カスス流シ(ホム付) 500×500、換気扇 (φ250) 廻りフチ:塩ビ製、排水溝:グレーンゲ (300×99.5)
1	準備室	モルタル カラークリート		モルタル金鍍押エ (目地切) H=90	A.E.P.	②25% モルタル金鍍押エ	A.E.P.	プラスチックボード目遮シ張 910×1820×9	EP	換気扇(天井埋込) 廻りフチ:塩ビ製 流シ台 φ=1200 (KJ-2型)
1	便所	24 角モザイクタイル貼					A.E.P.	化粧石ゴウボード張 (シフトン程度) 455×910×6		換気扇(天井埋込) 廻りフチ:塩ビ製
失 通	階段室	②2% 長尺床材貼		モルタル金鍍押エ (目地切)	A.E.P.	②25% モルタル金鍍押エ (梁型含む) 石綿ケイサンカルシウム板目遮シ張	A.E.P.	化粧石ゴウボード張 (シフトン程度) 910×910×9		廻りフチ:塩ビ製
2	階段 ホール	②2% 長尺床材貼		モルタル金鍍押エ (目地切) H=90	A.E.P.	②25% モルタル金鍍押エ 石綿ケイサンカルシウム板目遮シ張	A.E.P. A.E.P.	化粧石ゴウボード張 (シフトン程度) 910×910×9		廻りフチ:塩ビ製
2	会議室	②2% 長尺床材貼		木製(ラワン程度) H=100	O.P.	クロス貼		化粧石ゴウボード張 (シフトン程度) 910×910×9		廻りフチ:塩ビ製
2	倉庫	モルタルカラークリート		モルタル金鍍押エ 木製(ラワン程度) H=90	O.P.	ラワン合板張 910×1820×55 モルタル金鍍押エ ②25%		プラスチックボード目遮シ張 910×1820×9	EP	廻りフチ:塩ビ製
2	休憩室 8.0 帖	タタミ敷(ハリ付) 一部移甲板張(校) (貼物) 踏込:長尺床材貼		タタミ寄ヒ		シェラック塗		杉 至 ベニヤ 張		押入、床/廊、板/廊、より樫:ヤ松線付集成材 (90×180) 化粧樑木:桧材材、付鴨居、廻りフチ:桧 (45×40)
2	床ノ間	ヤ松化粧合板張		桧 布 摺		シェラック塗		杉 至 ベニヤ 張		樫:ヤ松線付集成材、落シ樫:桐線付集成材 (90×60) 廻りフチ:桧 (45×40)
2	押入	ラワン合板張 910×1820×55		桧 布 摺		ラワン合板張 910×1820×3 一部 プラスター塗		ラワン合板張 910×1820×3		中段:樫子樫 付



施設 コードNo.	5・15・000
図番	A・31・4





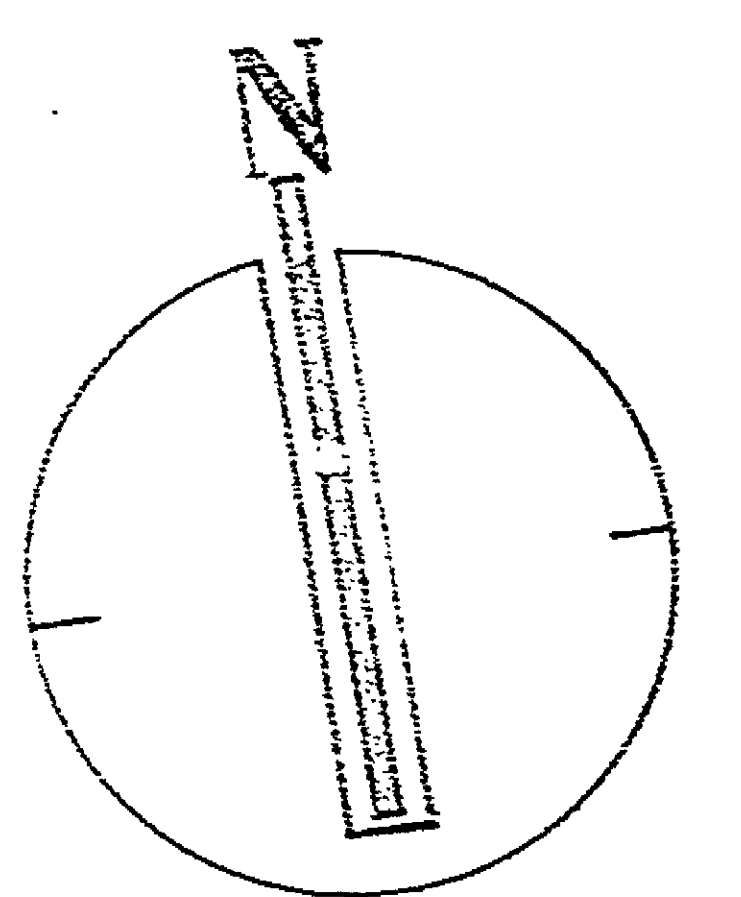
建築面積表 (M²)

棟名	④ 管理棟	⑤ 変電小屋	⑥ 養子廊下	⑦ 既存建物	合計
建築面積	123.18	14.44	28.22	308.84	474.68

床面積表 (M²)

新設建物	④ 管理棟	⑤ 変電小屋	合計
床面積			
1 F	117.99	14.44	132.43
2 F	79.38		79.38
合計	197.37	14.44	211.81 = ①
既存建物	⑦ 管理住宅	⑧ 抑留棟	合計
床面積			
1 F	80.01	205.23	285.24 = ②
施設積設 ①+②			497.05

- ④ 一新設管理棟 (R.C. 2階建)
- ⑤ 一既存管理住宅 (木造平家)
- ⑥ 一既存抑留棟 (R.C. 平家)
- ⑦ 一既存灯油地下タンク
- ⑧ 一既存変電槽 (埋設)
- ⑨ 一新設養子廊下
- ⑩ 一新設変電小屋



配置・平面図 S=1:200

敷地面積求積式

49.20×5.00	=	246.00 m ²
48.10×16.10	=	774.41 m ²
48.10×16.40	=	788.84 m ²
30.00×7.70	=	231.00 m ²
29.20×8.00	=	233.60 m ²
37.20×10.80	=	399.84 m ²
41.70×6.70	=	279.89 m ²
41.70×6.10	=	254.37 m ²
合計		3198.21 m ² × 1/2 = 1599.105 m ²

マイクロ NO.

63-2980

昭和

54年度

畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図

図面名 配置図

縮尺 1:200, 1:600

昭和 年 月 日

静岡市建築部

管 理 課

課長 補佐

係長

主査

設計

監理

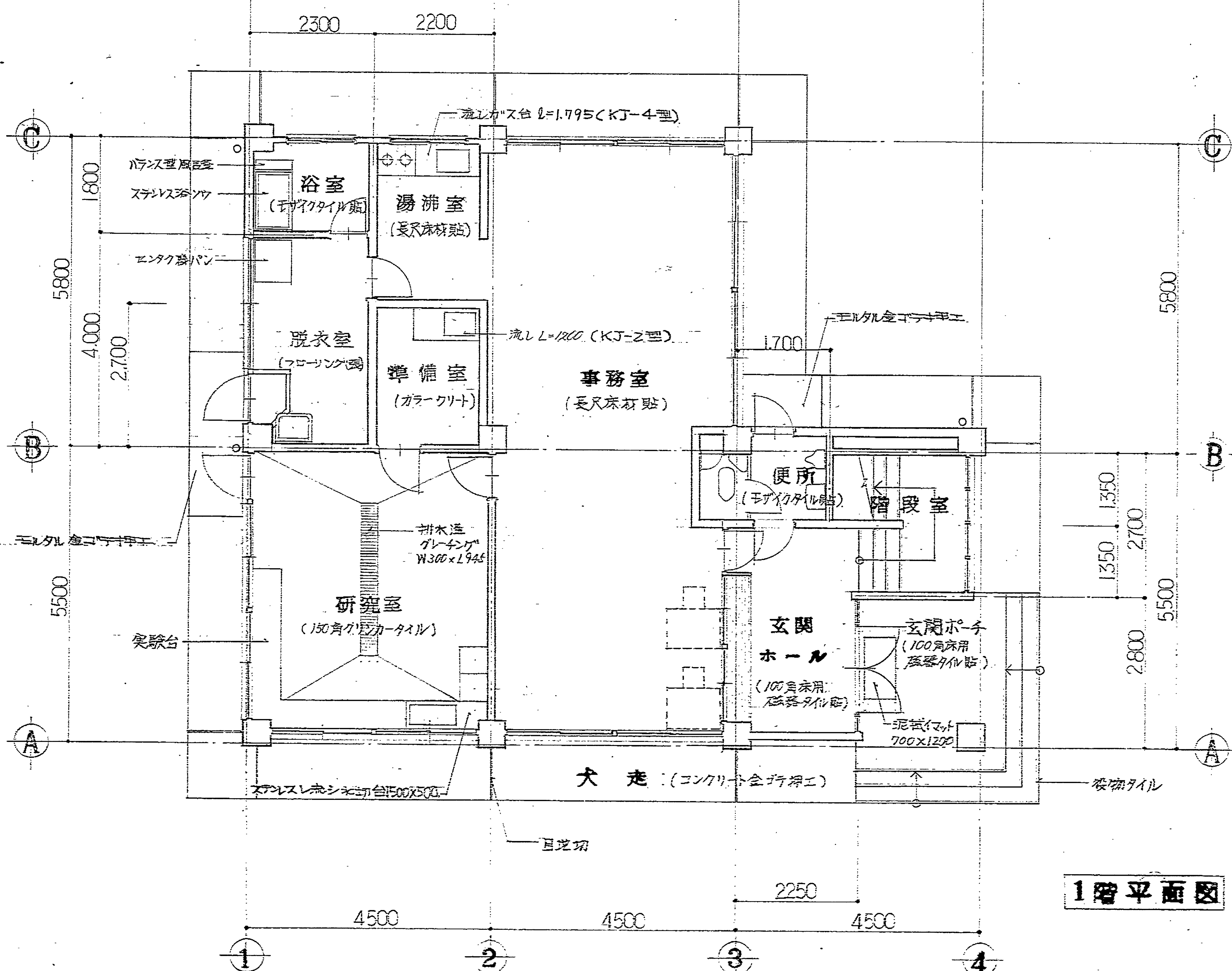
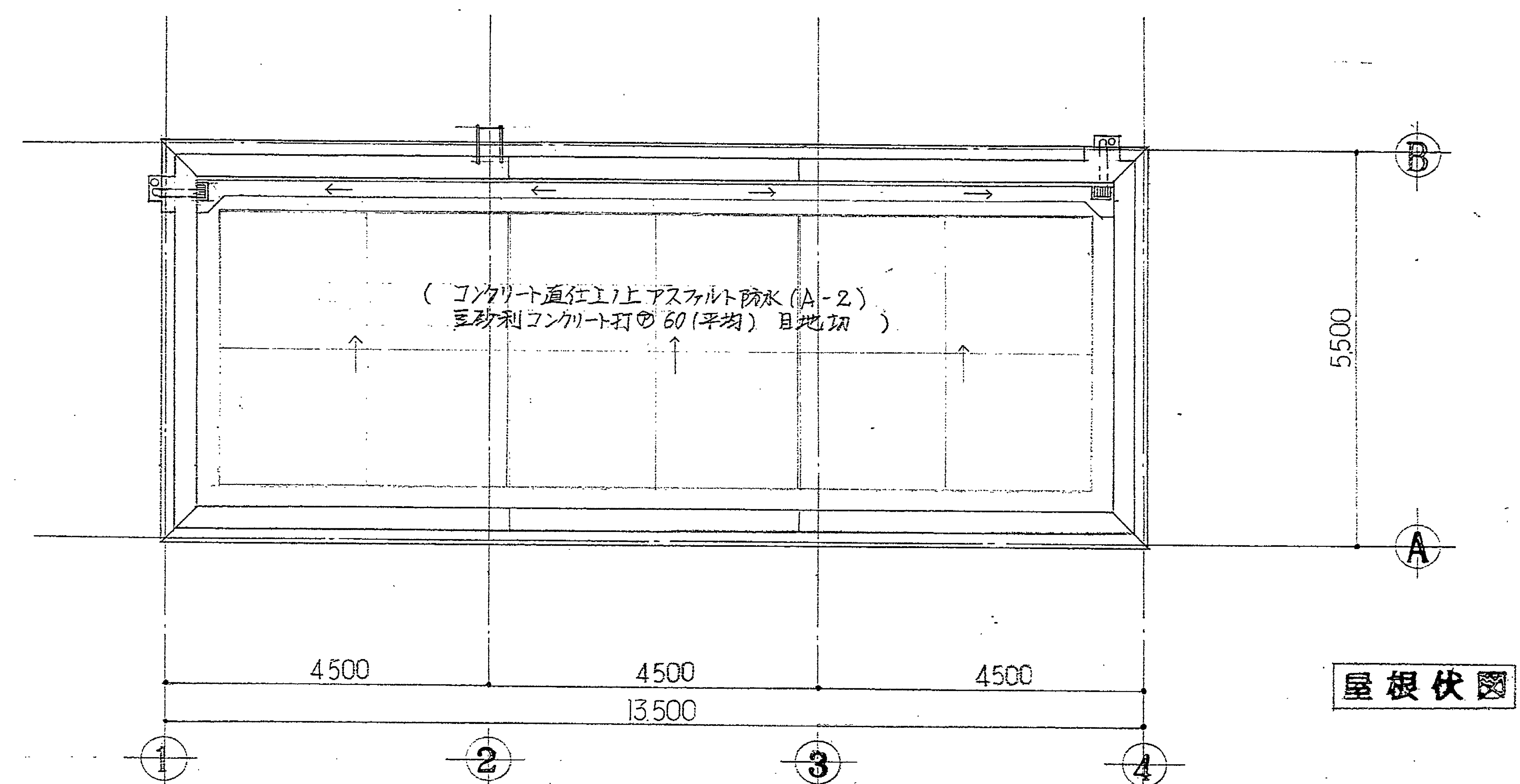
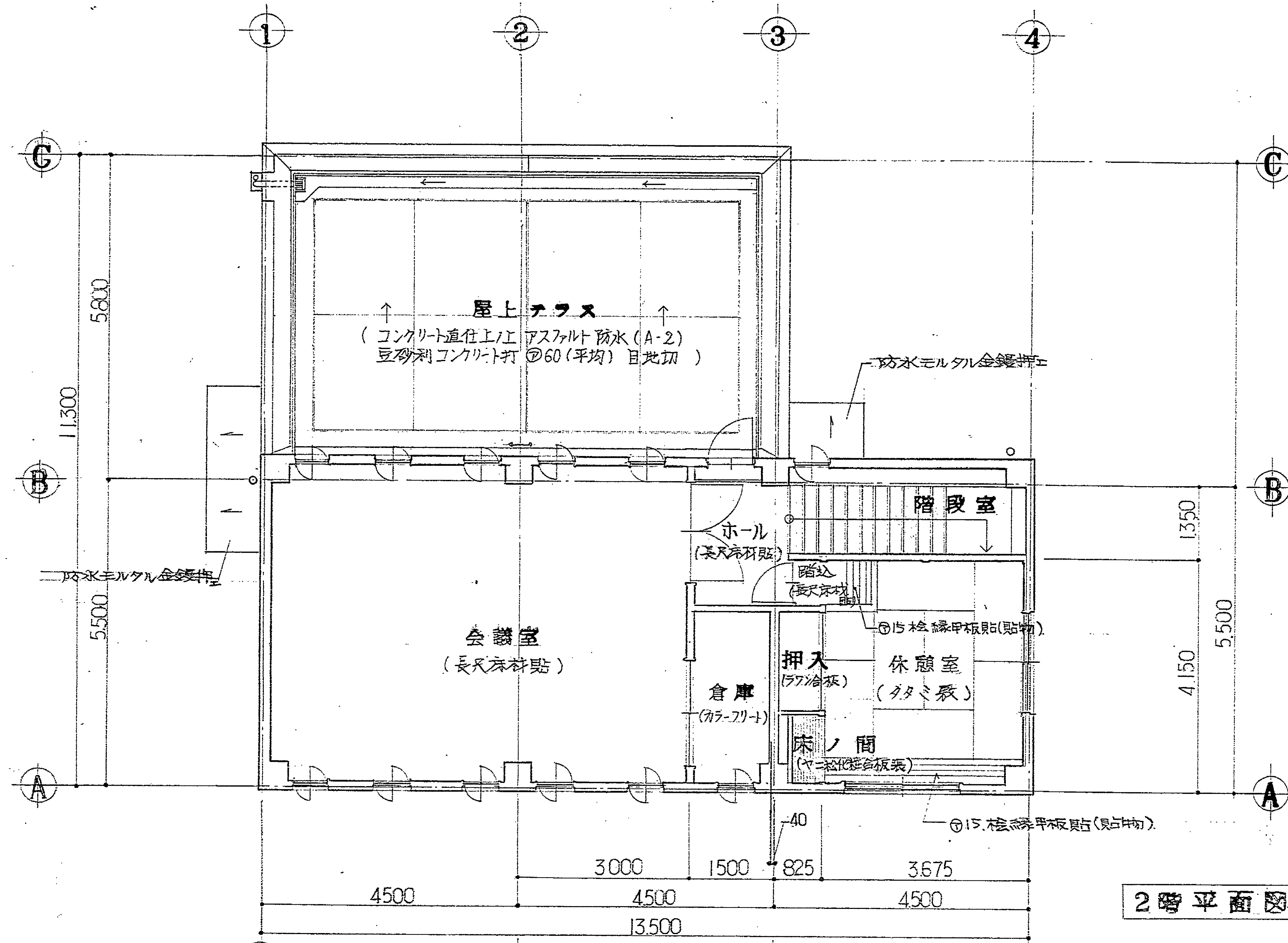
株式会社ナカノ工房

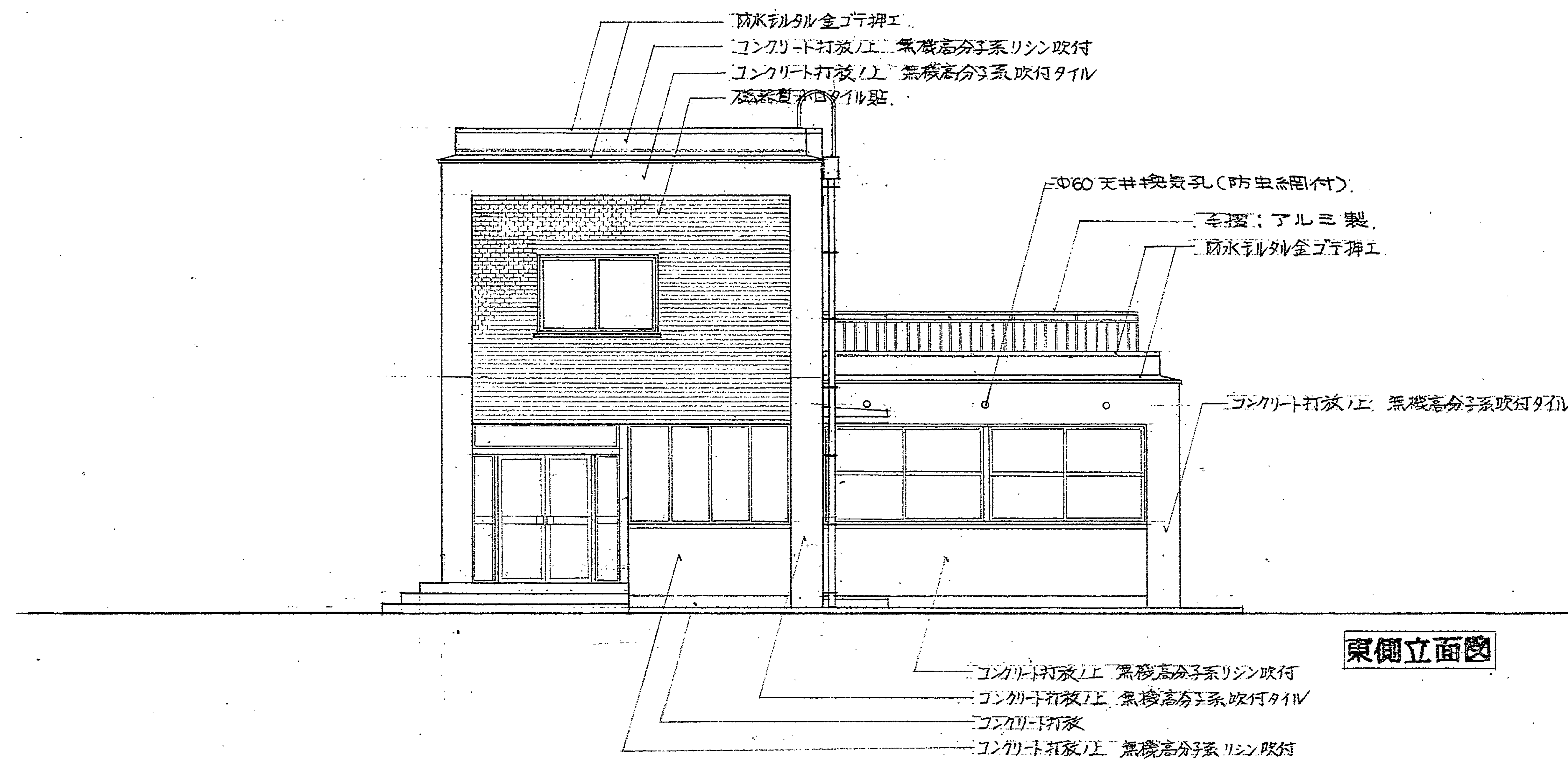
一級建築士事務所

担当者

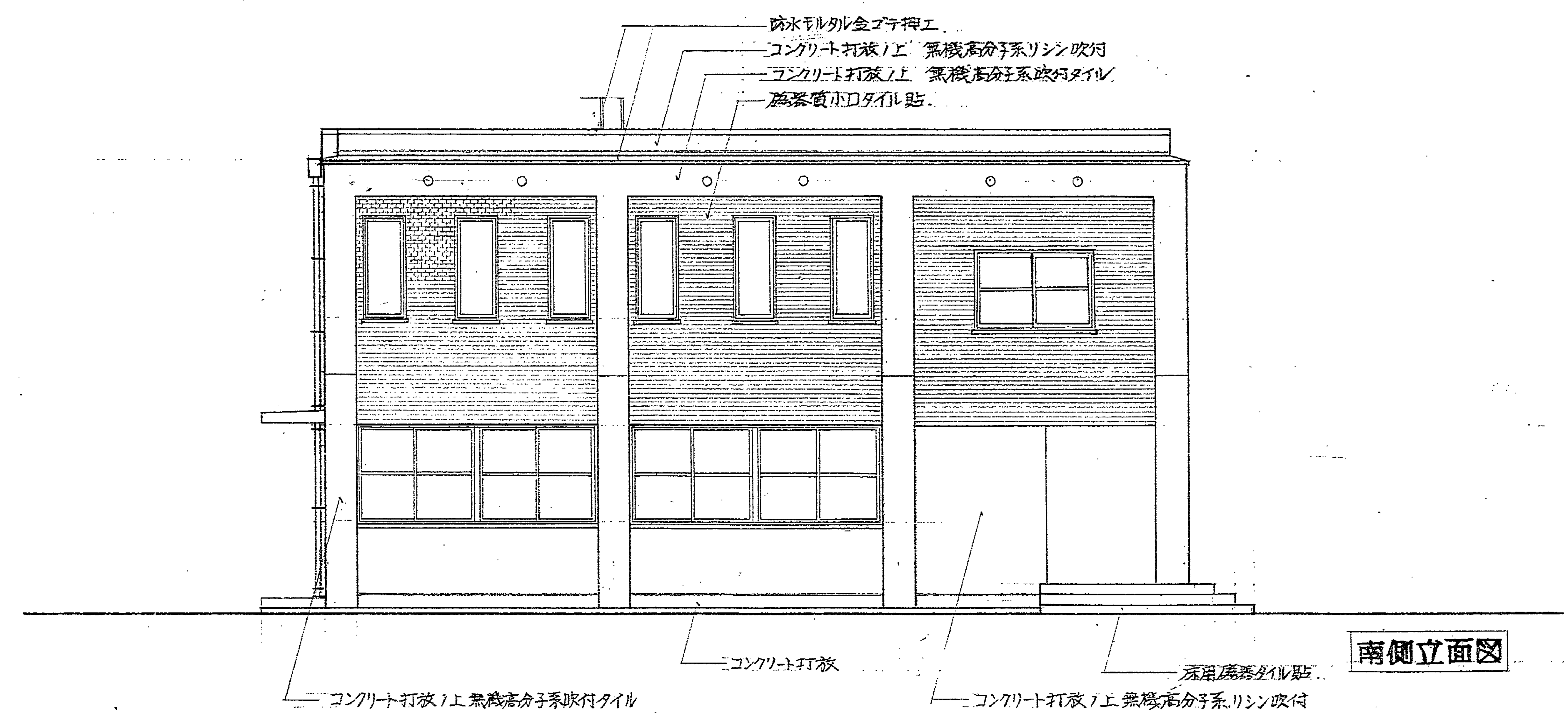
施設コード 5・15・000

図番 A・31・5

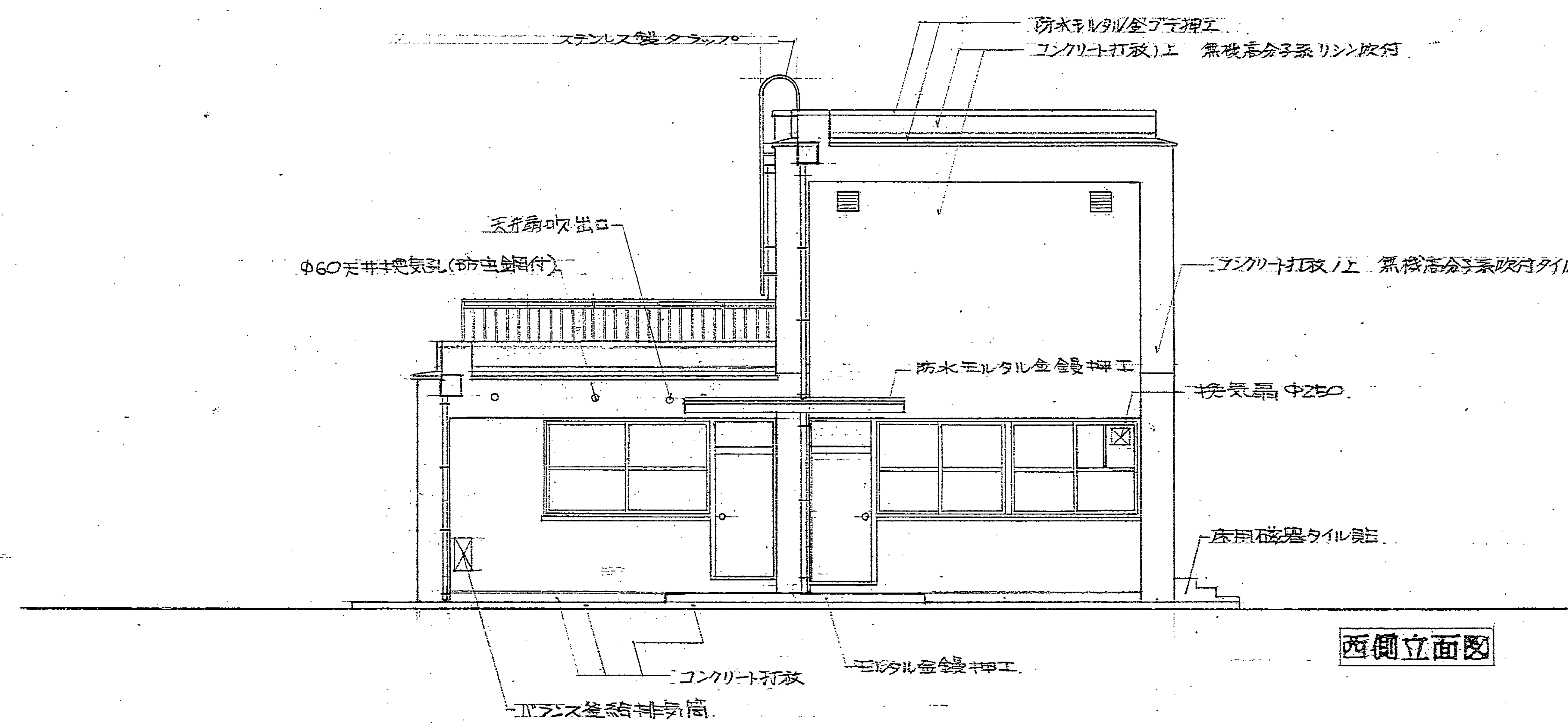




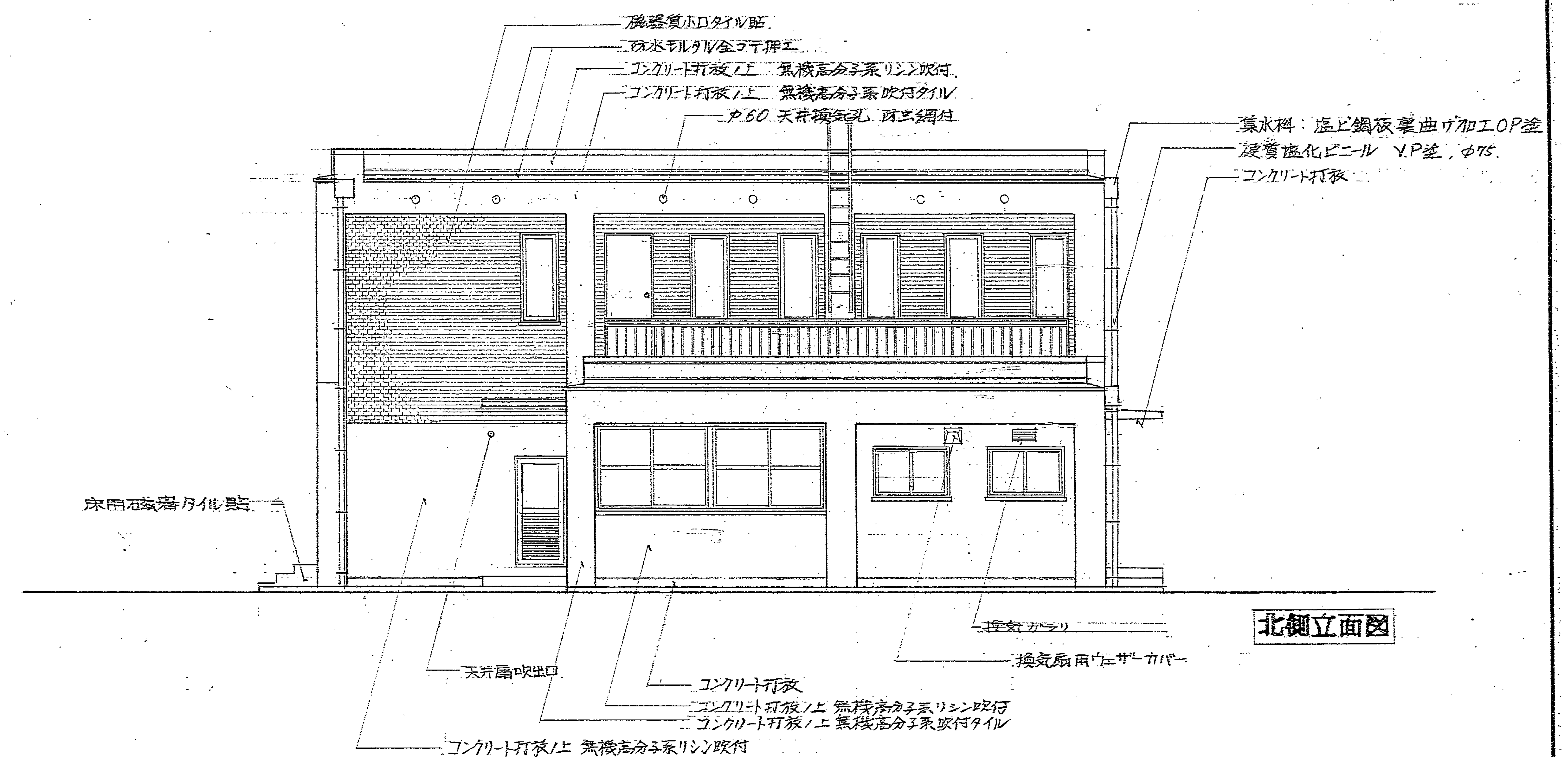
東側立面図



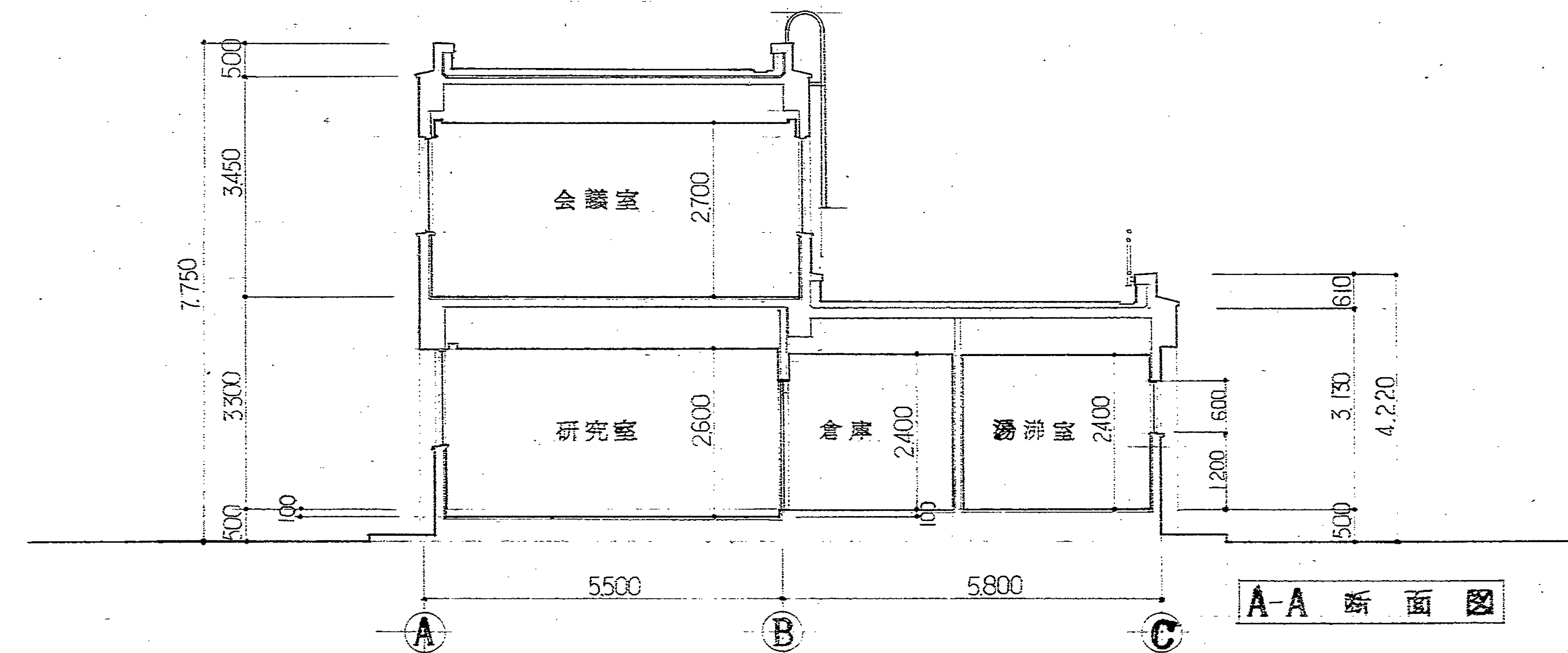
南側立面図



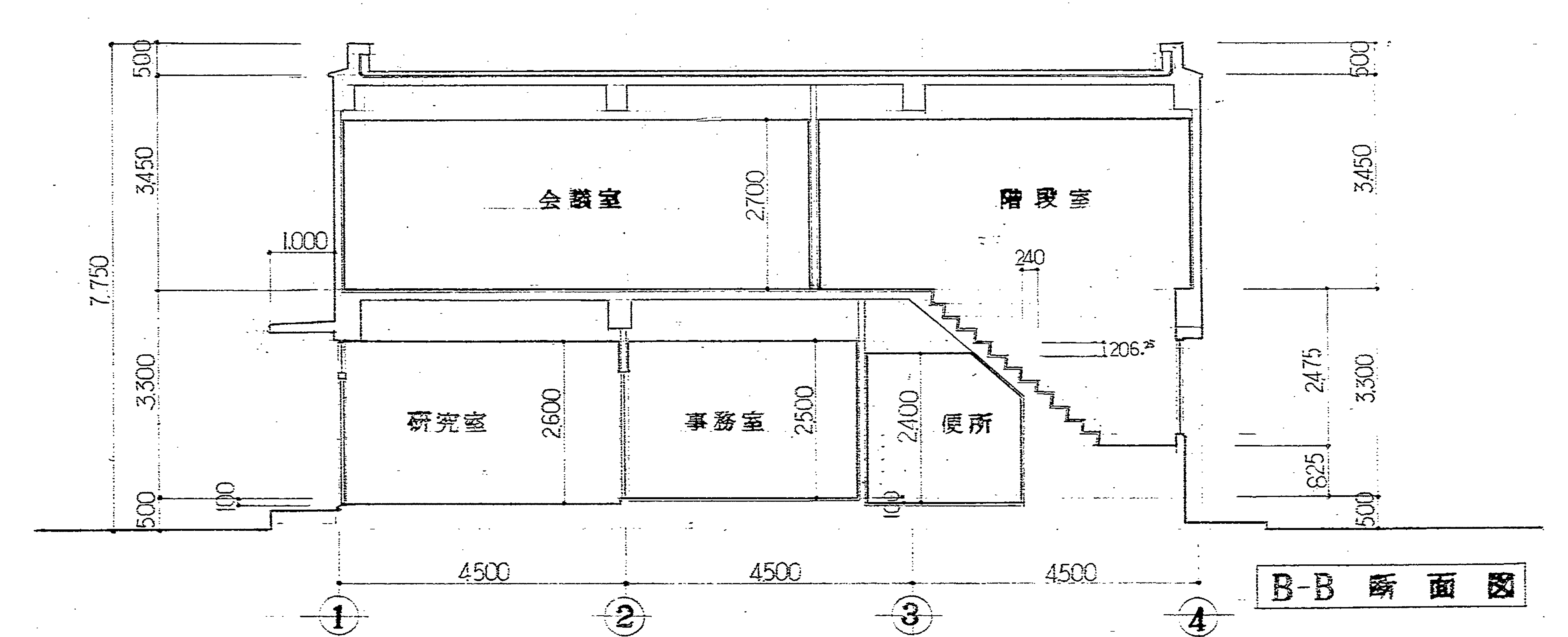
西側立面図



北側立面図



A-A 断面図



B-B 断面図

マイクロ NO.
63-2984

昭和
54年度

倉大管理センター警備施設増設工事設計図

図
組 計 図

縮尺 1:20
昭和54年7月 日

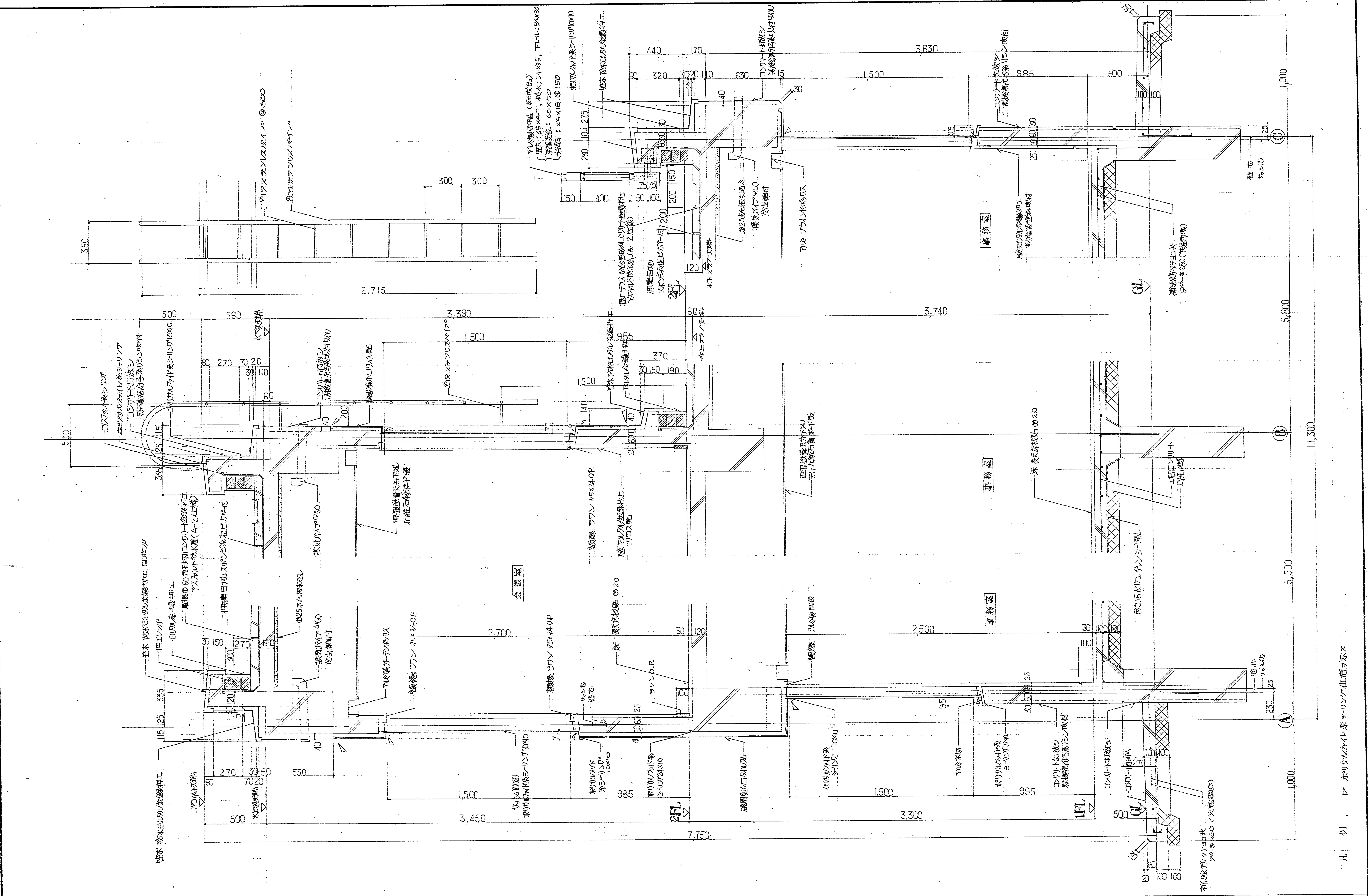
静岡市 建築部

課長 佐藤 秀雄
係長 佐藤 秀雄

主 査 佐藤 秀雄
設 計 佐藤 秀雄
監 理 佐藤 秀雄

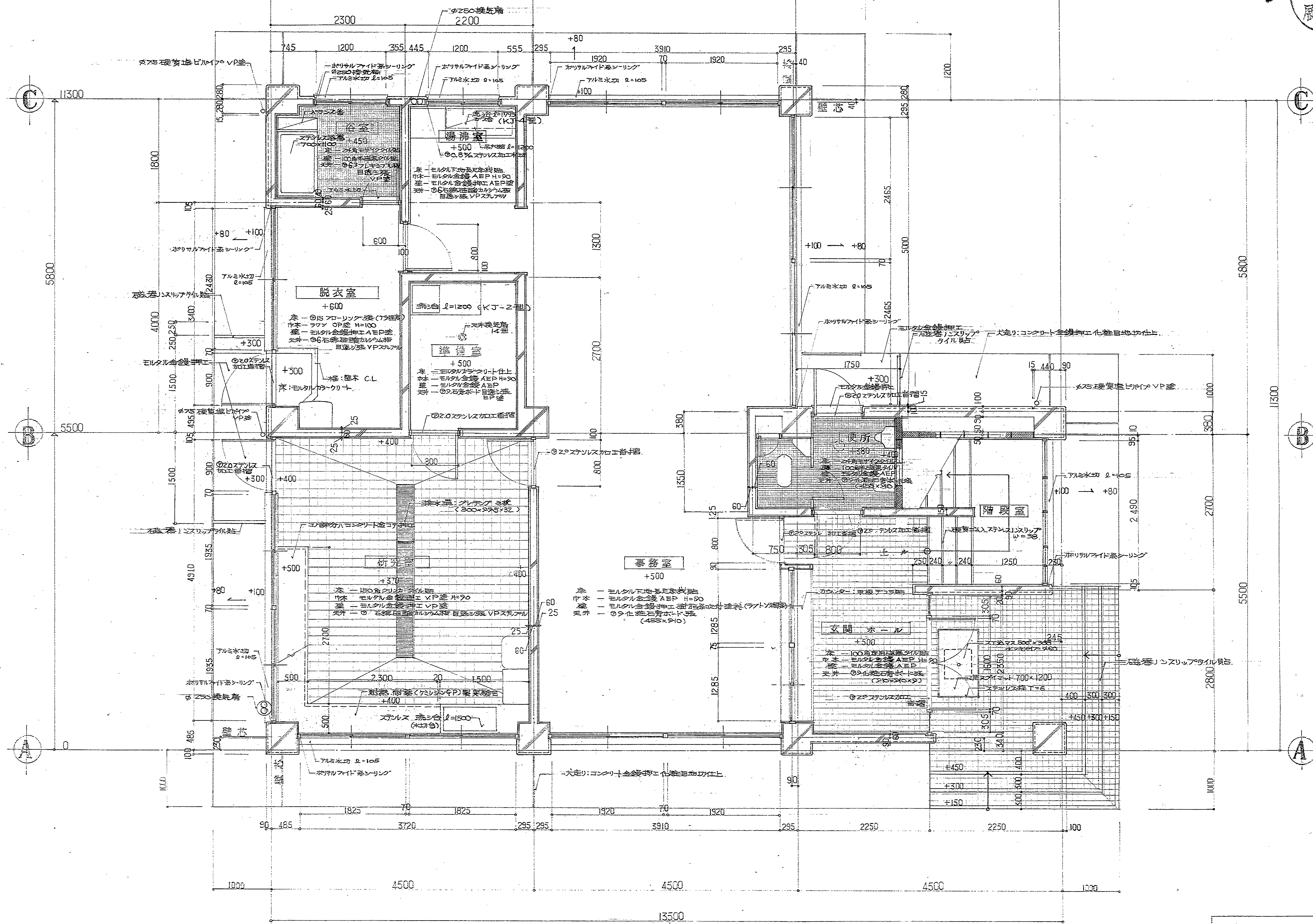
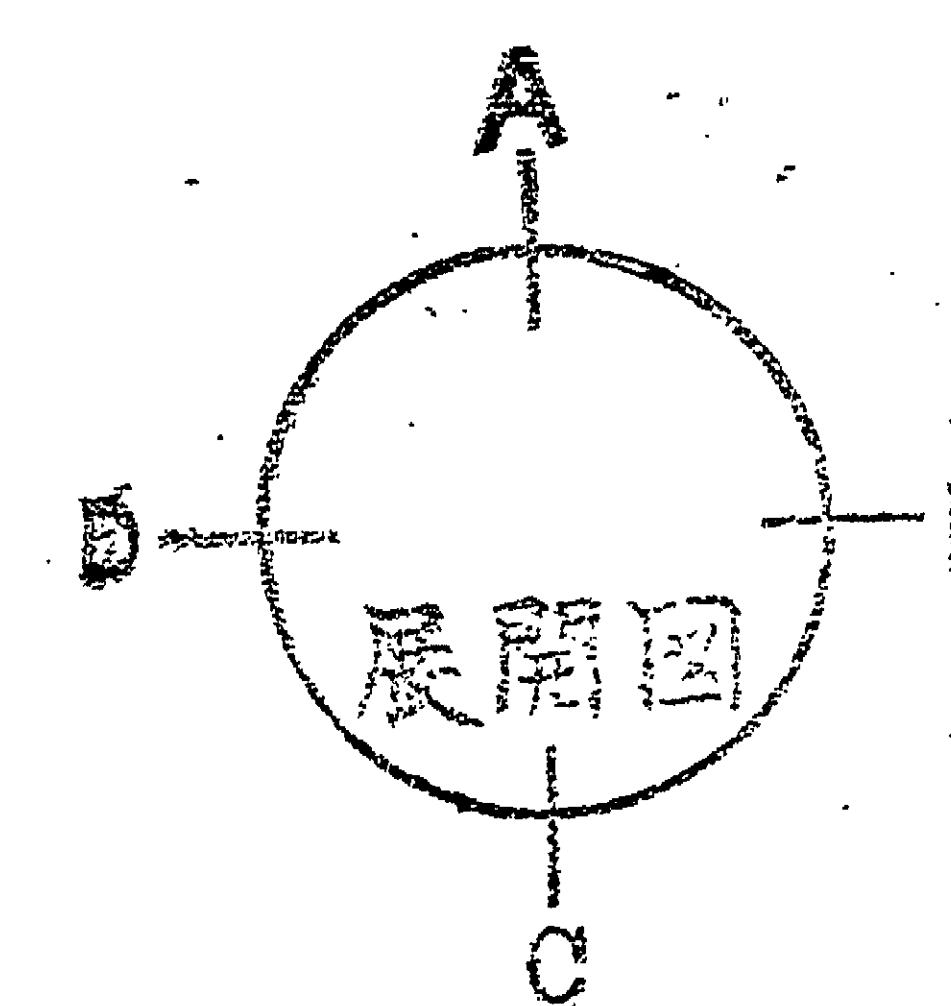
株式会社ナカノ工務
一級建築士事務所
代表取締役 佐藤 秀雄

施 設
ロー 5・15・300
図 番 A・31・9



凡 例
▽ 本館サロンの茶・ラウンジ・広場・テラス

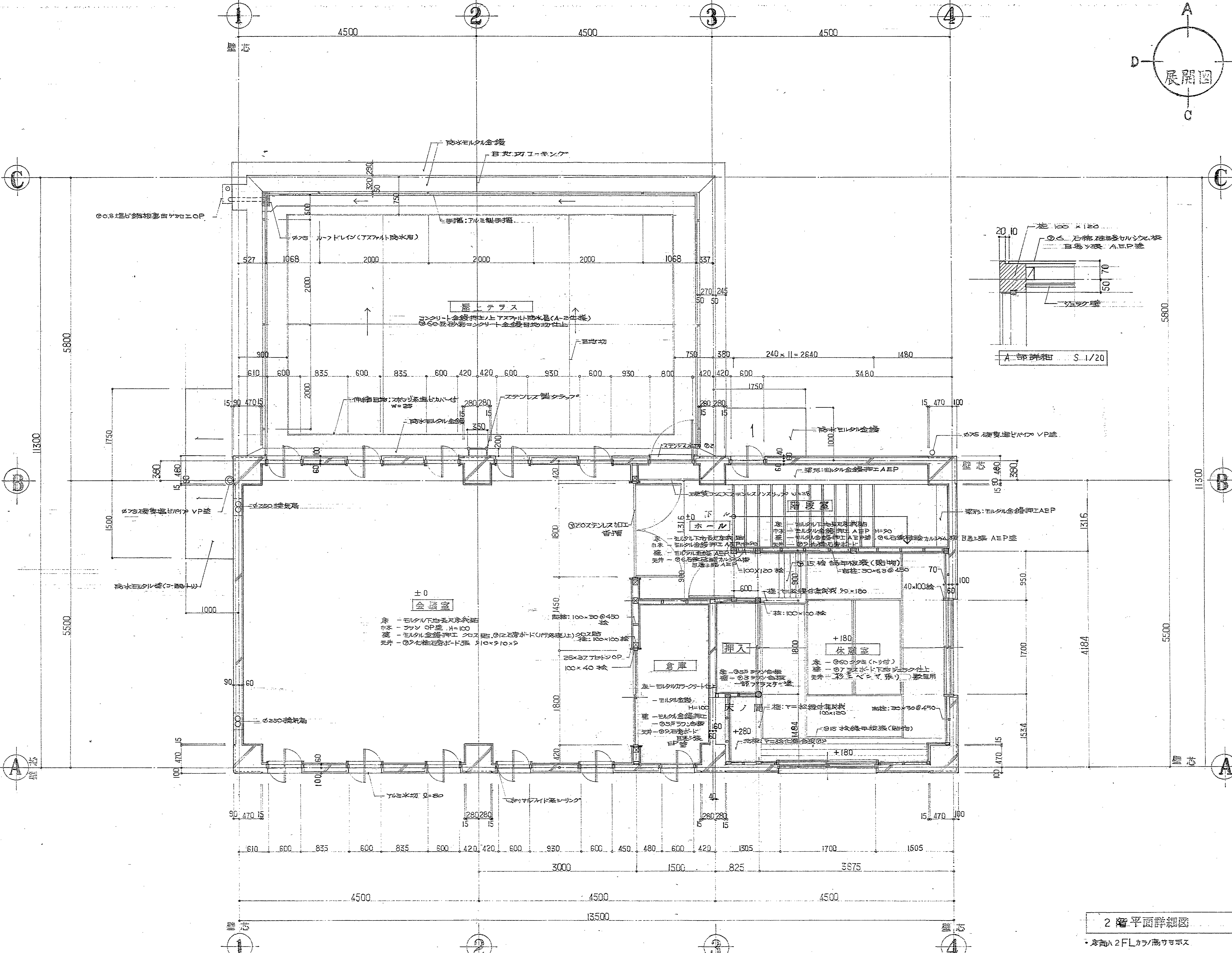
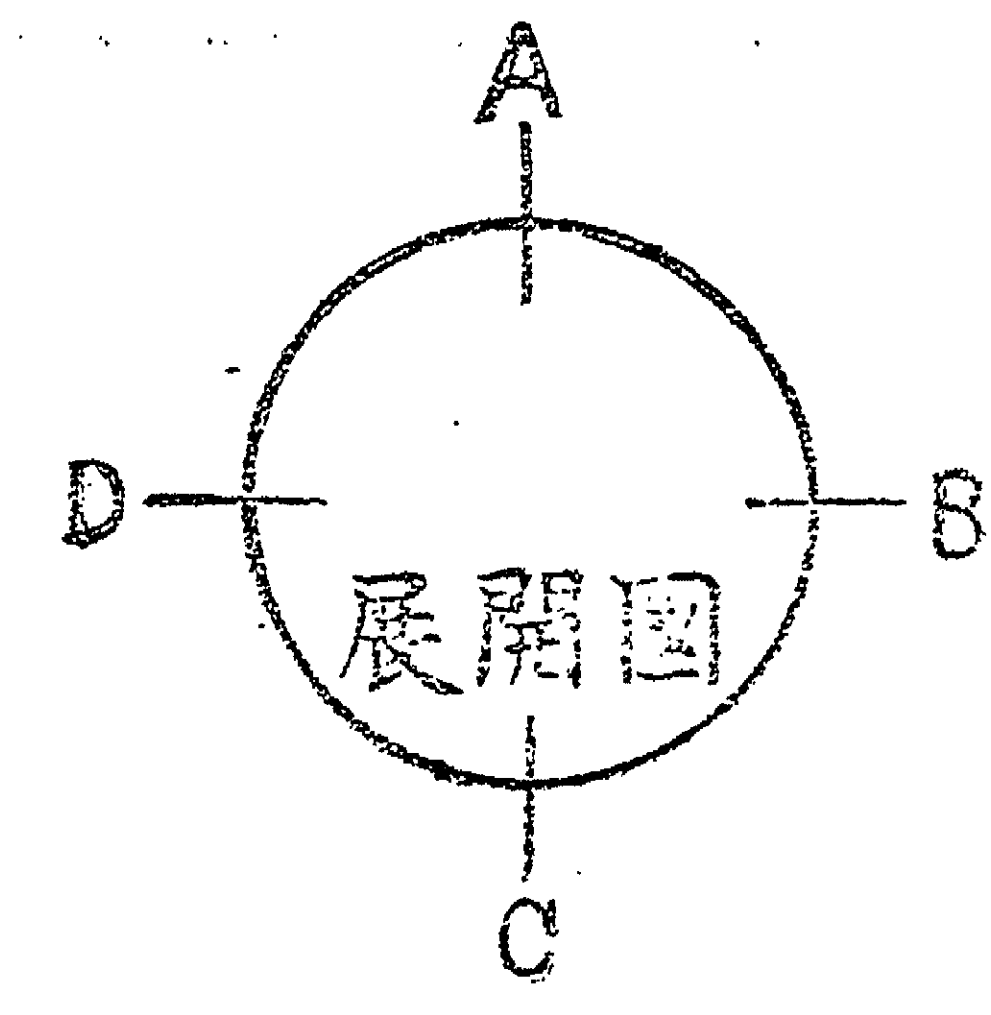
凡 例
 —— RC造 示ス
 —— CB①00造 示ス



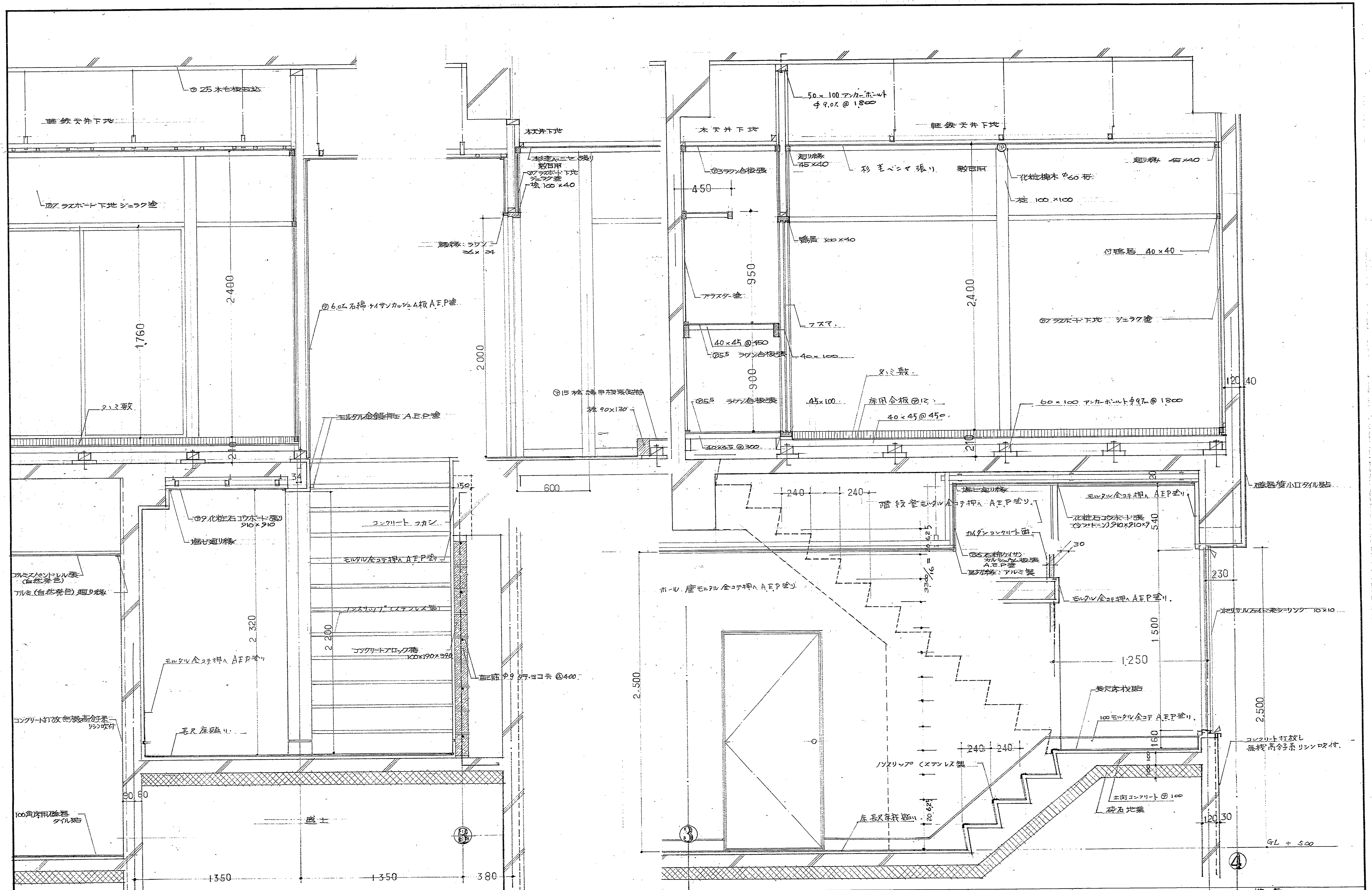
1階平面詳細図 縮尺 1/50
 ・本図はGLから高さを示す。

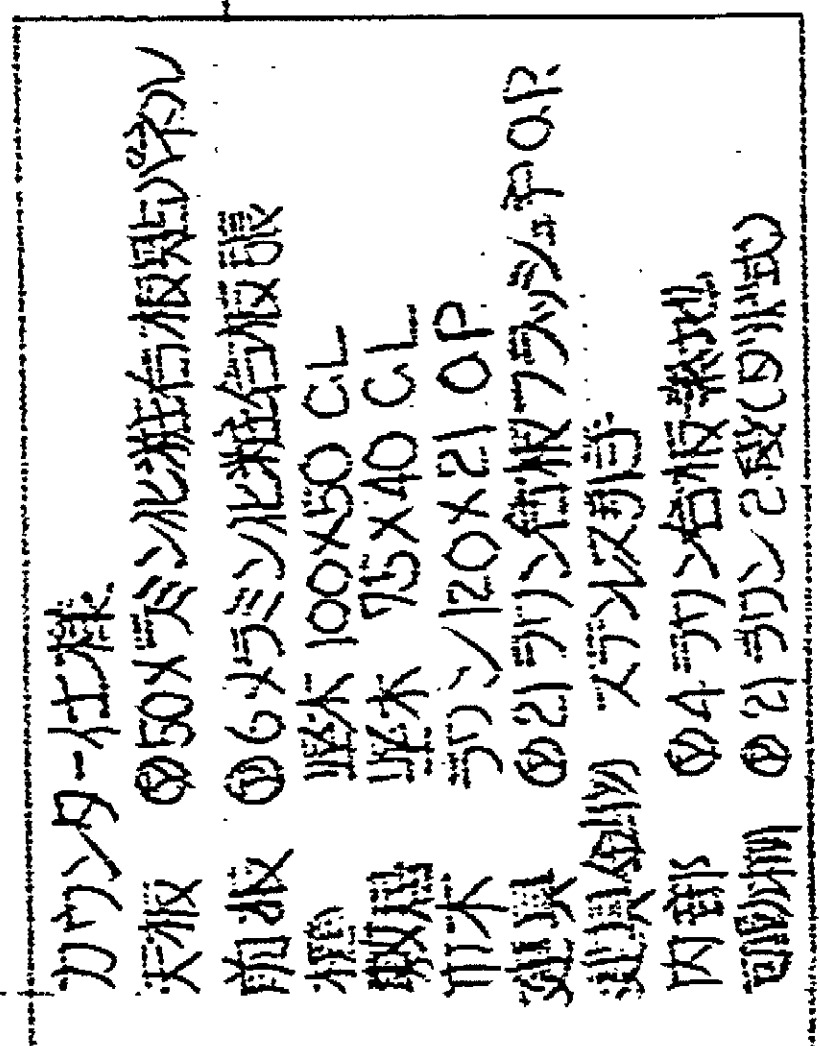
マイクロ NO. 63-2985	昭和 44年度	畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図	図面名 平面詳細図 1	縮尺 1:50 昭和44年 7月 日	静岡市 建築部 建築課	主 査 設 計 監 理 係 長 課 長 課 長 係 長 主 査 設 計 監 理 係 長 課 長 課 長 係 長 主 査 設 計 監 理 係 長 課 長 課 長 係 長	設計事務所 株式会社ナカノ工務 一級建築士事務所	担当者 信	施設 コード 5・15・000 図 番 A・31・10
---------------------	------------	-----------------------	----------------	-----------------------	----------------	---	--------------------------------	----------	---

凡 例
—— R.C造 ラス
—— 木造 ラス

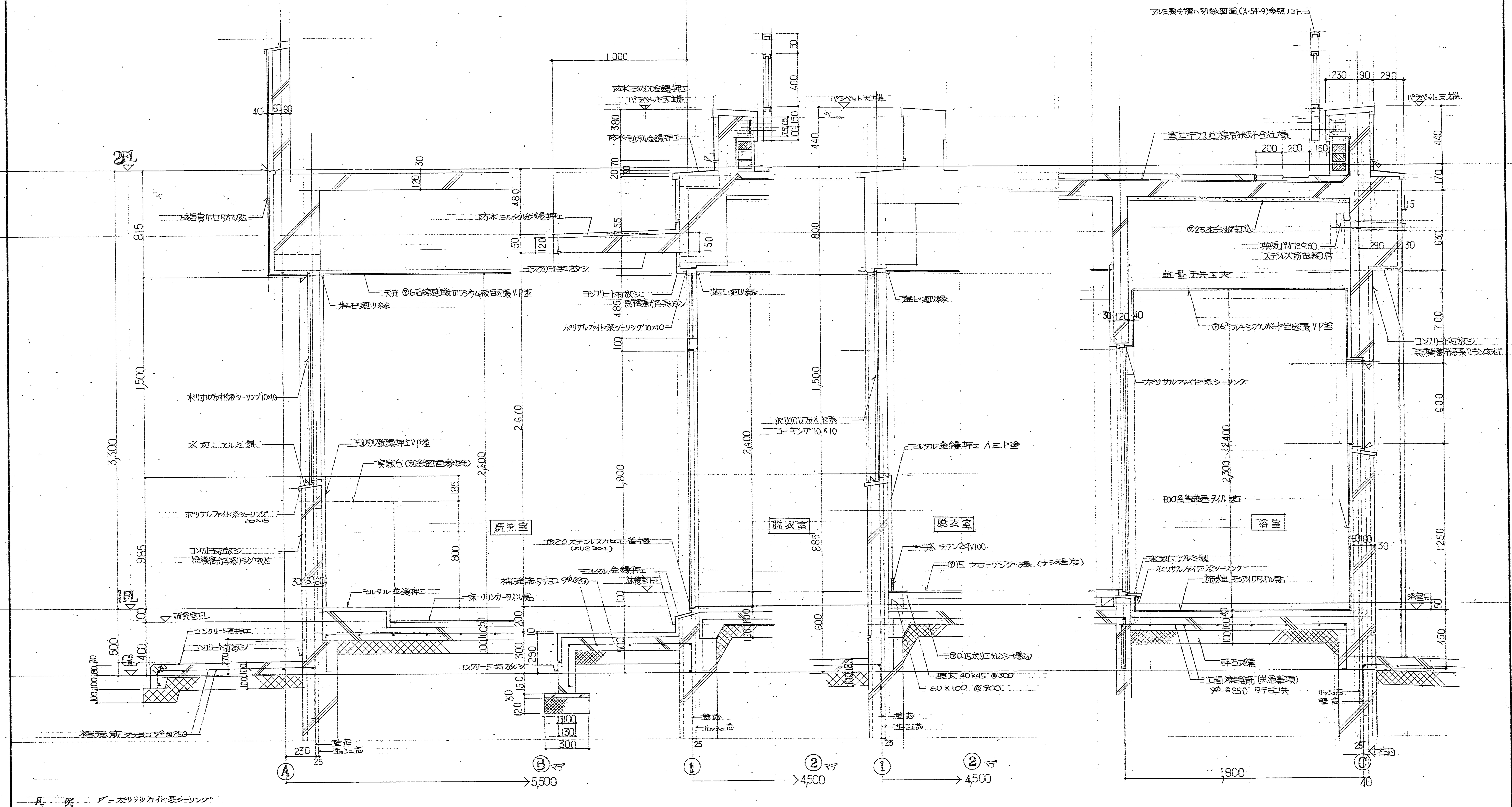


2 階平面詳細図 縮尺 1/50
・本階は2FLカラ/高サマボス

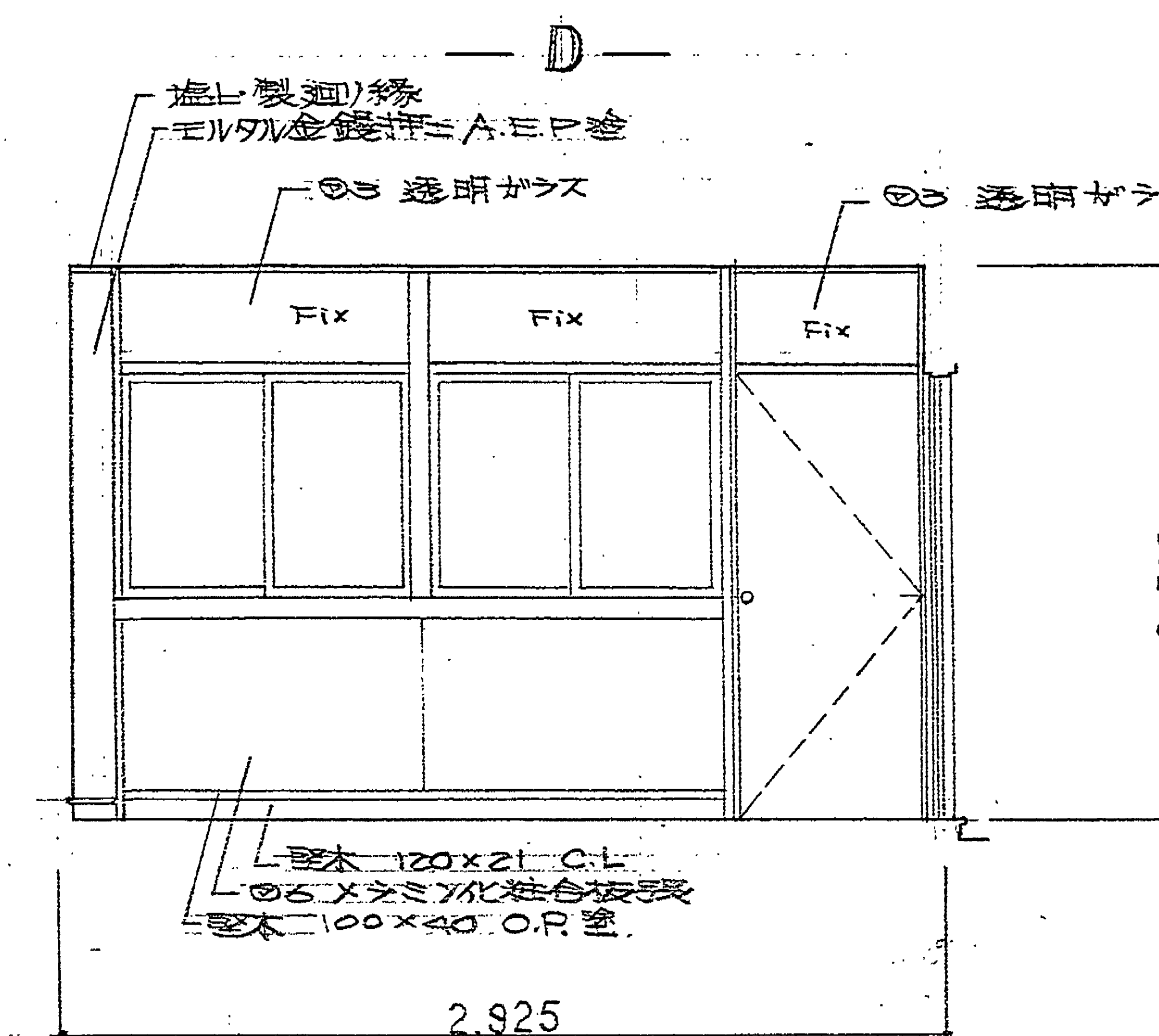
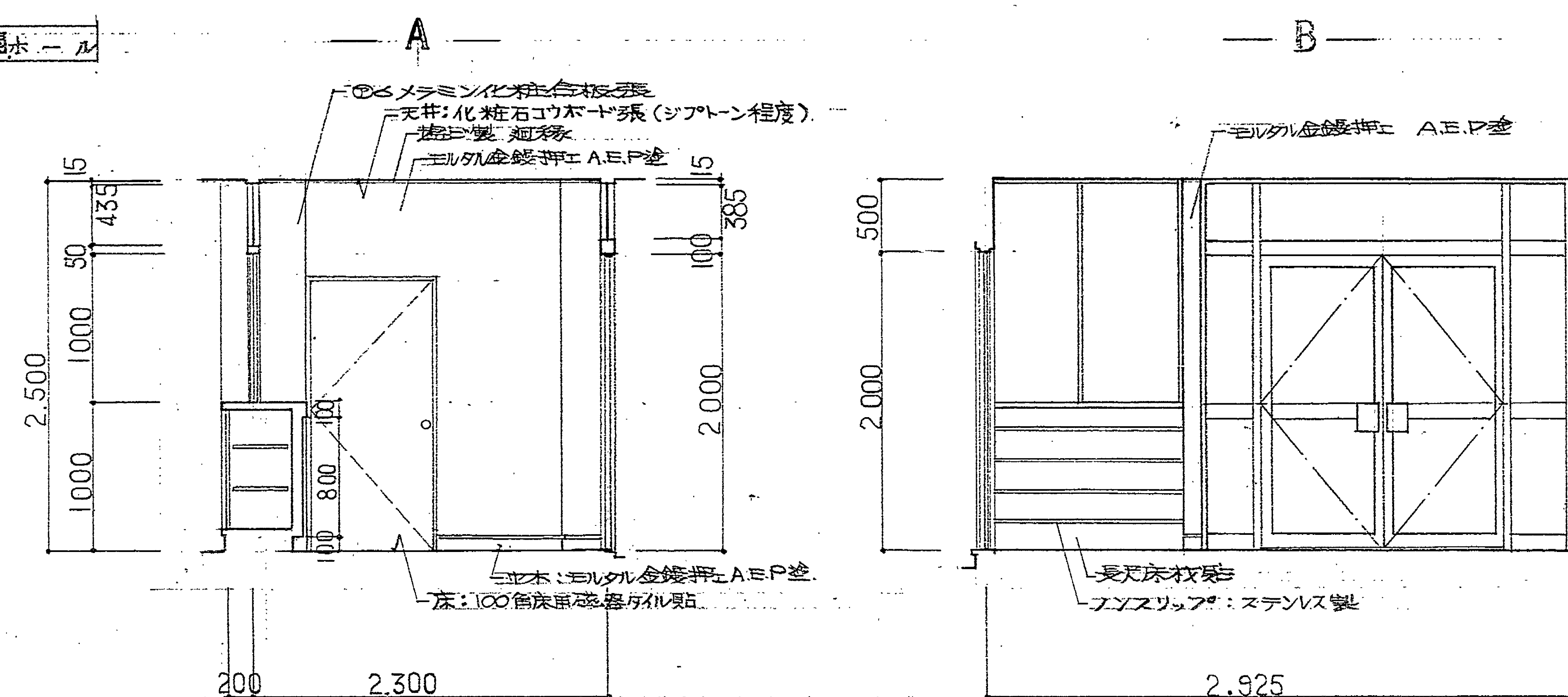




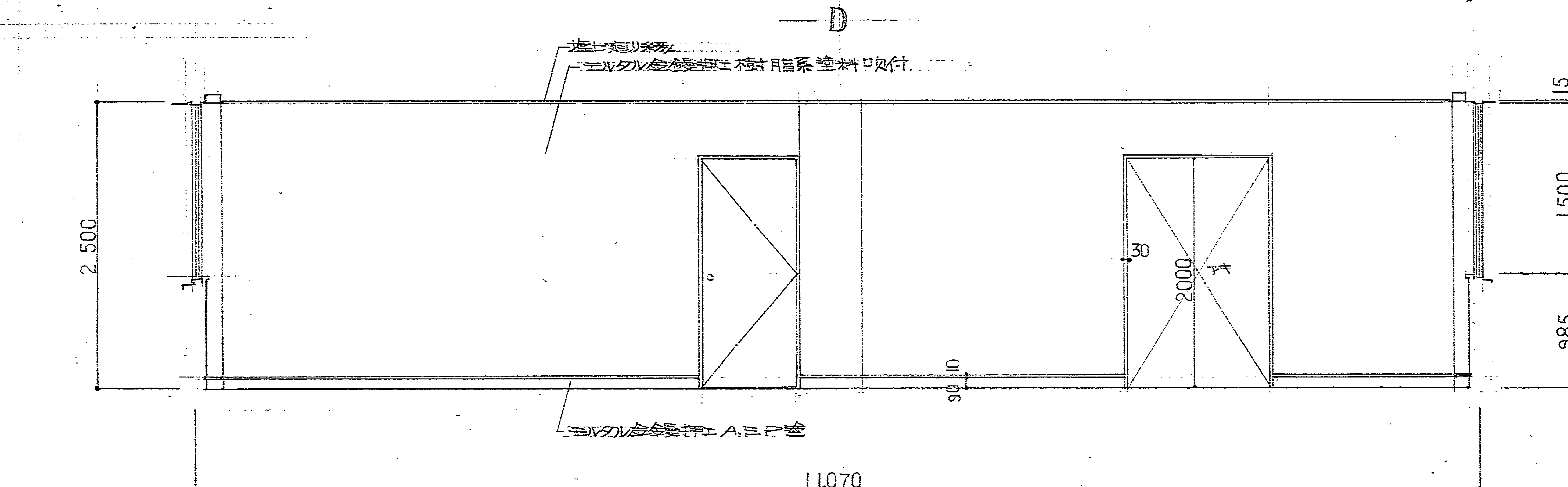
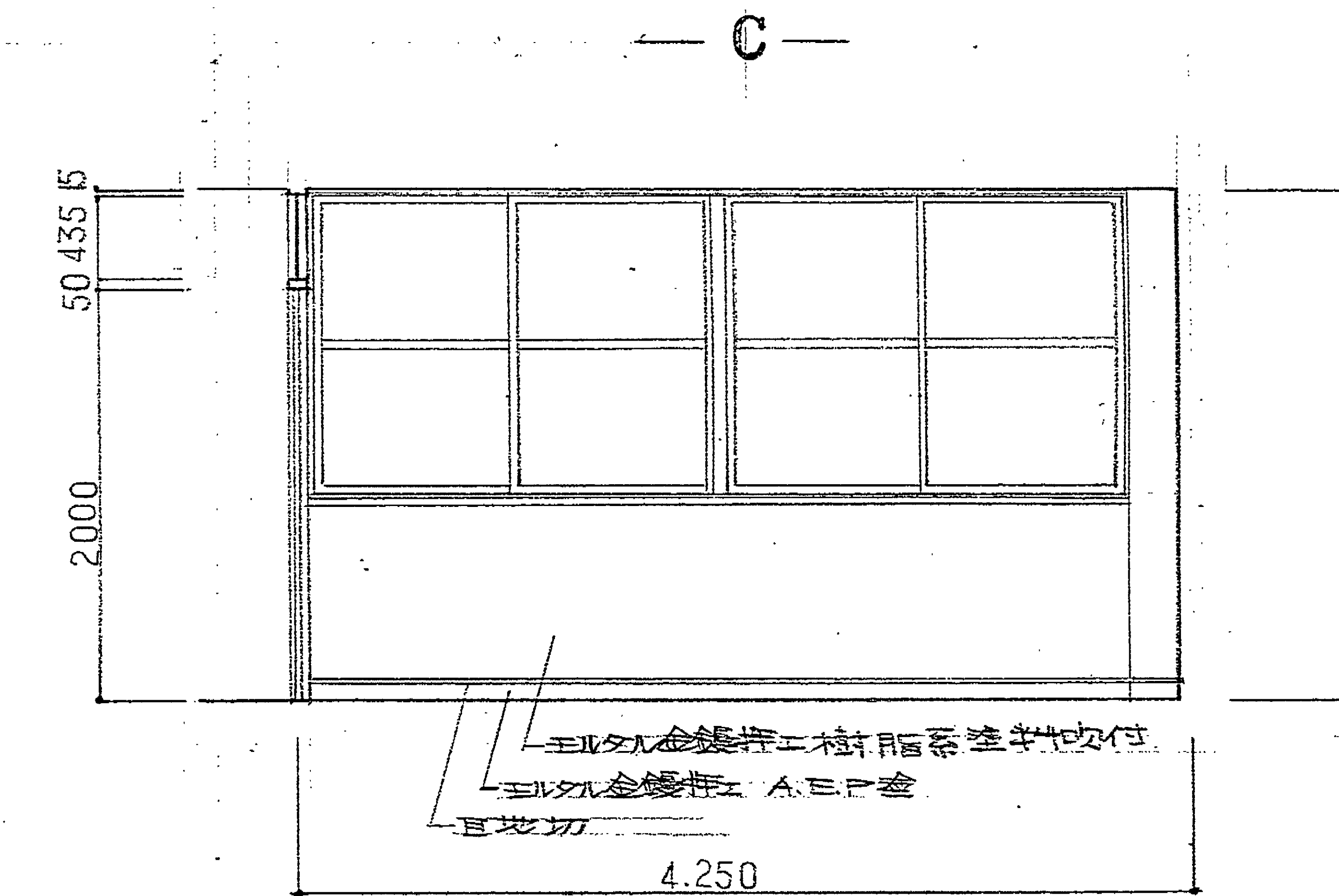
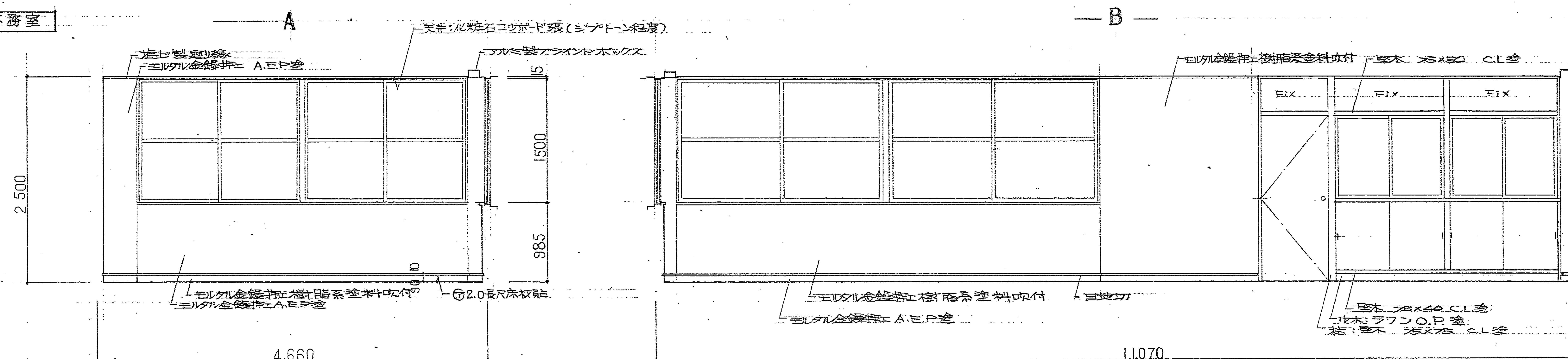
施設 コードNo.	5・15・000
図 番	A・31・13



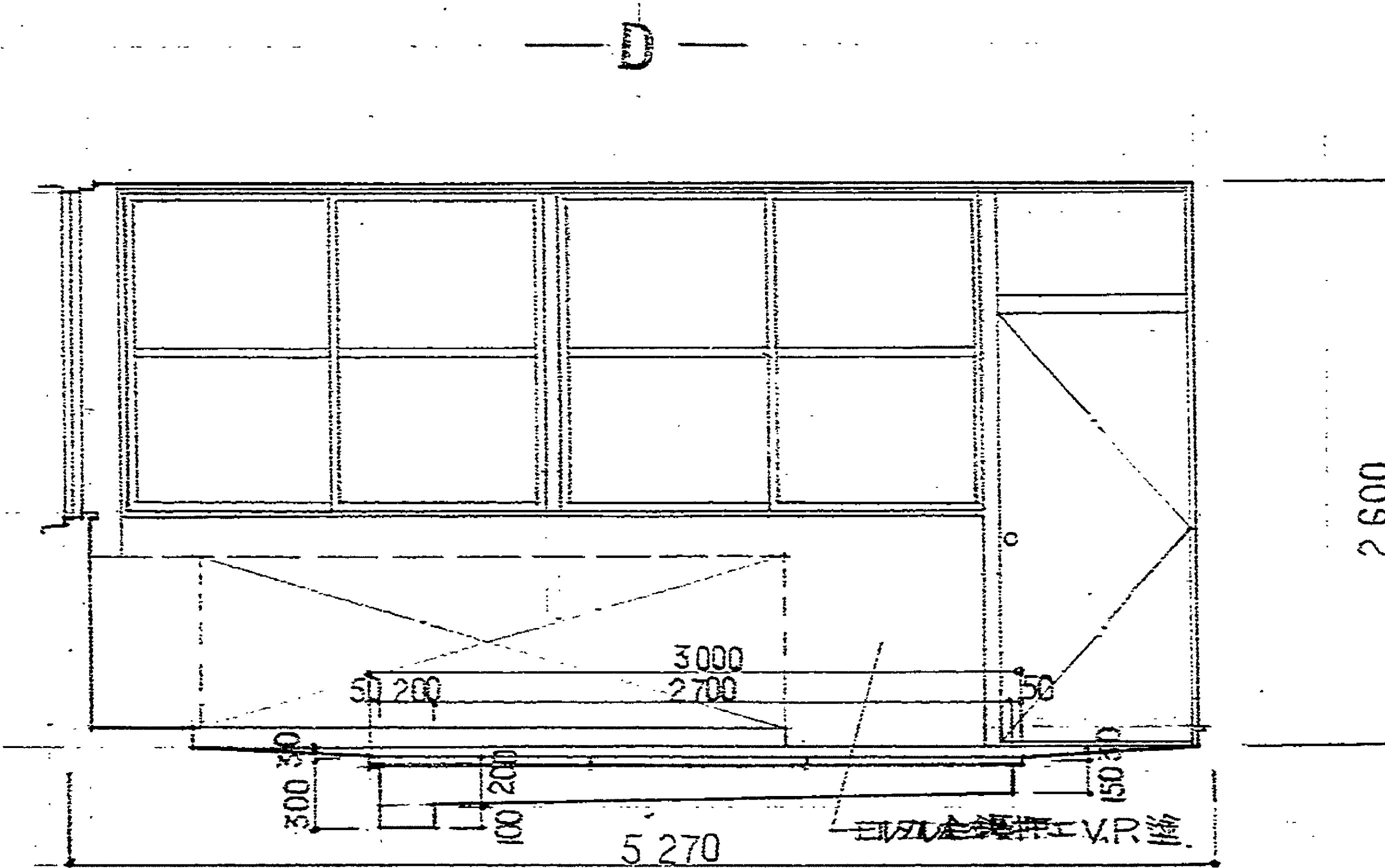
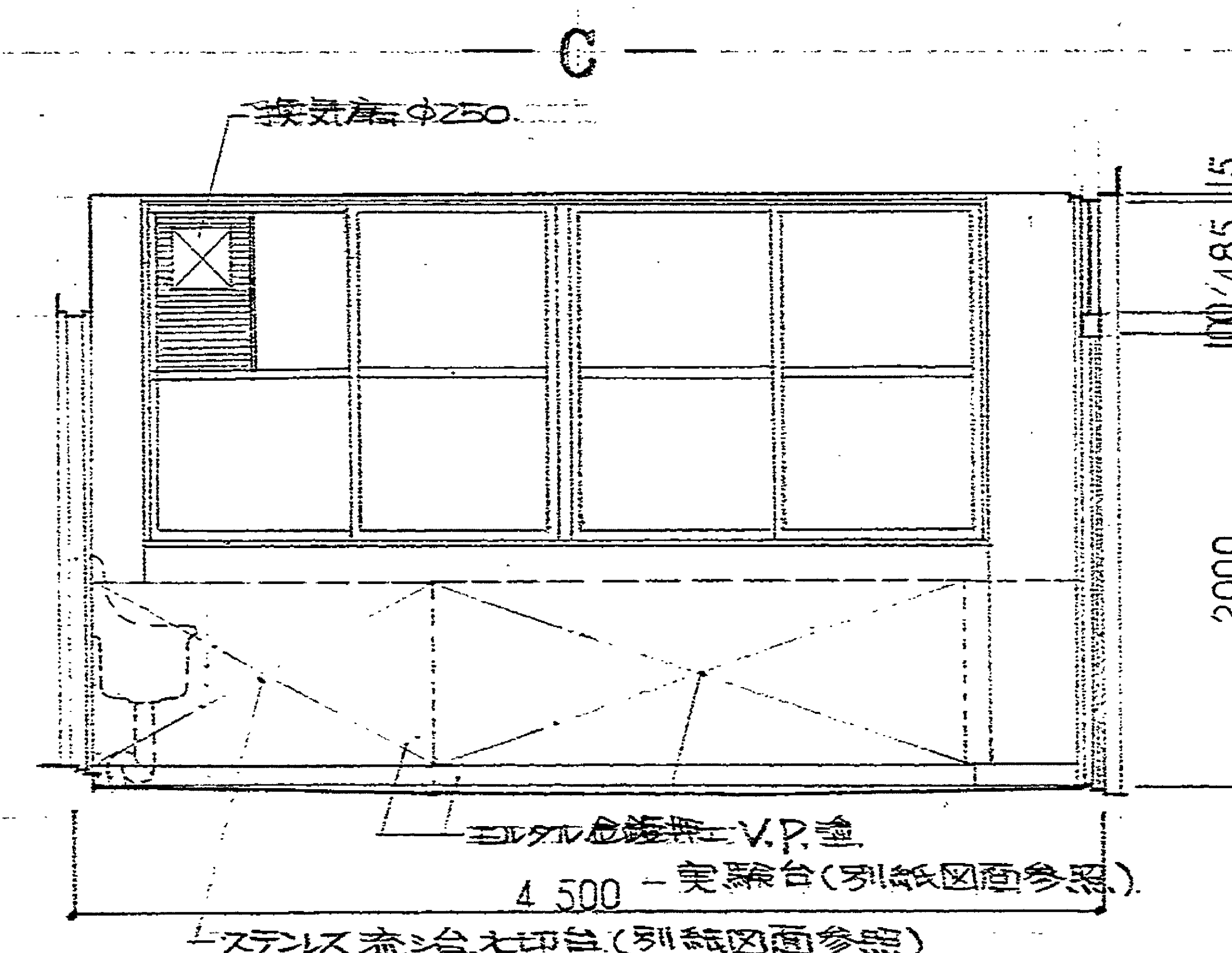
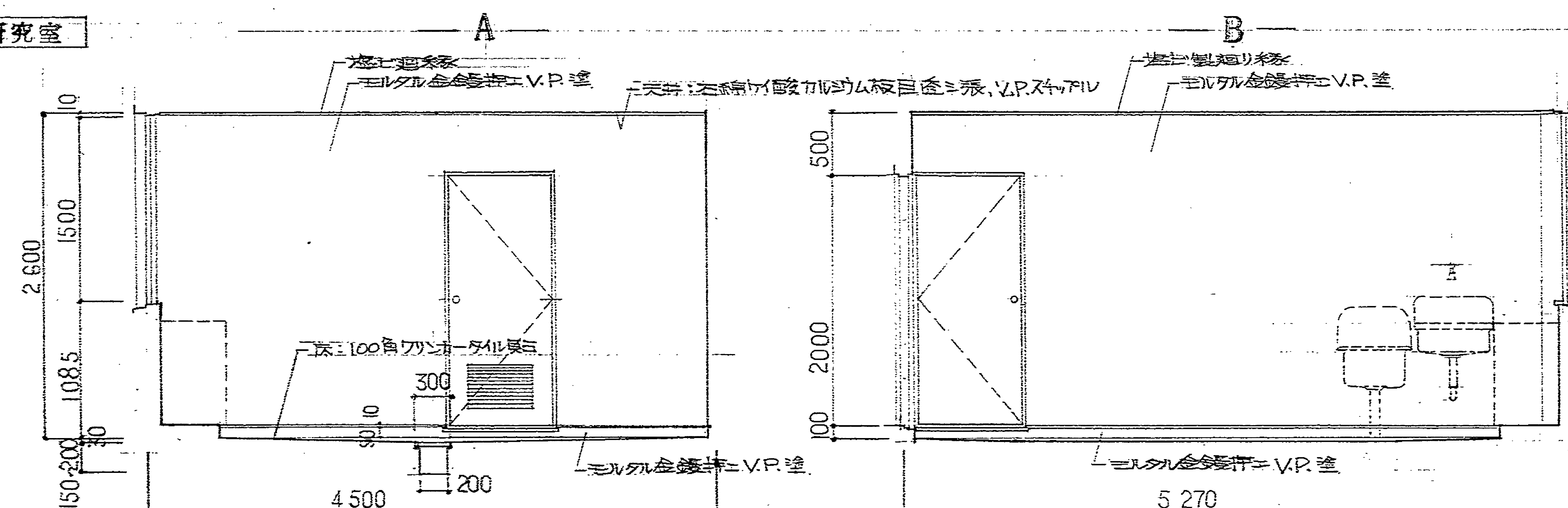
玄関ホール



事務室



研究室



マイクロ NO.

63-2990

昭和

54年度

畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図

図面名

展開図 1

縮尺 1:50

昭和54年7月 日

静岡市 建築部

管 営 課

課長

係長

主査

設計

監理

設計事務所

株式会社ナカノ工房

一級建築士事務所

担当者

施設

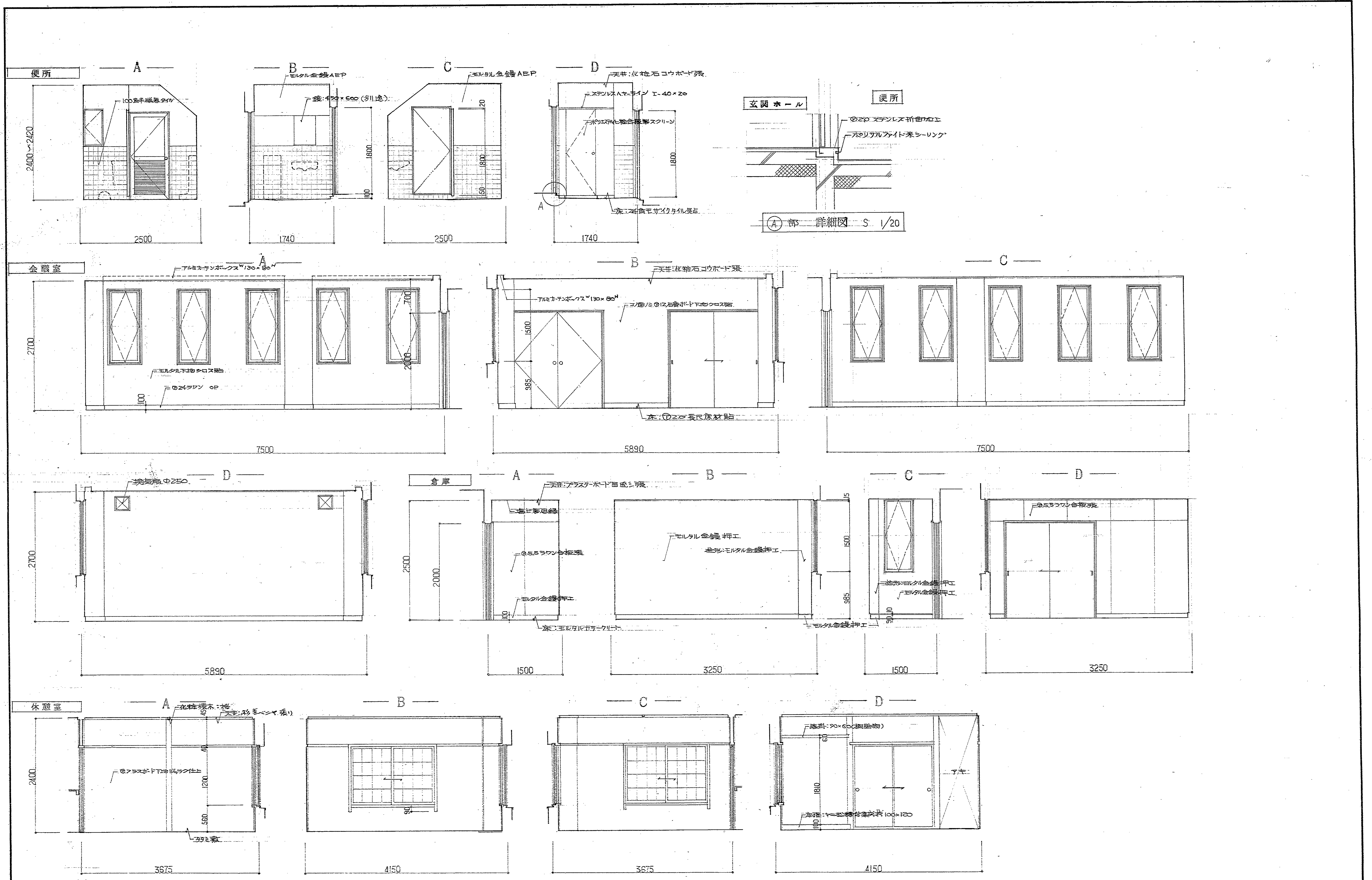
コード

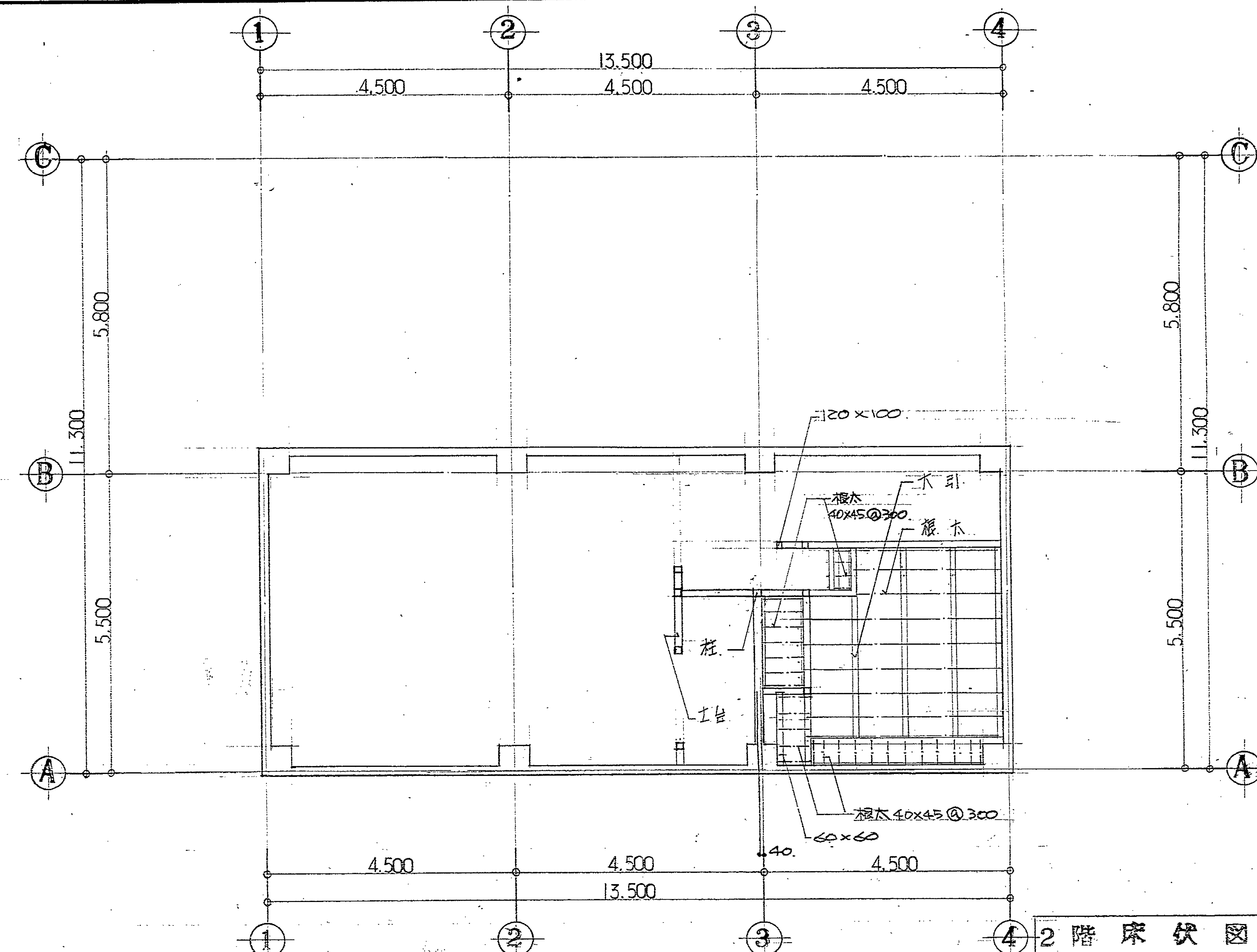
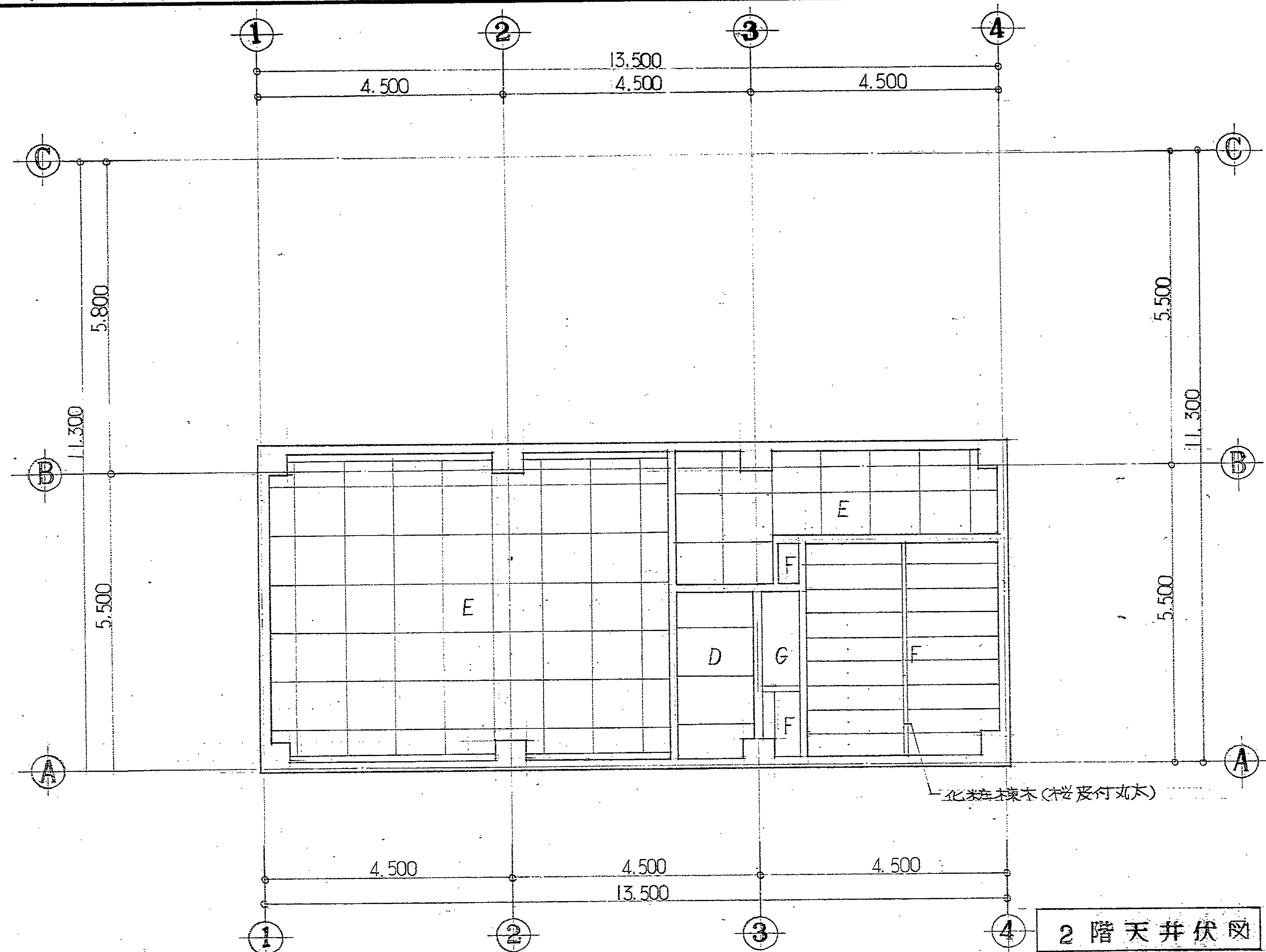
図 番

5・15・000

A・31・15

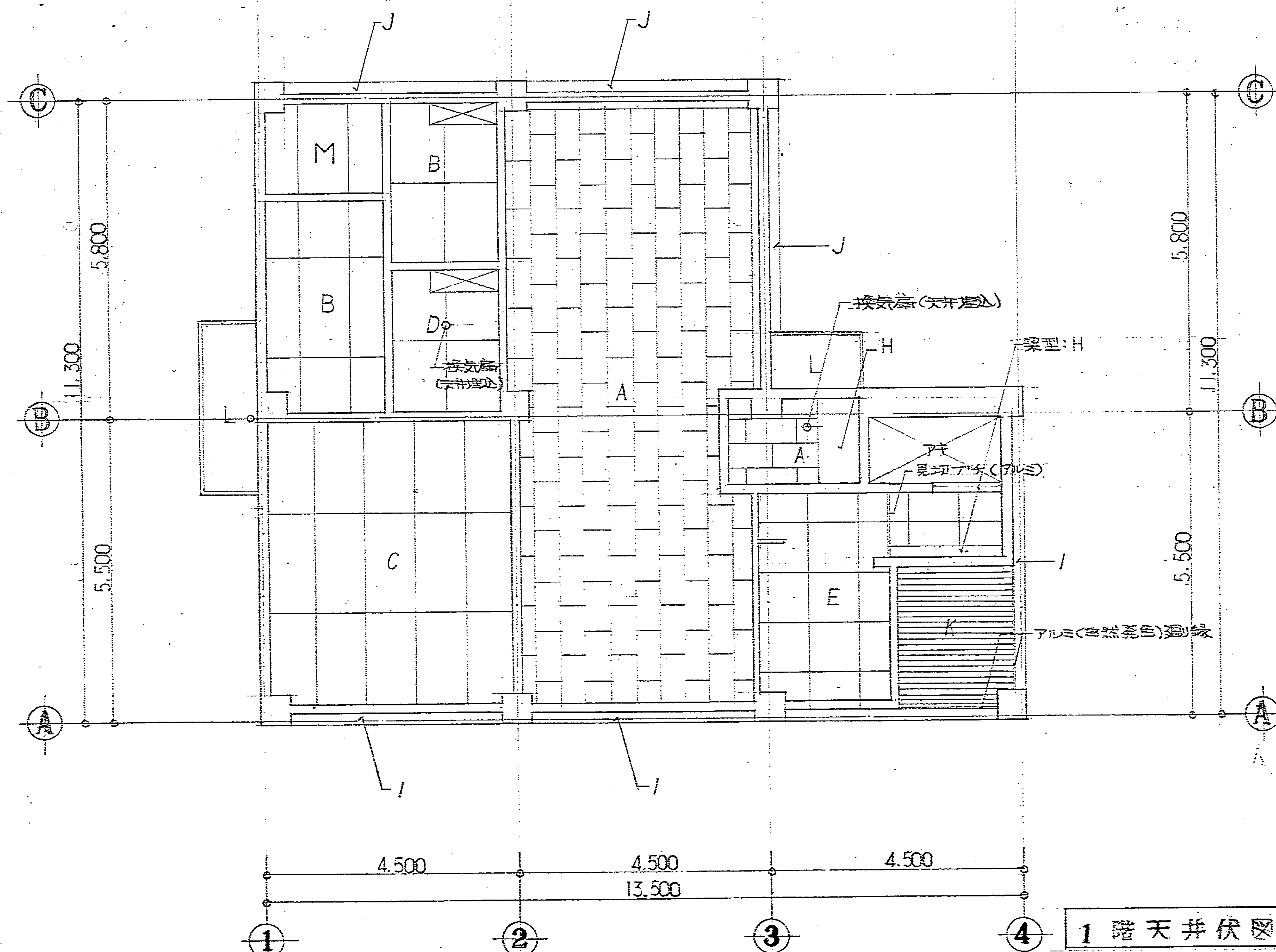






柱	100 × 100	
主柱	100 × 60	
木引	100 × 60	◎ 900
梁木	40 × 45	◎ 450

天井・柱・上・リ・スト	
記号	仕上
A	石綿入り石膏ボード張 (シアローソ) 455 × 900
B	◎ 6mm 石綿入り石膏ボード張目巻シ張 VP 塗り
C	◎ 6mm 石綿入り石膏ボード張目巻シ張 VP 塗り
D	◎ 9mm アクリルボード目巻シ張 E.P 塗り
E	石綿入り石膏ボード張 (シアローソ) 910 × 910
F	杉板ベニヤ 敷目貼
G	◎ 3mm 石膏ボード張
H	モルタル金網糊工上 A.E.P. 塗り
I	磁器タイル張
J	無機高分子系珪藻土
K	アルミタイル張 (自然発色)
L	コンクリート打放
M	◎ 6.3% フレキシブル板目巻シ張 VP 塗り



マイクログ NO.
63-2994

昭和
54 年度

畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図

図面名 天井伏図

縮尺 1:100
昭和54年7月 日

静岡市 建築部
建築課

課長 保長

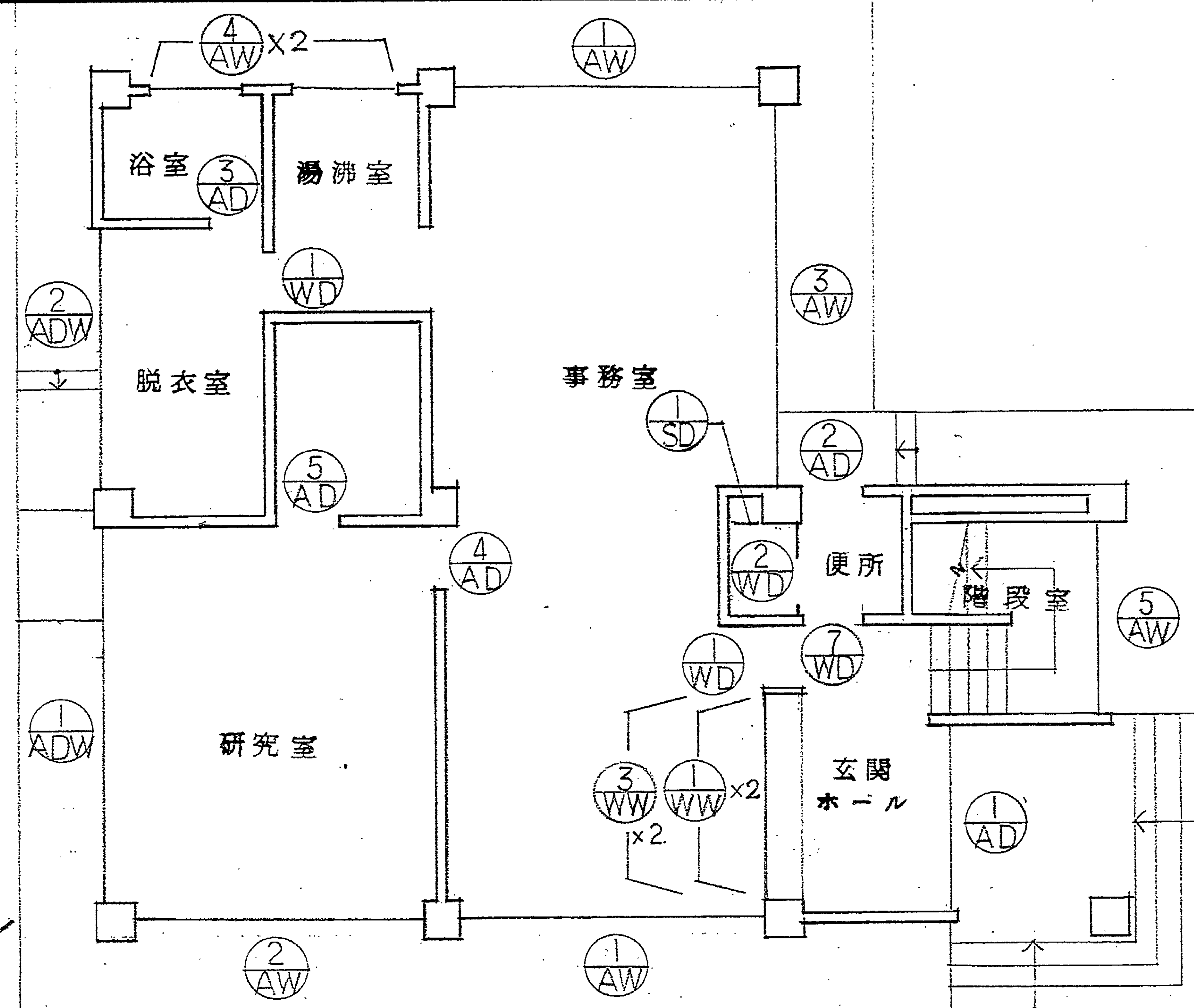
主査 設計

設計事務所 株式会社ナカノ工務所
一級建築士事務所

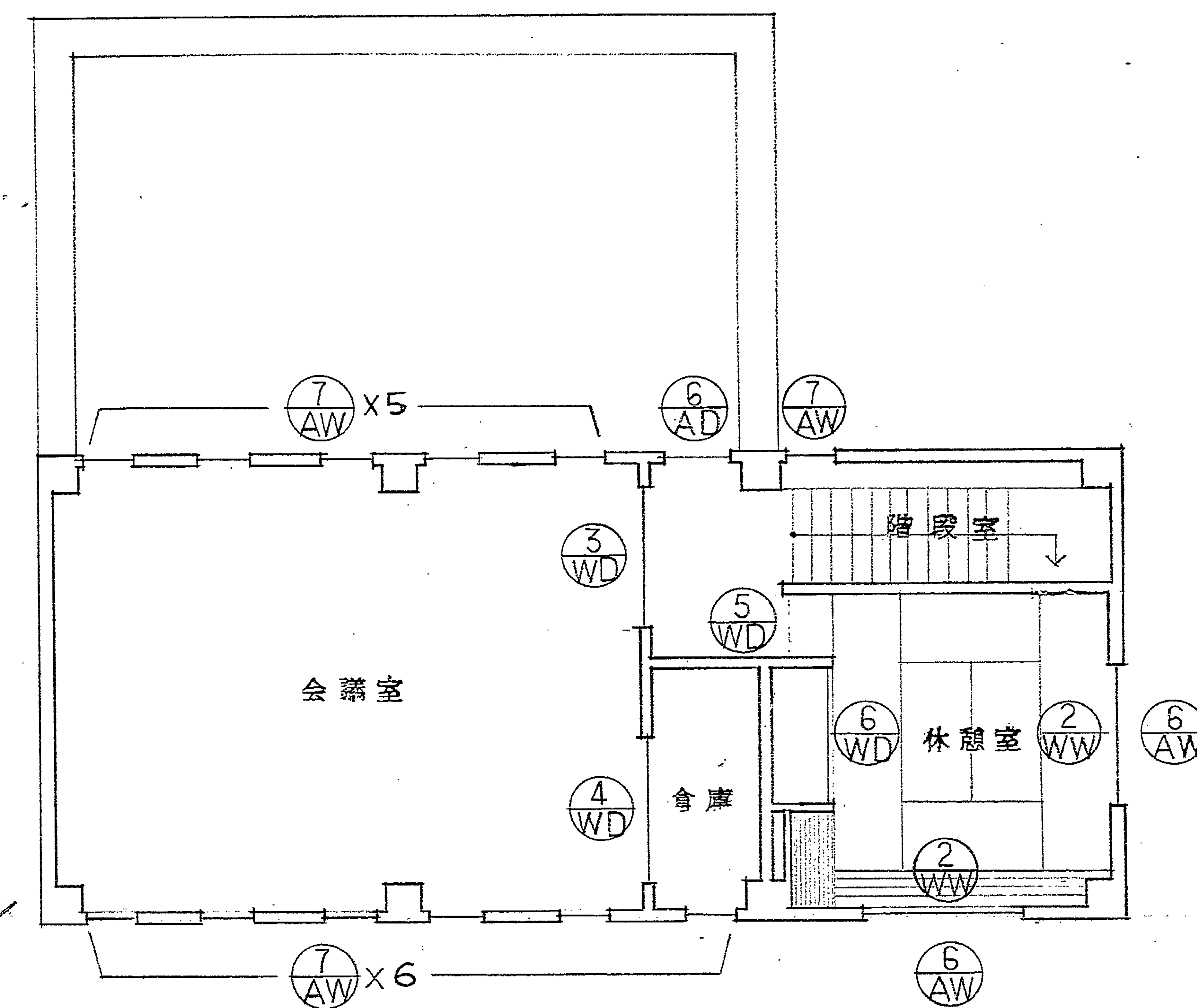
担当者

施設
コード 5-15-000
図書 A-31-19

1階建具キープラン

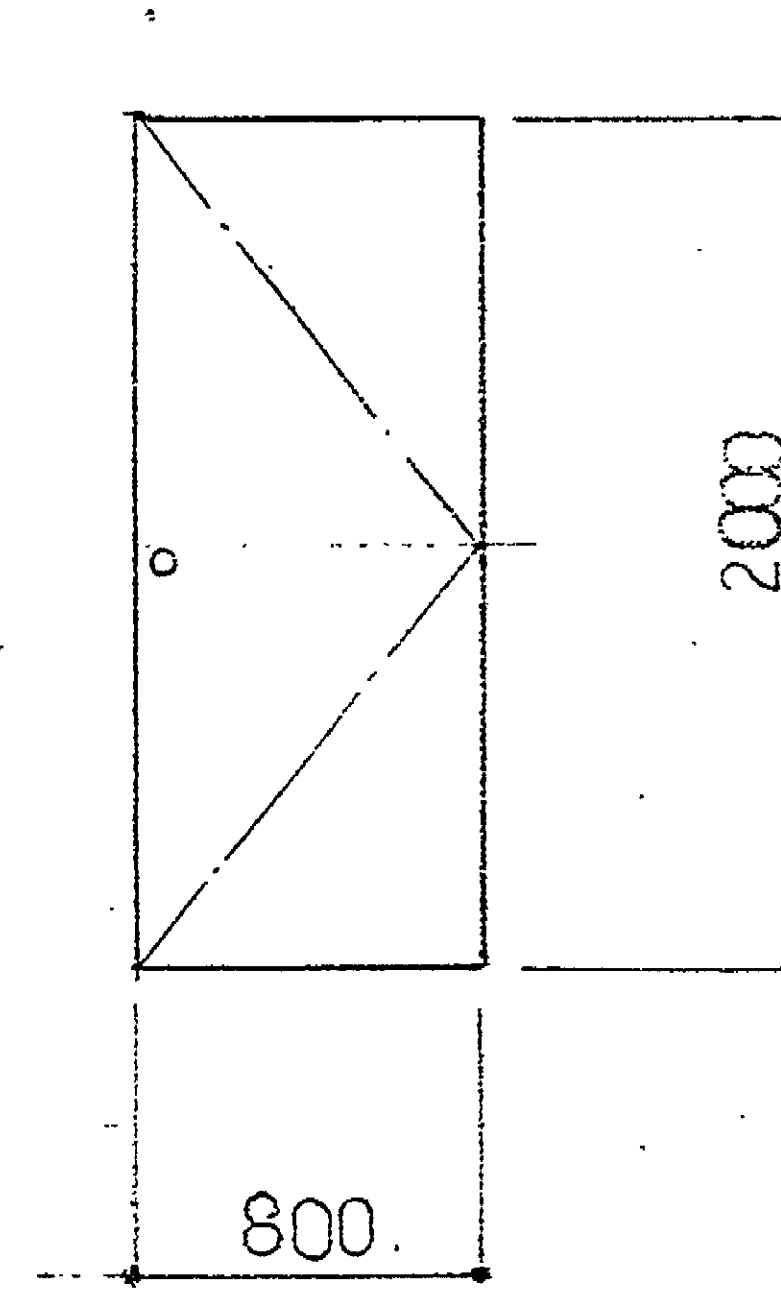
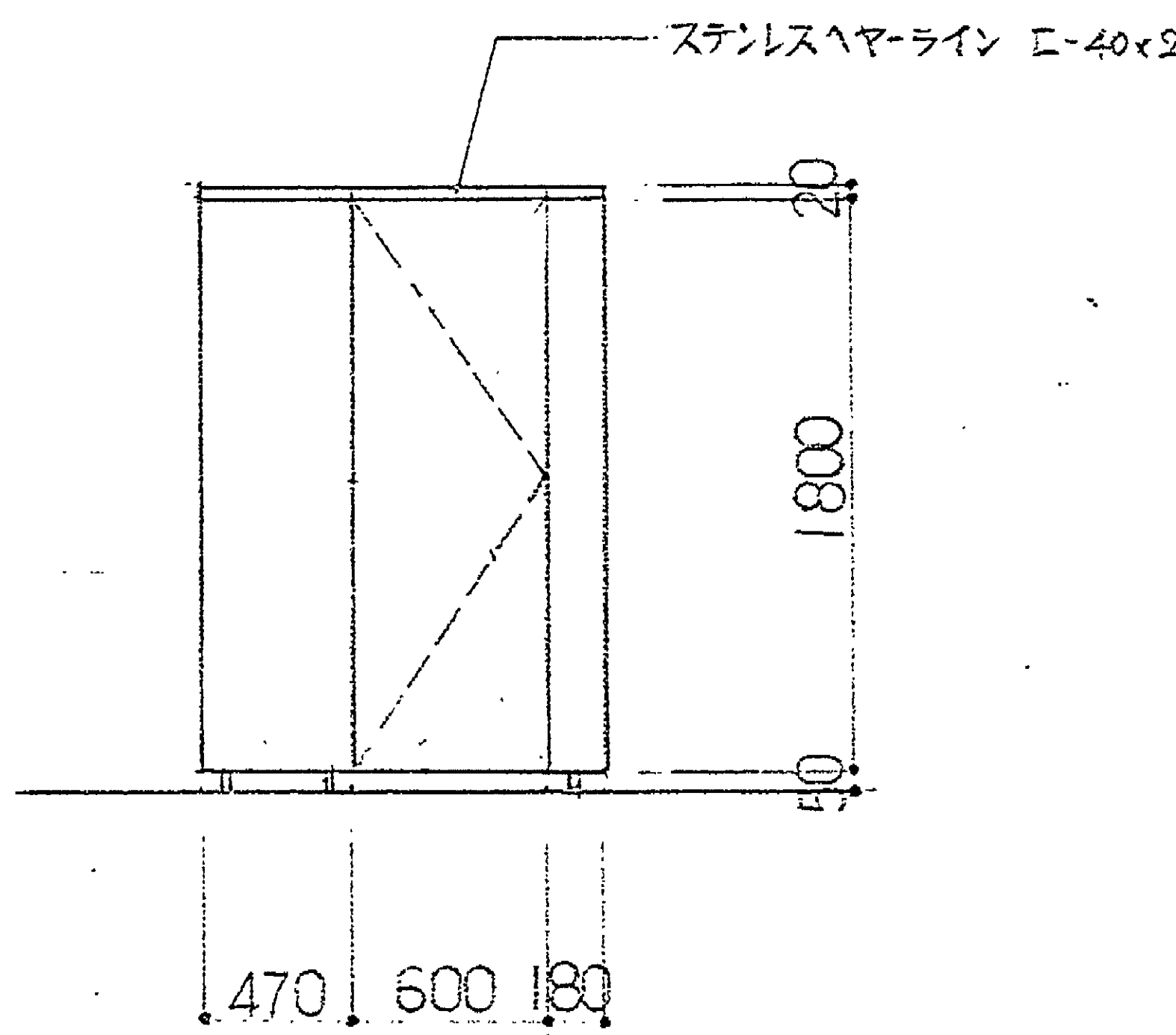
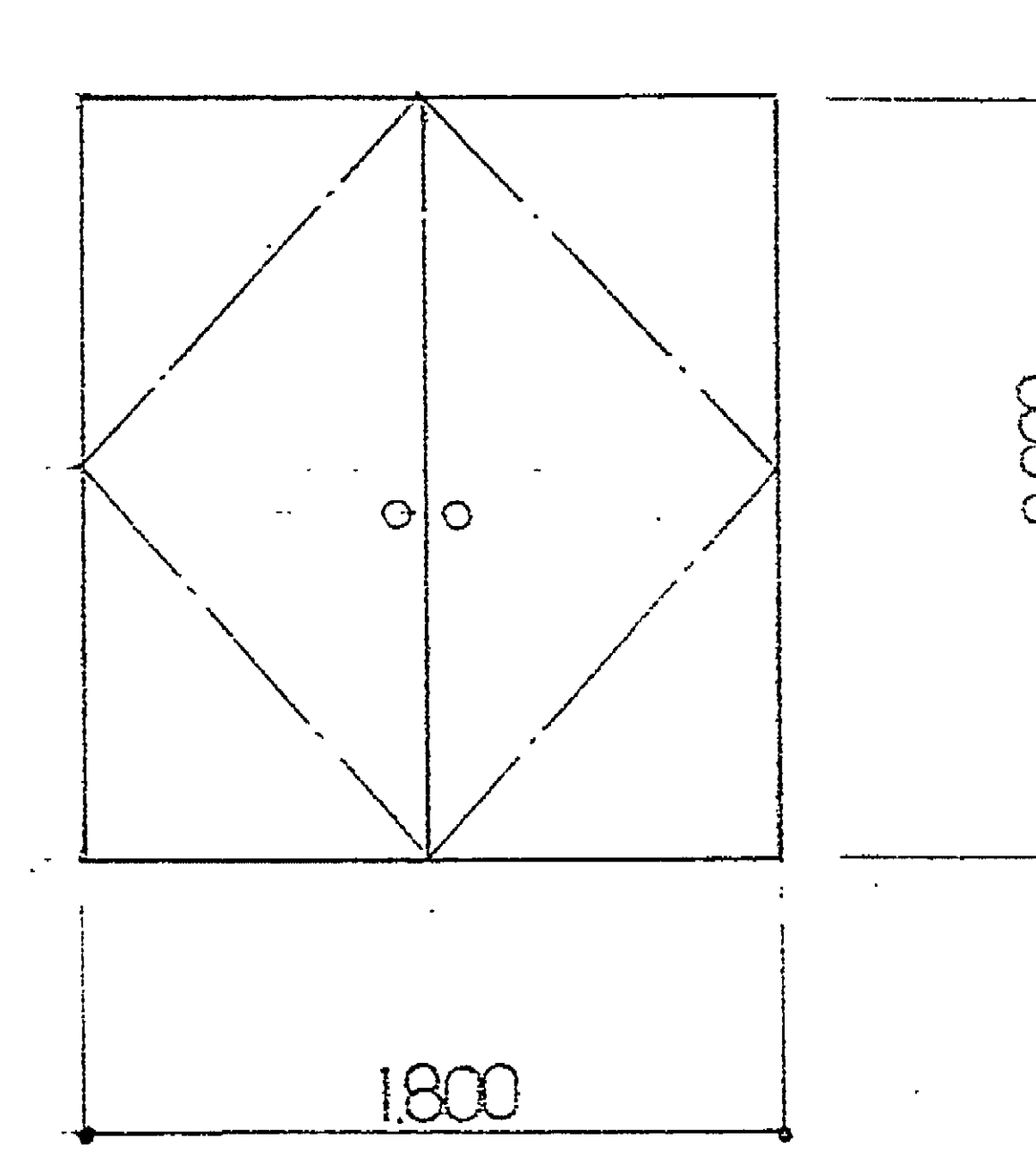
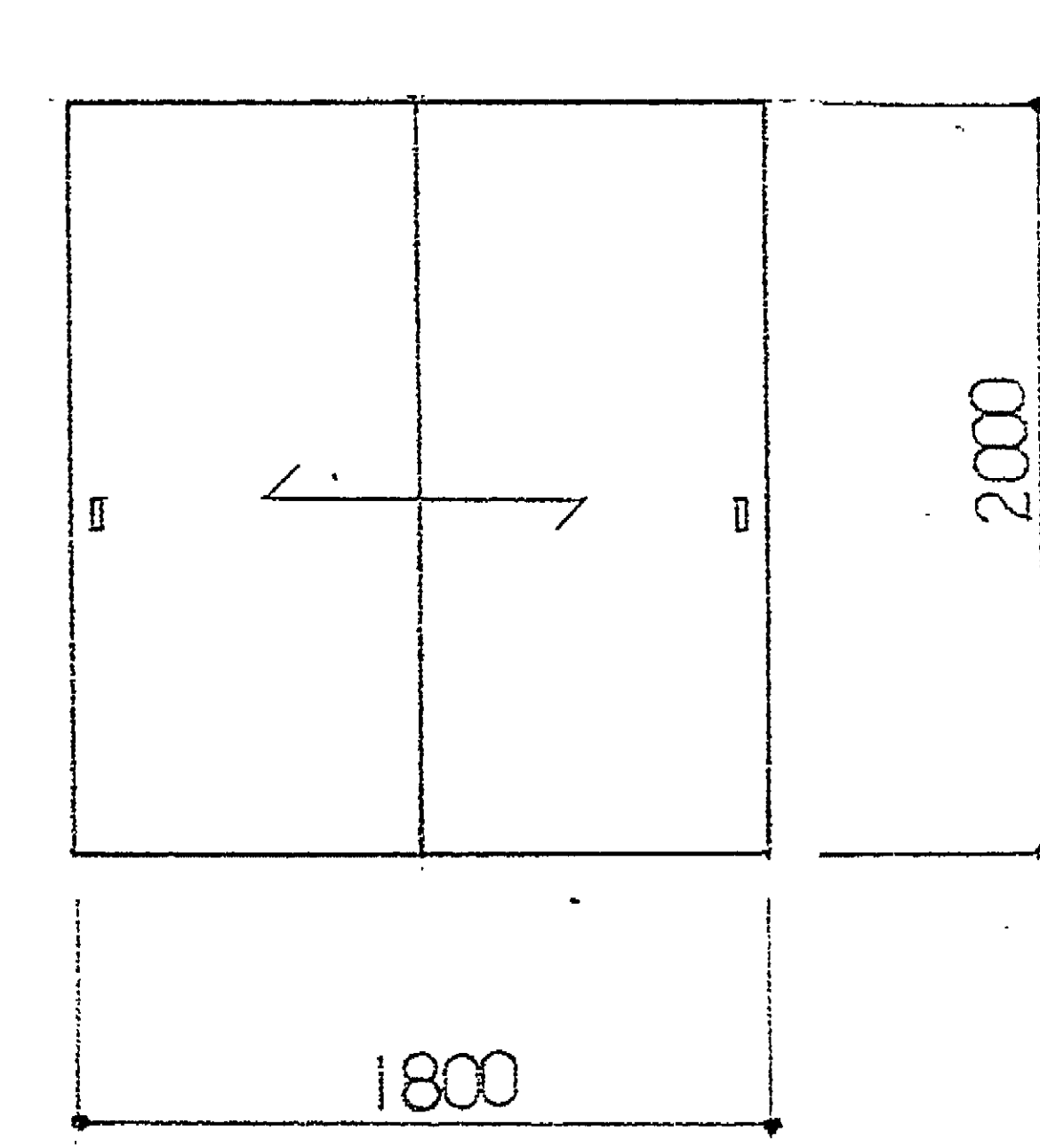
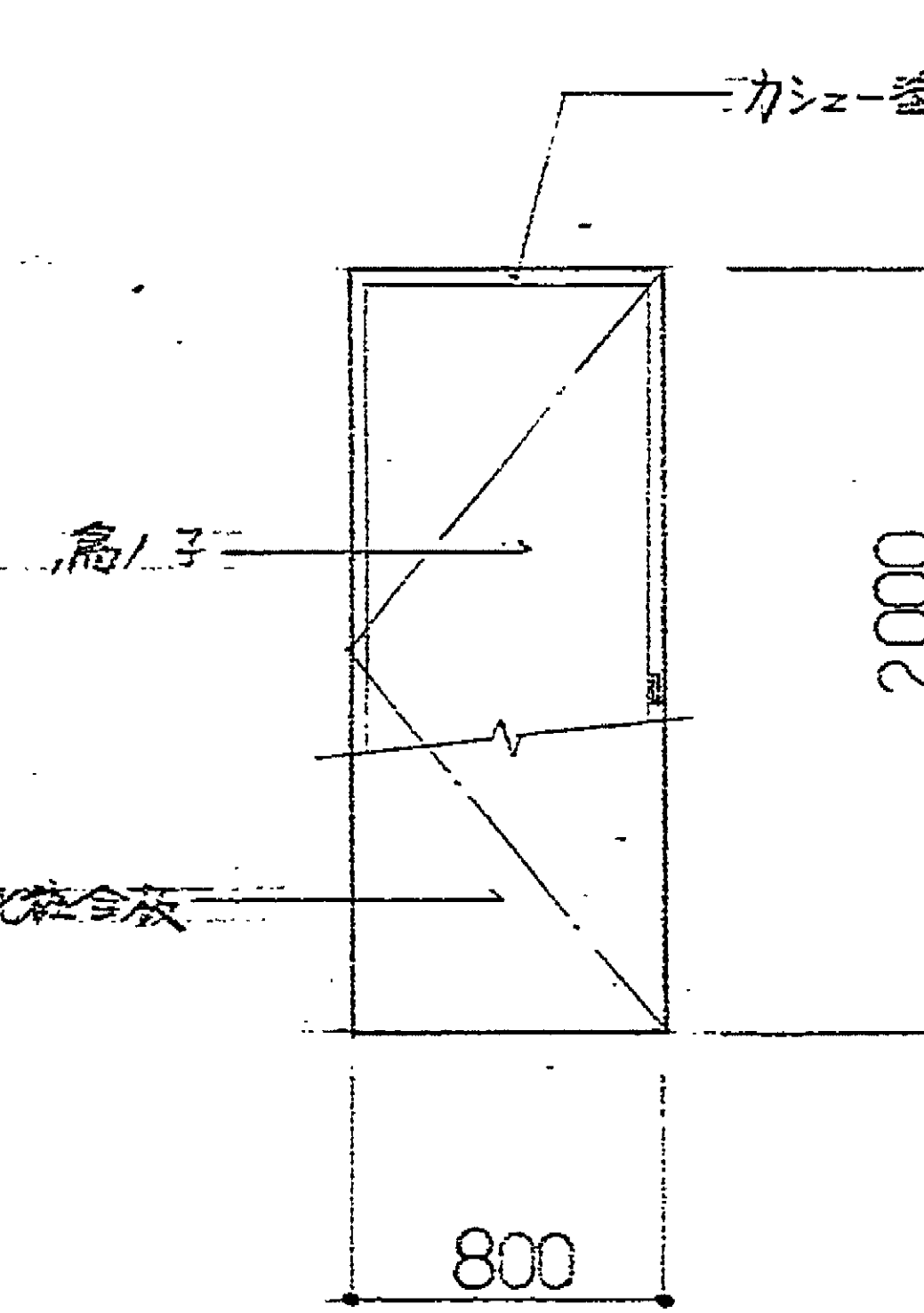
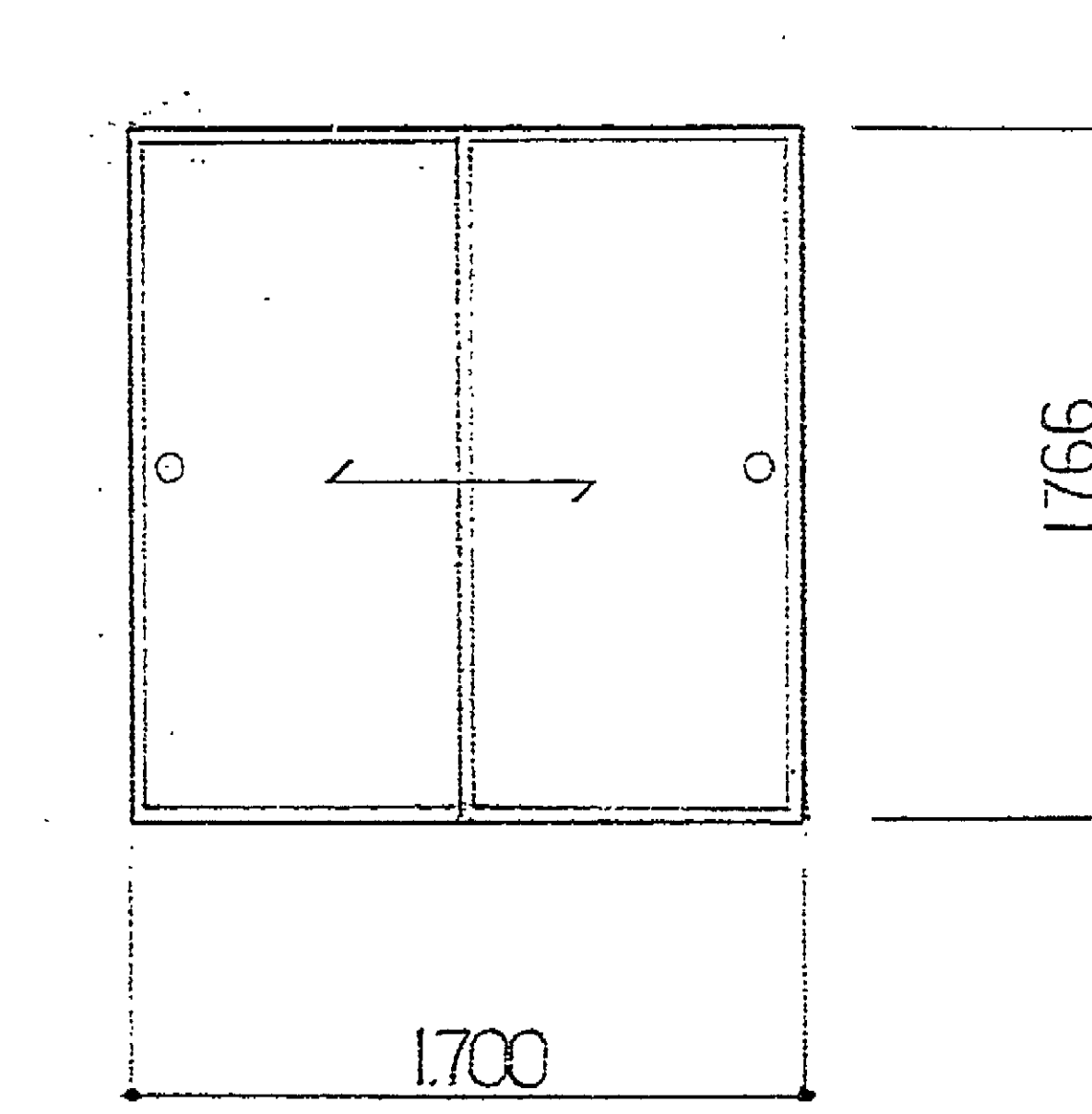
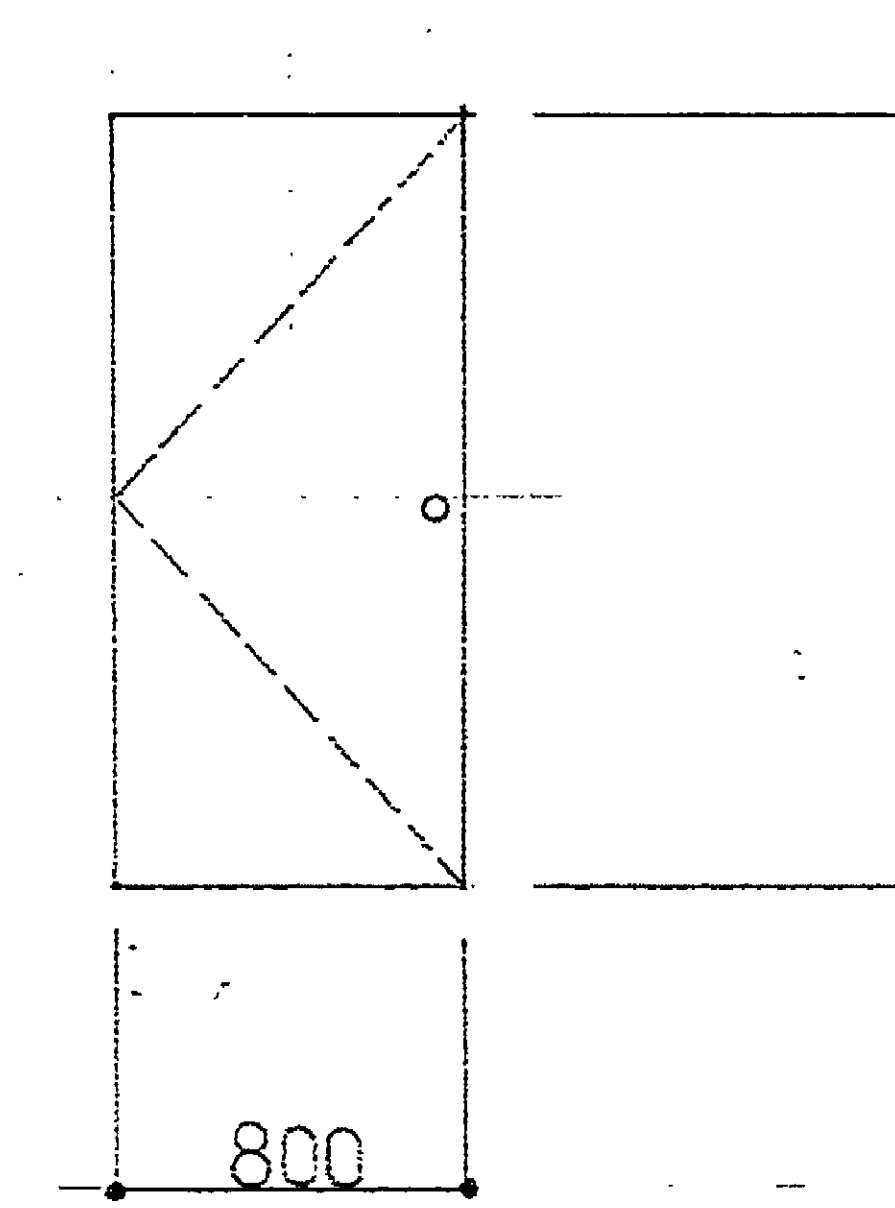
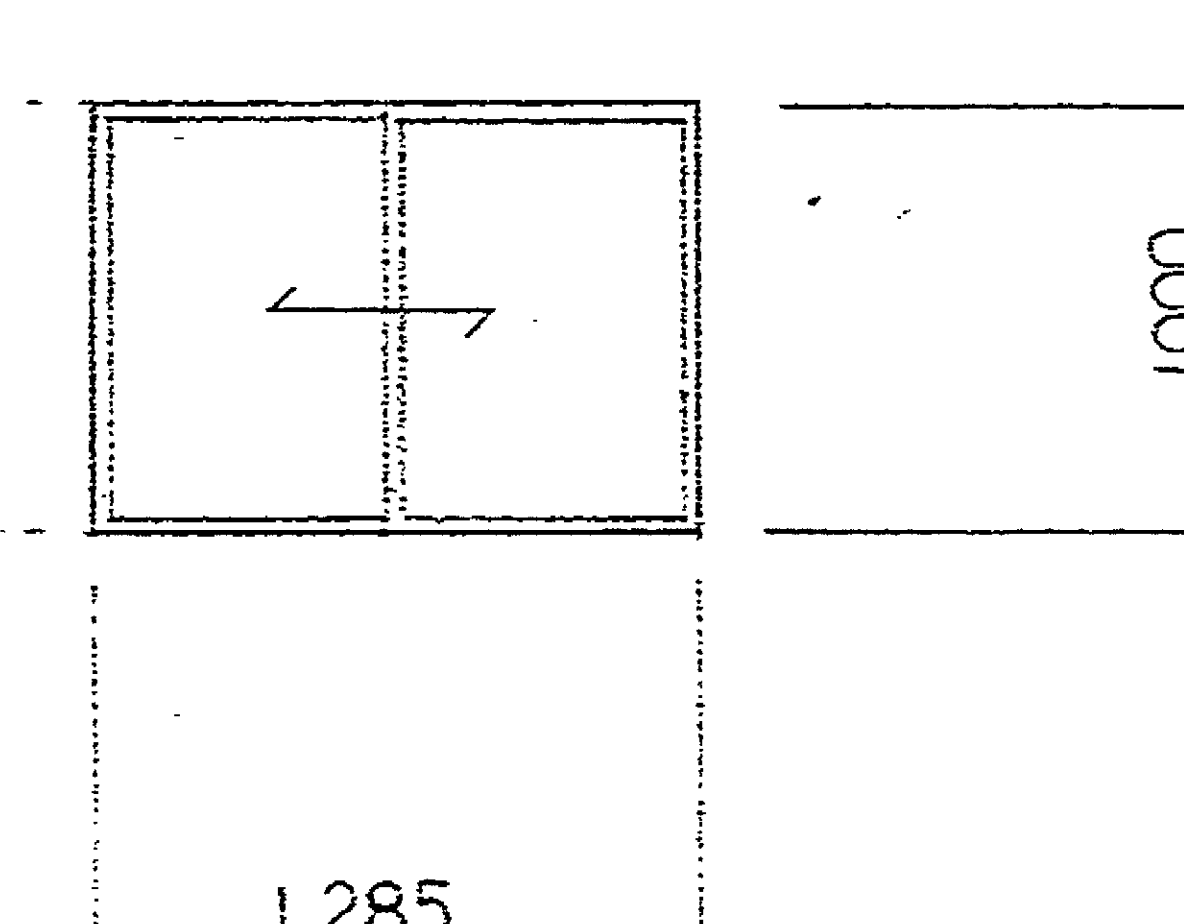
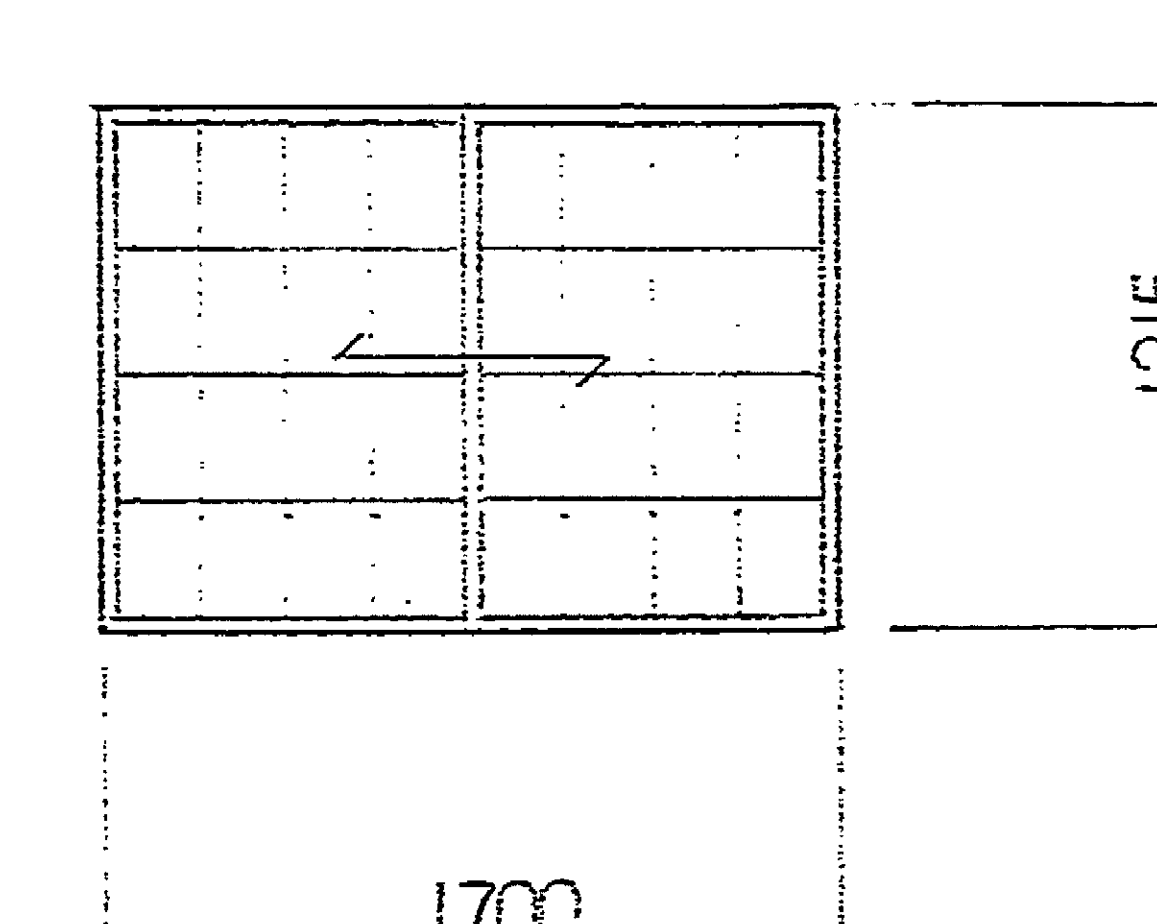
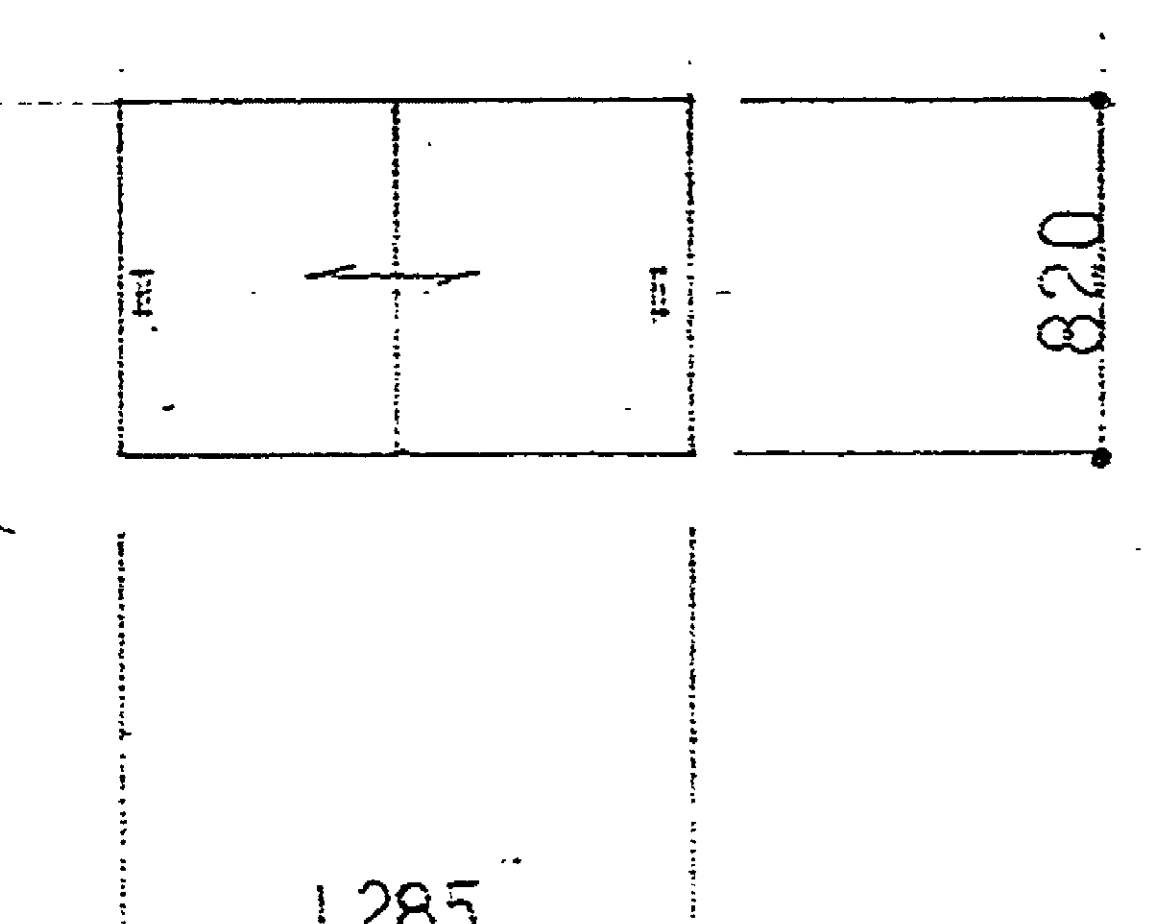
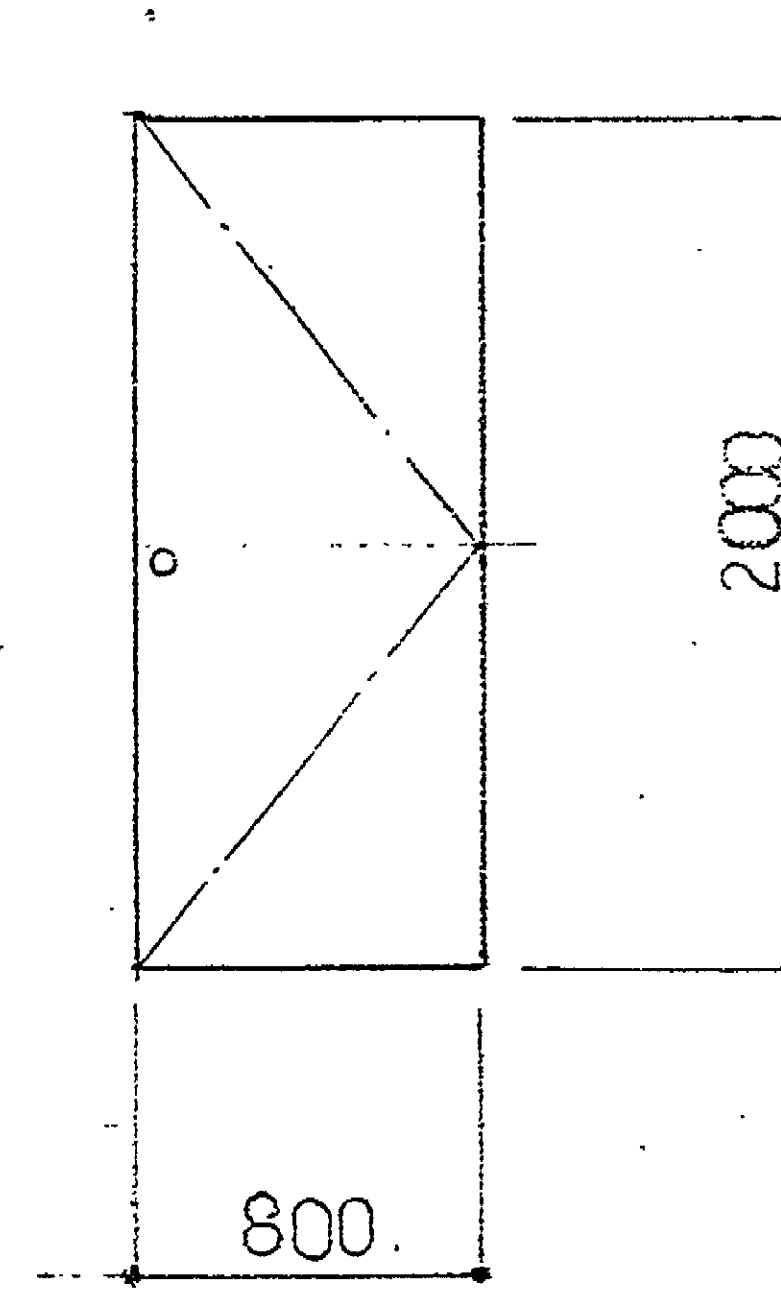
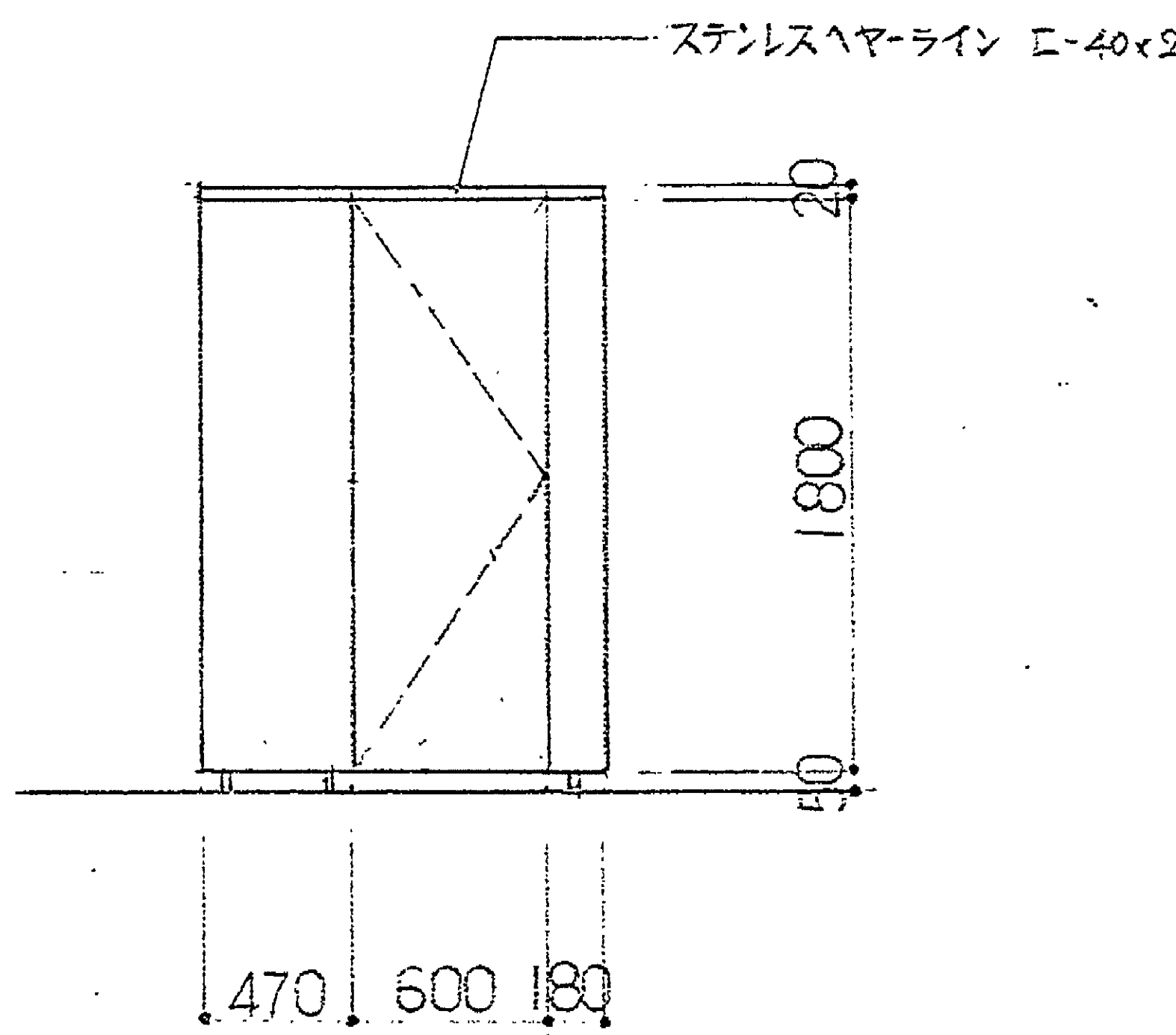
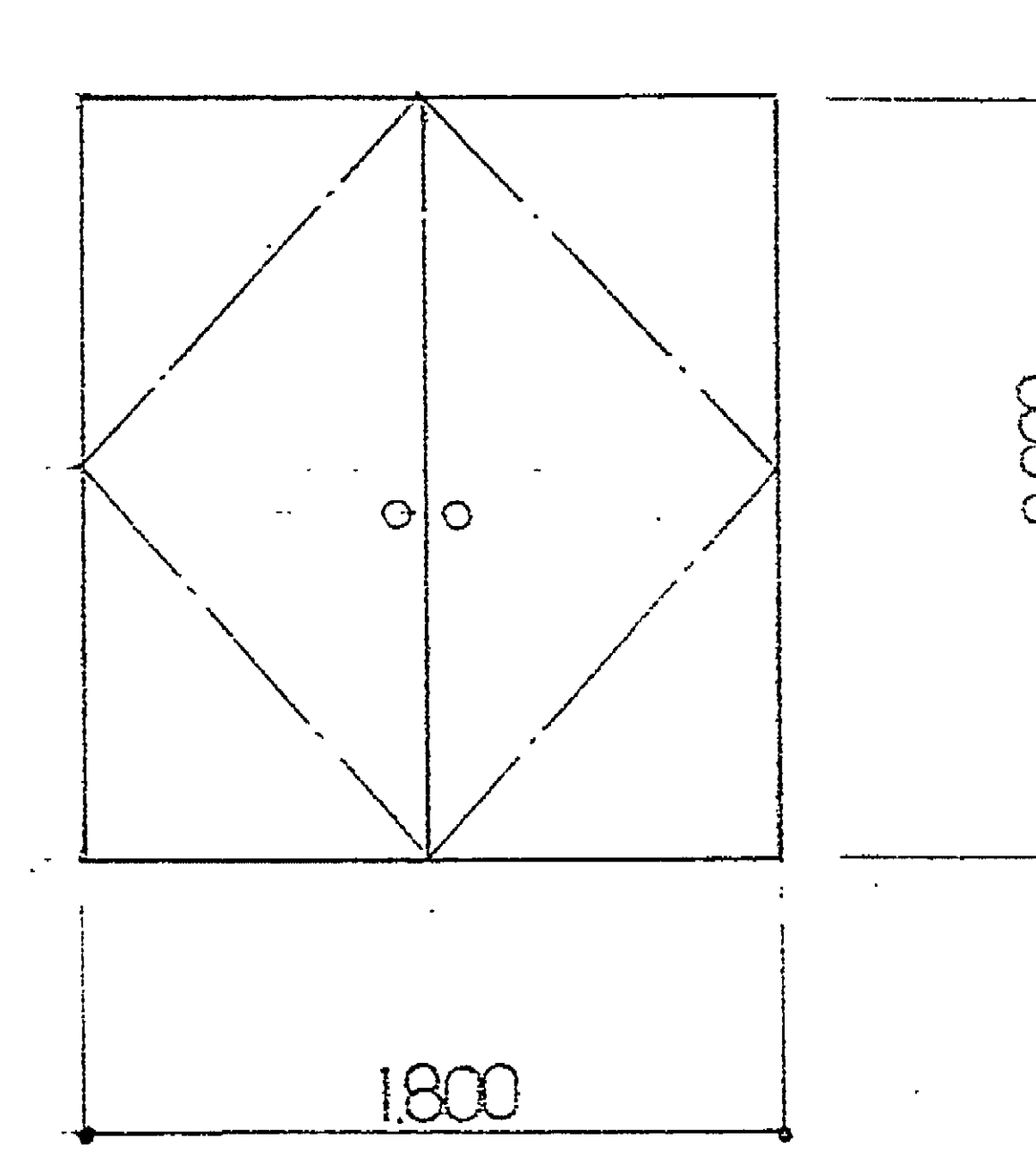
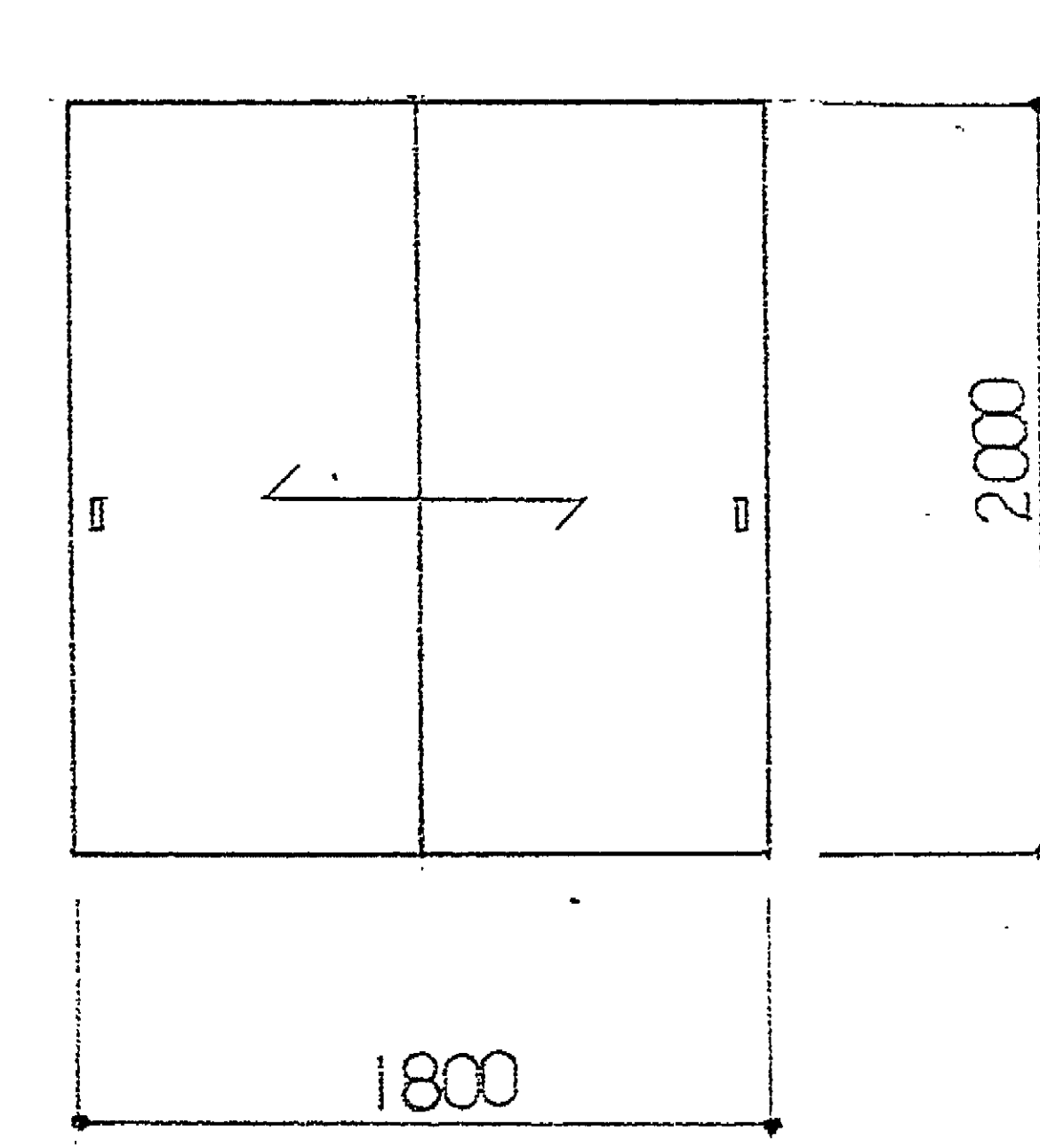
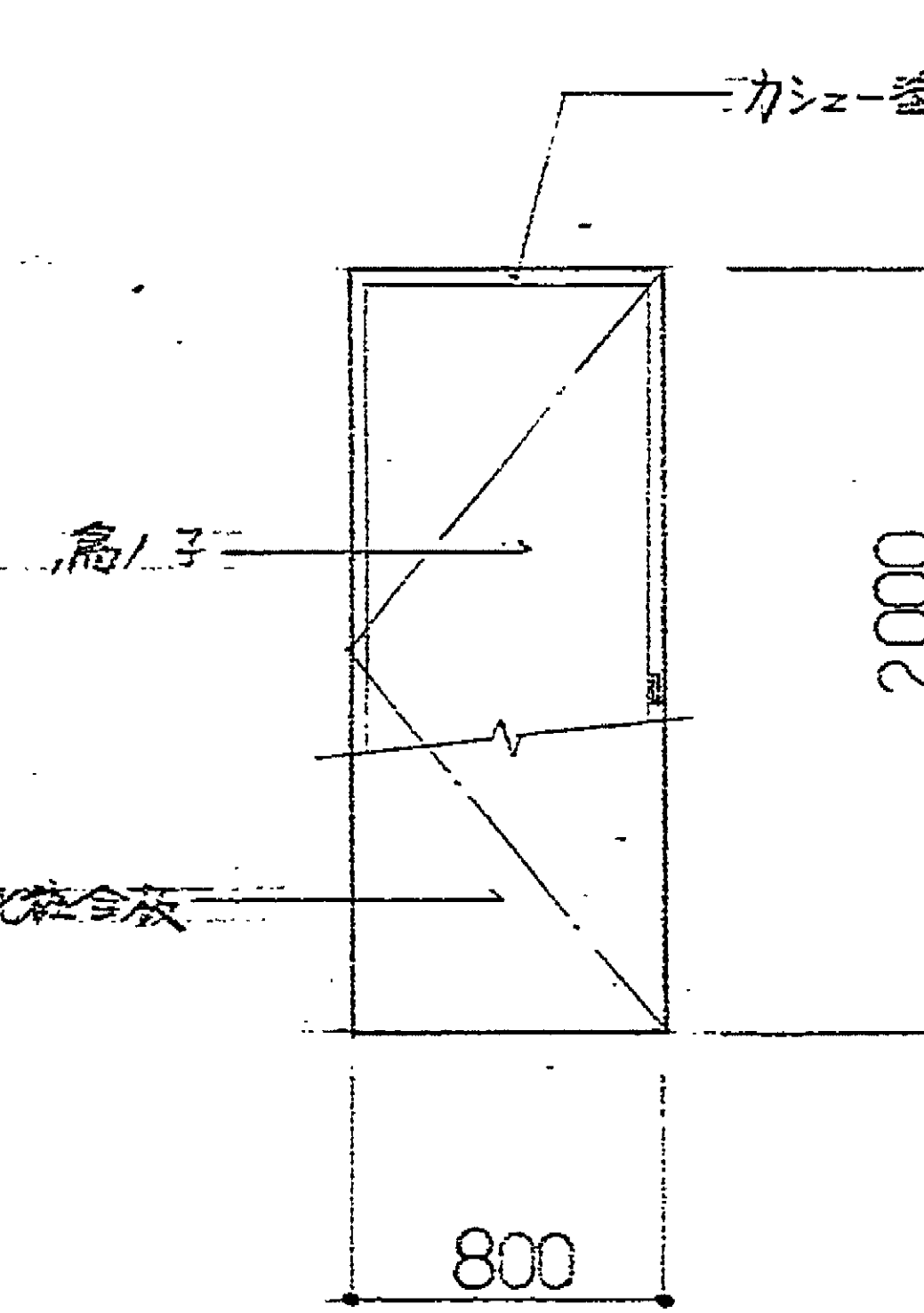
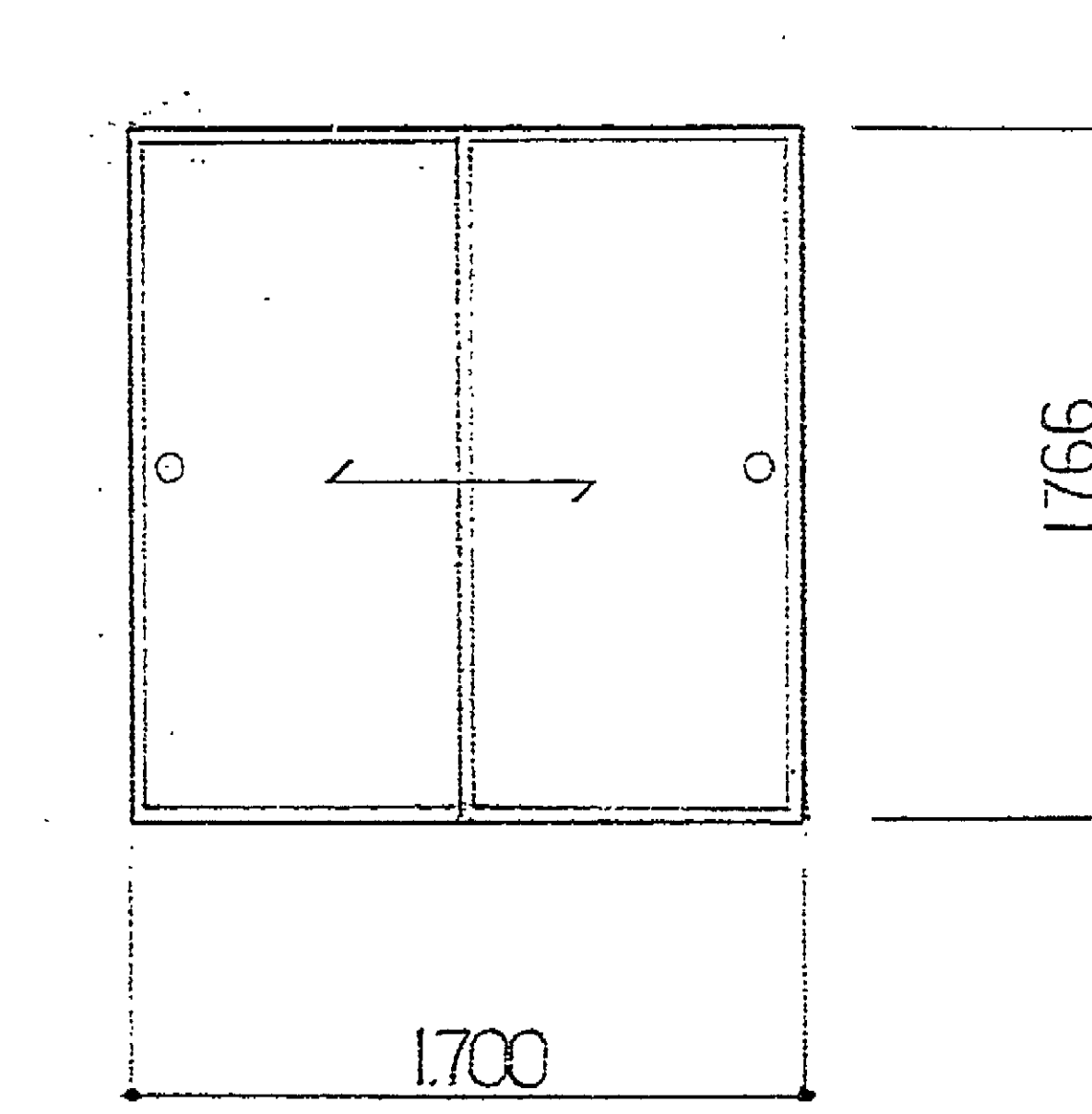
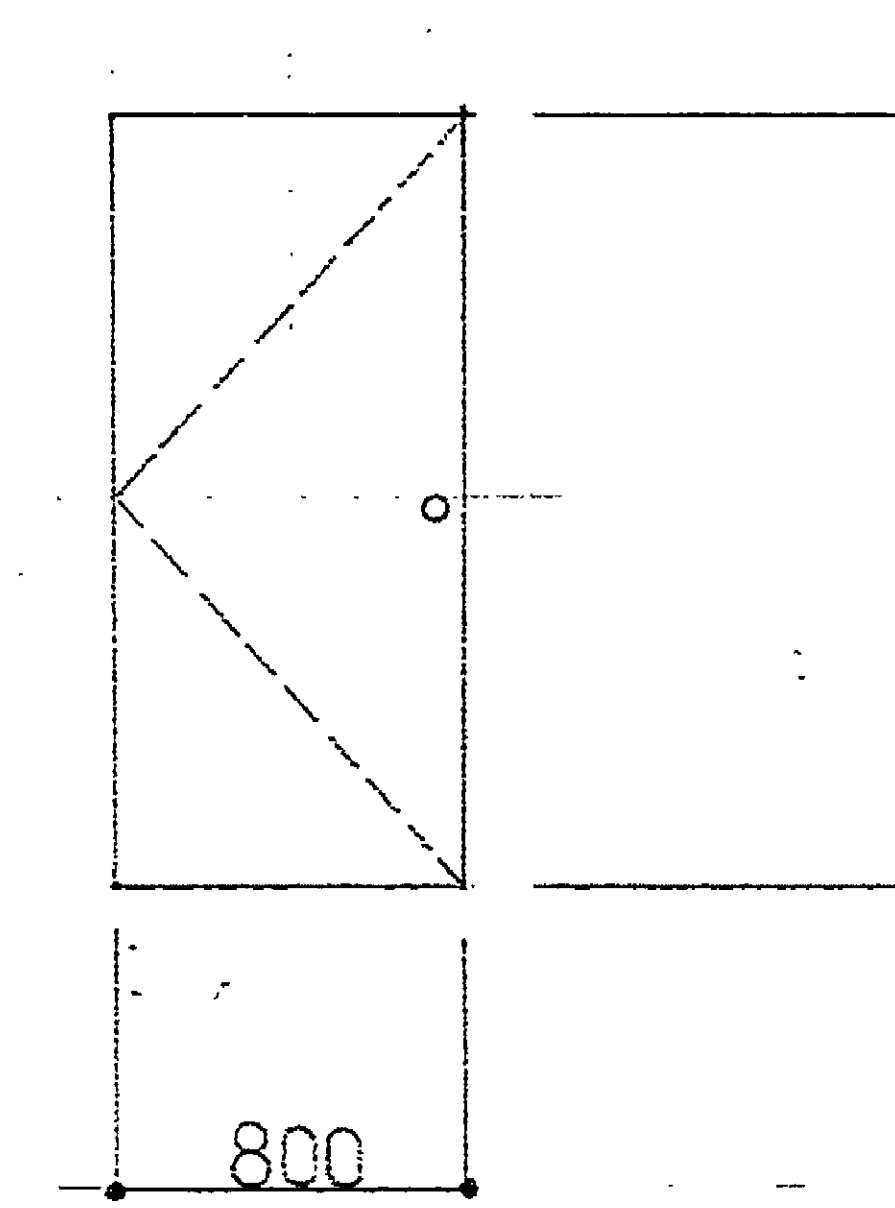
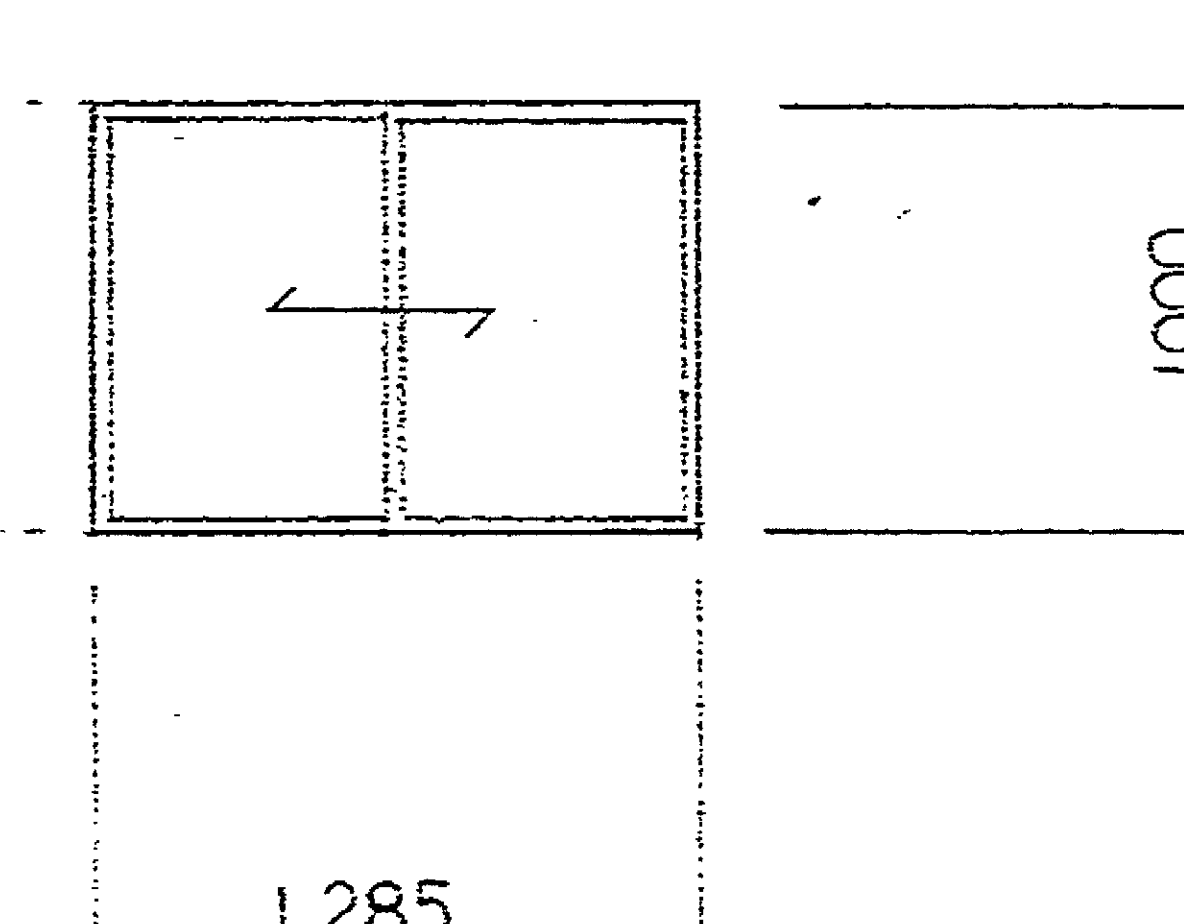
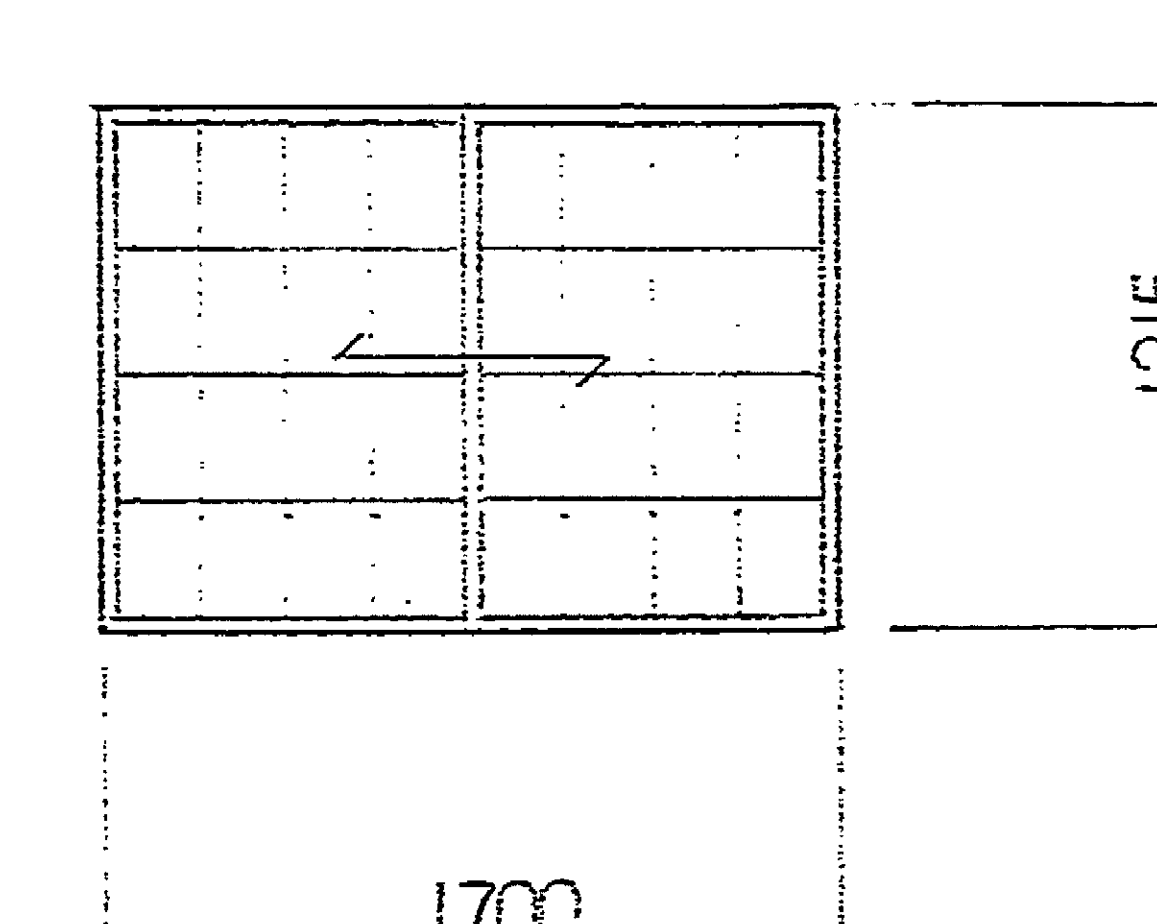
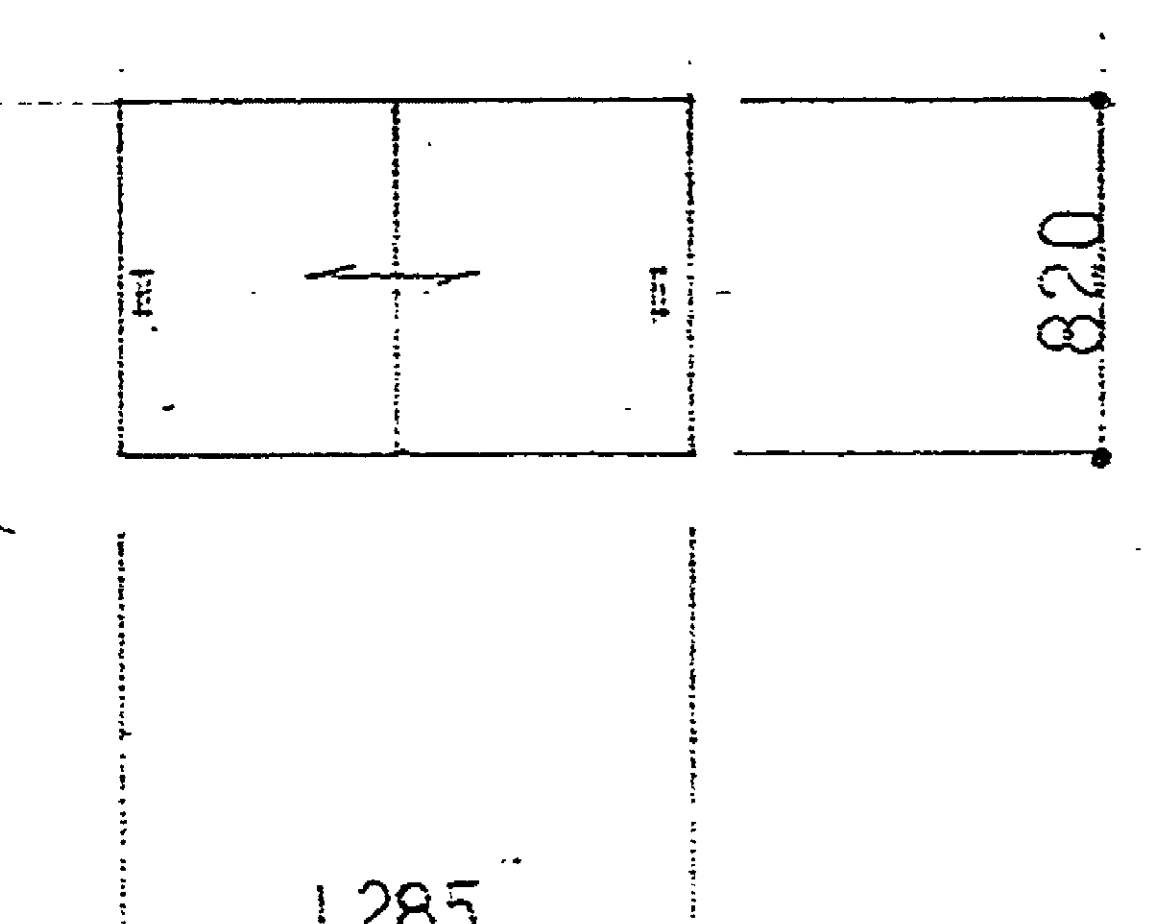


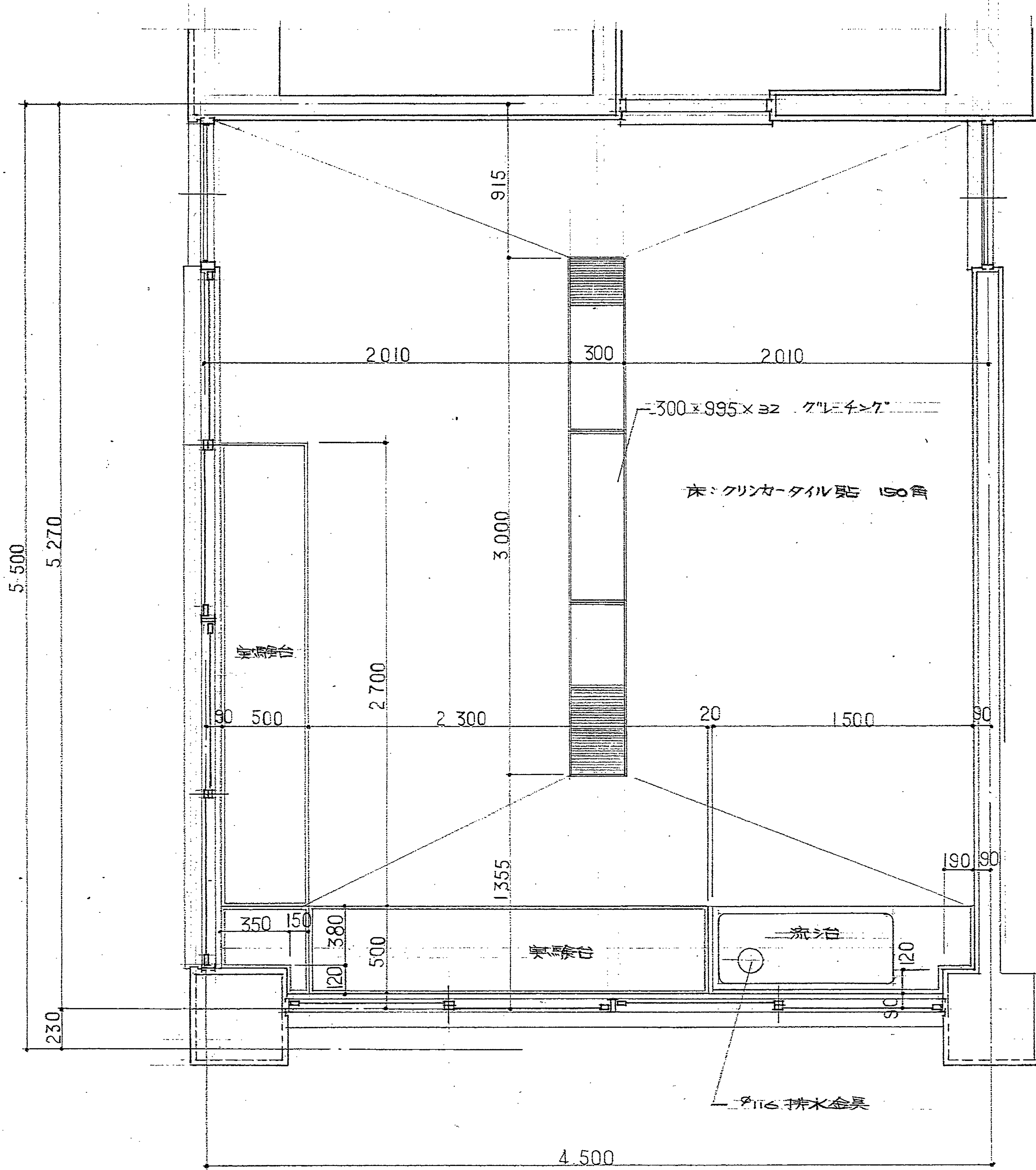
2階建具キープラン



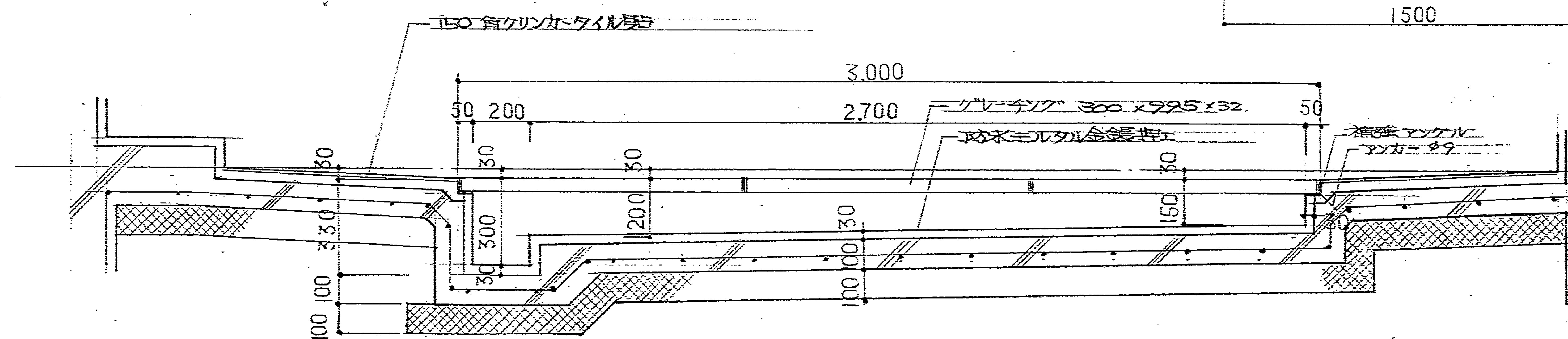
AD 1			AD 2			AD 3			AD 4		
本数	1	金物	本数	1	金物	本数	1	金物	本数	1	金物
使用箇所	玄関ホール	押板、フロアエントランス 落し錠	使用箇所	便所	窓枠 ②20% ステンレス 掘玉、ドアチェック 錠錠 (外部) カムターン錠 (内部)	使用箇所	浴室	二重水切：アルミ 掘玉、錠錠	使用箇所	研究室	掘玉、錠錠、 窓枠 ②20% ステンレス ドアチェック
材料	アルミ	リジダー錠 (外部) カムターン錠 (内部) 窓枠 ②20% ステンレス	材料	アルミ		材料	アルミ		材料	アルミ 板厚 10%	
硝子	6.8% 遮光ガラス		硝子	4% 遮光ガラス		硝子	4% 遮光ガラス		硝子		
仕上			仕上			仕上			仕上		
備考			備考			備考			備考		
枠見込 70			枠見込 70			枠見込 70			枠見込 70		
AD 5			AD 6			SD 1					
本数	1	金物	本数	1	金物	本数	1	金物			
使用箇所	洋居室	掘玉、錠錠、 ドアチェック、 窓枠 ②20% ステンレス	使用箇所	階段ホール	二重水切 ②20% ステンレス 掘玉、ドアチェック 錠錠 (外部) カムターン錠 (内部)	使用箇所	便所	ヒンジ 取りはずし可能な錠錠			
材料	アルミ 板厚 10%		材料	アルミ 板厚 10%		材料	スチール				
硝子			硝子			硝子					
仕上			仕上			仕上	O.P.塗				
備考			備考			備考					
枠見込 70			枠見込 70			枠見込 45					

AW 1	本数	2	金物	AW 2	本数	1	金物	AW 3	本数	1	金物				
	使用箇所	事務室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切。		使用箇所	研究室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切。		使用箇所	事務室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切。				
	材 料	アルミ	材 料		アルミ	材 料	アルミ								
	硝 子	3% 透明	硝 子		4% 型ガラス	硝 子	3% 透明								
	仕 上		仕 上			仕 上									
			備 考				備 考				備 考				
枠見込 70				枠見込 70				枠見込 70							
AW 4	本数	2	金物	AW 5	本数	1	金物	AW 6	本数	2	金物	AW 7	本数	12	金物
	使用箇所	浴室、湯沸室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切。		使用箇所	階段室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切。		使用箇所	2階和室付脱室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切。		使用箇所	会議室、倉庫、階段室	戸車、手掛、バハドル、 二重水切。
	材 料	アルミ	材 料		アルミ	材 料	アルミ		材 料	アルミ					
	硝 子	4% 型ガラス	硝 子		6.8% 線入透明	硝 子	3% 透明		硝 子	5% 透明					
	仕 上		仕 上			仕 上			仕 上						
			備 考				備 考				備 考				備 考
枠見込 70				枠見込 70				枠見込 70				枠見込 70			
ADW 1	本数	1	金物	ADW 2	本数	1	金物		本数	1	金物		本数		金物
	使用箇所	研製室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切、 トアチェック 省エネ20%ステンレス		使用箇所	1階付脱室	戸車、手掛、クレセント、 二重水切、 トアチェック 省エネ20%ステンレス		使用箇所				使用箇所		
	材 料	アルミ	材 料		アルミ	材 料			材 料						
	硝 子	4% 型ガラス	硝 子		% 型ガラス、4% 型ガラス	硝 子			硝 子						
	仕 上		仕 上			仕 上			仕 上						
			備 考				備 考				備 考				備 考
枠見込 70				枠見込 70				枠見込 70				枠見込 70			

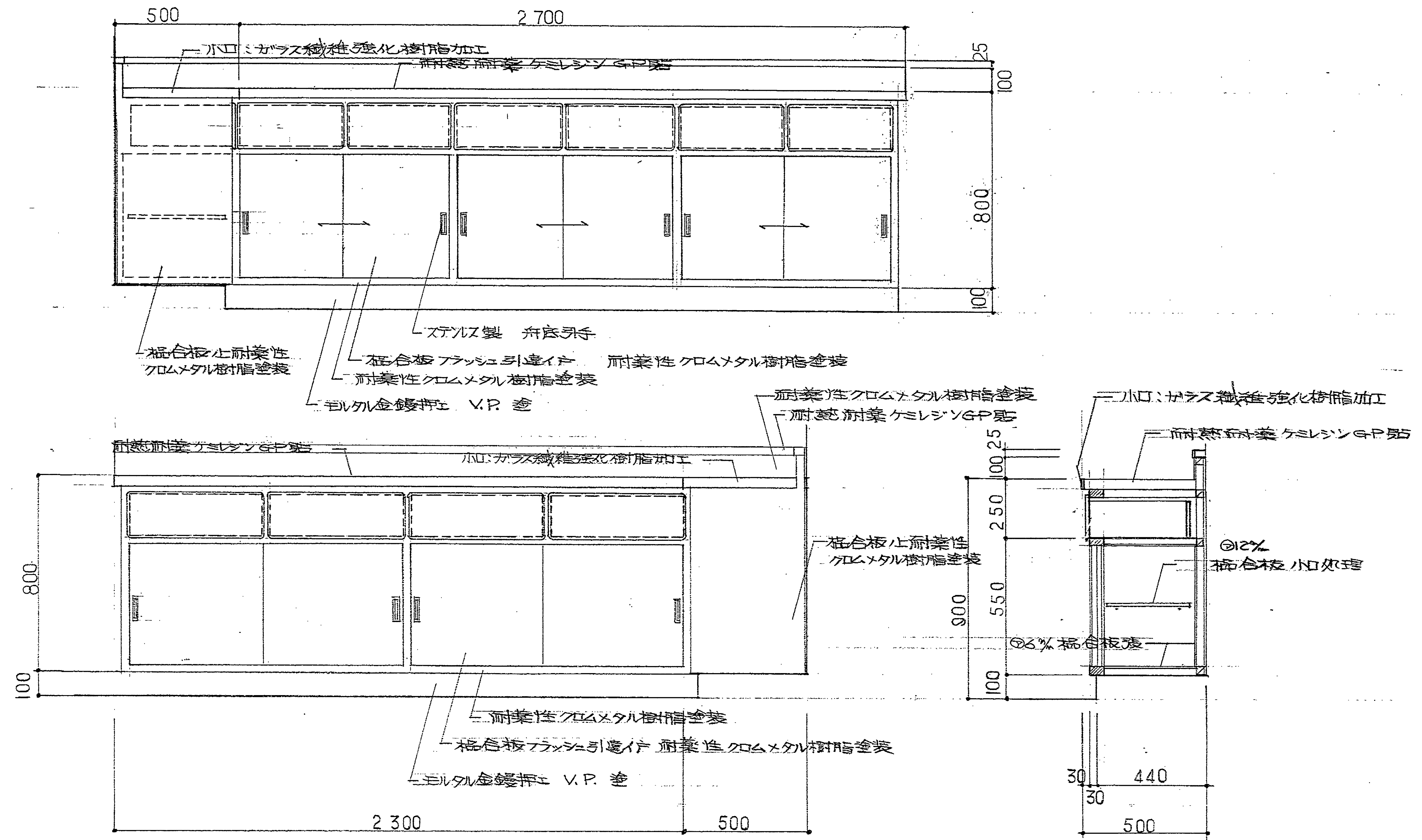
WD 1	本数	2	金物	WD 2	本数	1	金物	WD 3	本数	1	金物	WD 4	本数	1	金物																																																																																																																																																																																																																																																								
	使用箇所	玄関ホール、脱衣室	丁番、握玉、空錠 トアチェック		材料	ポリエステル化粧板、ラワン（両面）	使用箇所		便所	握玉（スナ式表示錠） ステンレス製頭錠 自在サポート ラバトリ・ヒンジ ラバトリ・ストライク	使用箇所		会議室	丁番、握玉、空錠、 ホシ錠 シリコーン錠 トアチェック	使用箇所	会議室	丁番、引手、底車 （ステンレス）	硝子		材料	ポリエステル化粧板、ラワン、（両面）	硝子		材料	ポリエステル化粧板、ラワン、（両面）	硝子		材料	ポリエステル化粧板、ラワン、板金板 O.P.	仕上				仕上				仕上				仕上							備考				備考				備考				備考				建具見込 36				建具見込 36				建具見込 36				建具見込 36	WD 5	本数	1	金物	WD 6	本数	1	金物	WD 7	本数	1	金物					使用箇所	休憩室	丁番、握玉、取手 三角ハネ錠、	使用箇所	休憩室	取手 底車（プラスチック）	使用箇所	便所	丁番、握玉、空錠 トアチェック	材料	ポリエステル化粧板（ホール側） 島ノ子（休憩室側）、ラワン、スチス	材料	スチス、島ノ子、	材料	ポリエステル化粧板、ラワン（両面）	硝子		硝子		硝子		仕上	片面カシメ、		仕上	カシメ		仕上												備考				備考				備考								建具見込 36				建具見込 30				建具見込 36					WW 1	本数	2	金物	WW 2	本数	2	金物	WW 3	本数	2	金物					使用箇所	事務室	引手、底車、	使用箇所	休憩室	引手、	使用箇所	事務室	引手、底車、	材料	堅木（クワシ度）	材料	スチス	材料	ポリエステル化粧板、ラワン（両面）	硝子	5%透明	硝子		硝子		仕上	O.P.		仕上			仕上												備考				備考				備考								建具見込 33				建具見込 30				建具見込 30					マイクロ NO. 63-2997			昭和 54年度	畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図			図面名 建具表 3	縮尺 1:50 昭和54年 2月 日			静岡県 建築部 管 繕 課			設計 事務所 株式会社ナカノ工務 一級建築士事務所 担当者			施設 コード 5・15・000 図 番 A・31・22
	材料	ポリエステル化粧板、ラワン（両面）	使用箇所		便所	握玉（スナ式表示錠） ステンレス製頭錠 自在サポート ラバトリ・ヒンジ ラバトリ・ストライク	使用箇所		会議室	丁番、握玉、空錠、 ホシ錠 シリコーン錠 トアチェック	使用箇所		会議室	丁番、引手、底車 （ステンレス）																																																																																																																																																																																																																																																									
	硝子		材料		ポリエステル化粧板、ラワン、（両面）	硝子			材料	ポリエステル化粧板、ラワン、（両面）	硝子			材料	ポリエステル化粧板、ラワン、板金板 O.P.																																																																																																																																																																																																																																																								
仕上				仕上				仕上				仕上																																																																																																																																																																																																																																																											
			備考				備考				備考				備考																																																																																																																																																																																																																																																								
			建具見込 36				建具見込 36				建具見込 36				建具見込 36																																																																																																																																																																																																																																																								
WD 5	本数	1	金物	WD 6	本数	1	金物	WD 7	本数	1	金物																																																																																																																																																																																																																																																												
	使用箇所	休憩室	丁番、握玉、取手 三角ハネ錠、		使用箇所	休憩室	取手 底車（プラスチック）		使用箇所	便所	丁番、握玉、空錠 トアチェック																																																																																																																																																																																																																																																												
	材料	ポリエステル化粧板（ホール側） 島ノ子（休憩室側）、ラワン、スチス	材料		スチス、島ノ子、	材料	ポリエステル化粧板、ラワン（両面）																																																																																																																																																																																																																																																																
	硝子		硝子			硝子																																																																																																																																																																																																																																																																	
仕上	片面カシメ、		仕上	カシメ		仕上																																																																																																																																																																																																																																																																	
			備考				備考				備考																																																																																																																																																																																																																																																												
			建具見込 36				建具見込 30				建具見込 36																																																																																																																																																																																																																																																												
WW 1	本数	2	金物	WW 2	本数	2	金物	WW 3	本数	2	金物																																																																																																																																																																																																																																																												
	使用箇所	事務室	引手、底車、		使用箇所	休憩室	引手、		使用箇所	事務室	引手、底車、																																																																																																																																																																																																																																																												
	材料	堅木（クワシ度）	材料		スチス	材料	ポリエステル化粧板、ラワン（両面）																																																																																																																																																																																																																																																																
	硝子	5%透明	硝子			硝子																																																																																																																																																																																																																																																																	
仕上	O.P.		仕上			仕上																																																																																																																																																																																																																																																																	
			備考				備考				備考																																																																																																																																																																																																																																																												
			建具見込 33				建具見込 30				建具見込 30																																																																																																																																																																																																																																																												
マイクロ NO. 63-2997			昭和 54年度	畜犬管理センター管理棟建設主体 工事設計図			図面名 建具表 3	縮尺 1:50 昭和54年 2月 日			静岡県 建築部 管 繕 課			設計 事務所 株式会社ナカノ工務 一級建築士事務所 担当者			施設 コード 5・15・000 図 番 A・31・22																																																																																																																																																																																																																																																						



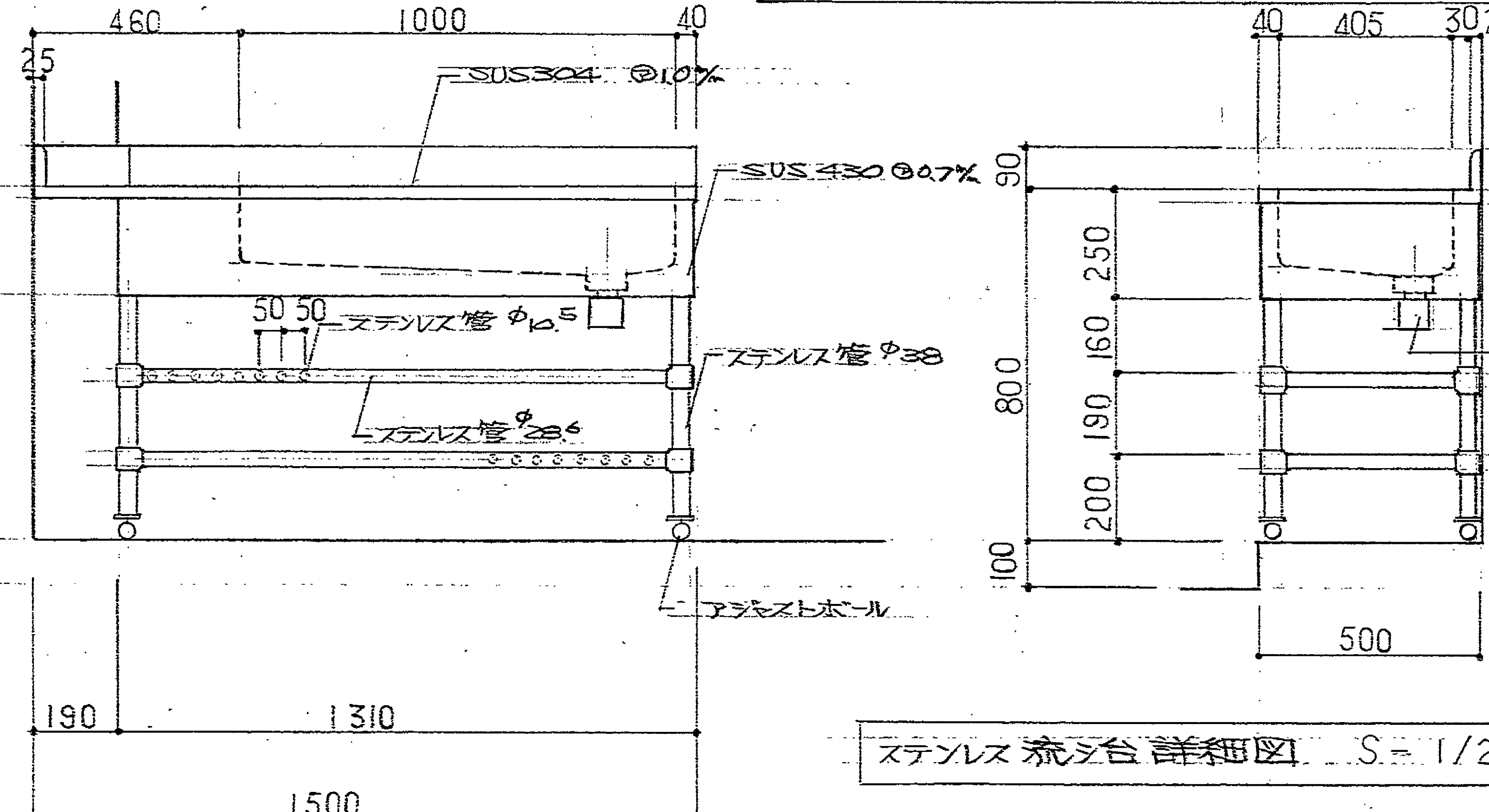
研究設備配置図 S=1/30



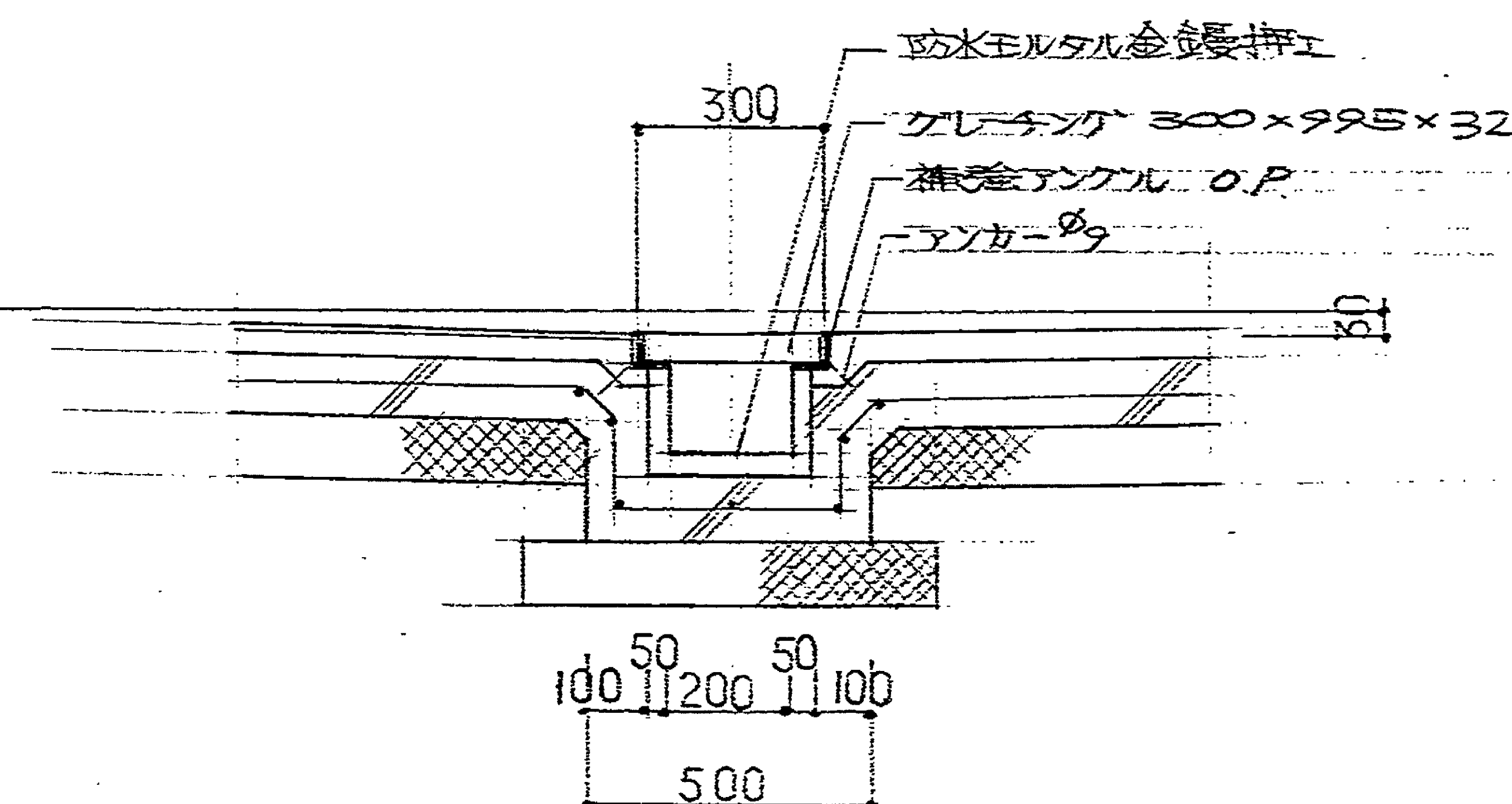
排水溝詳細図 S=1/20

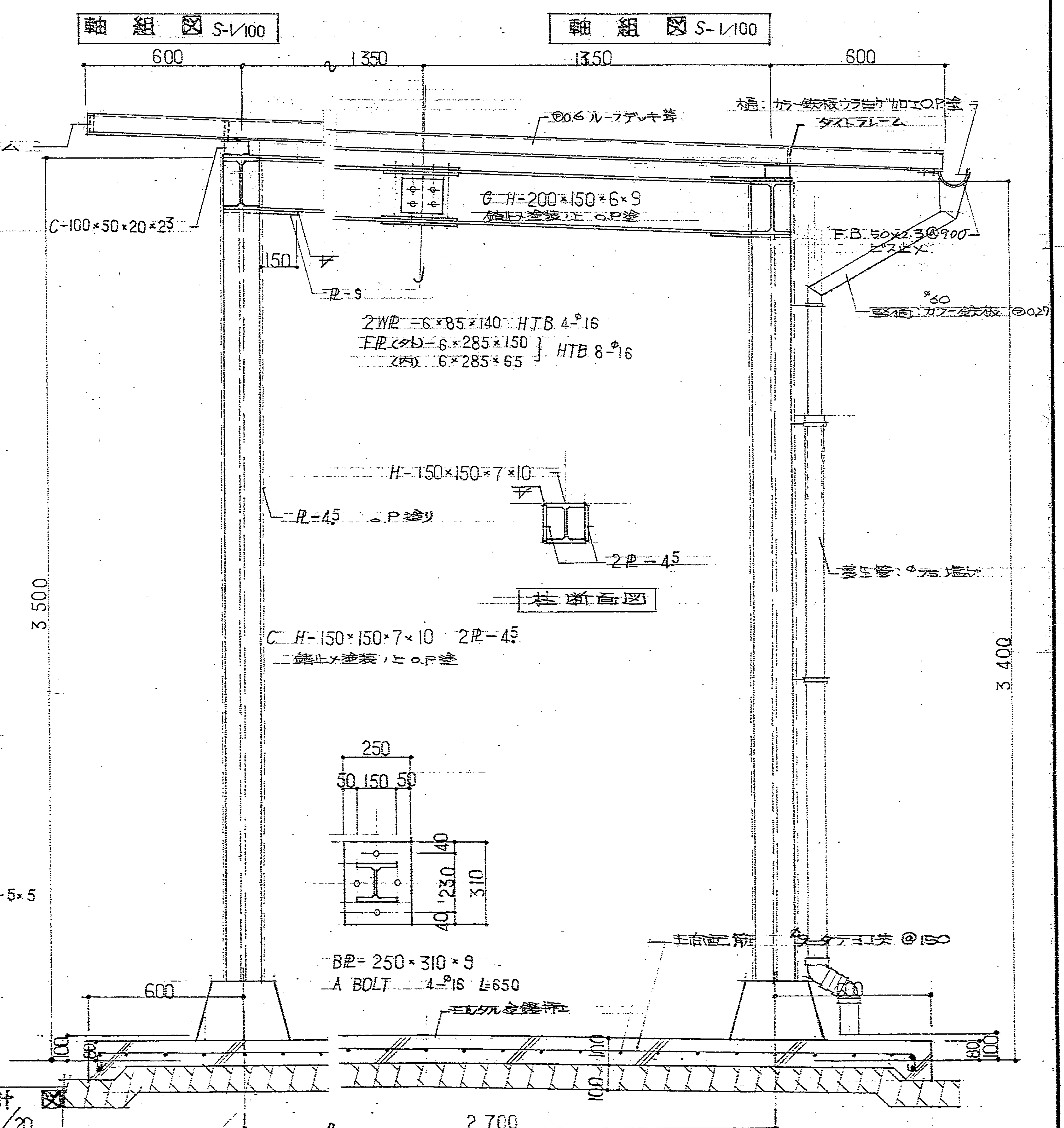
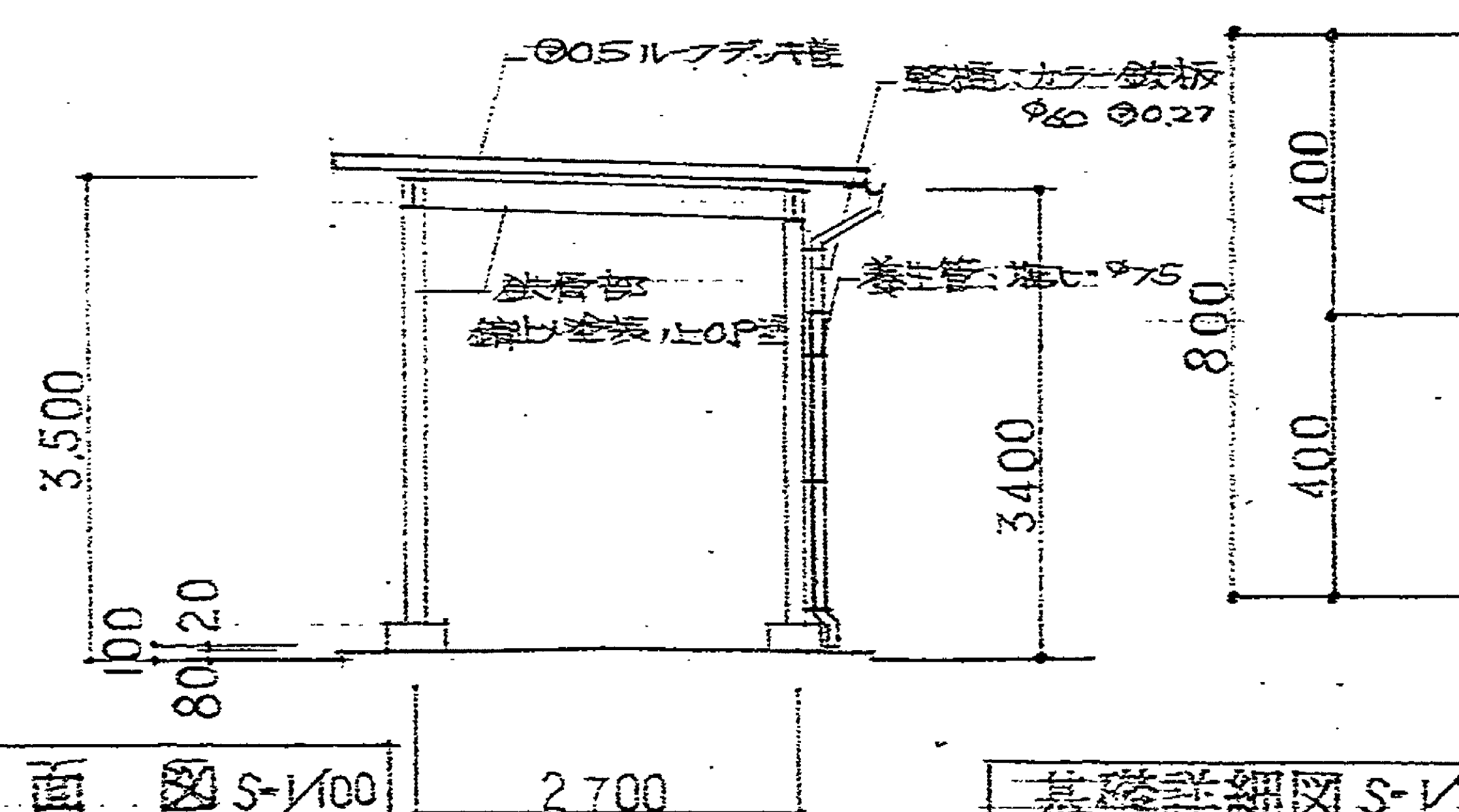
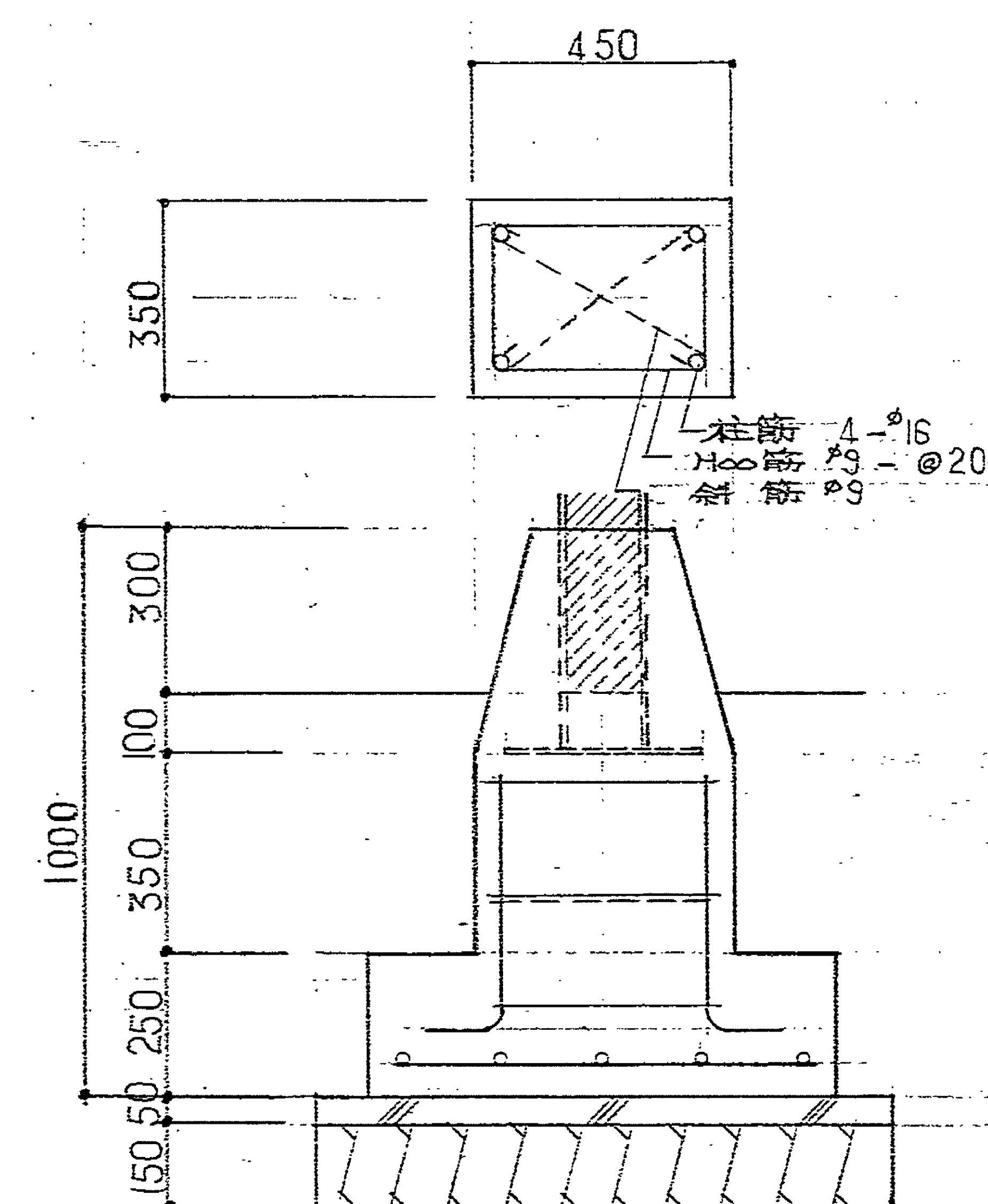
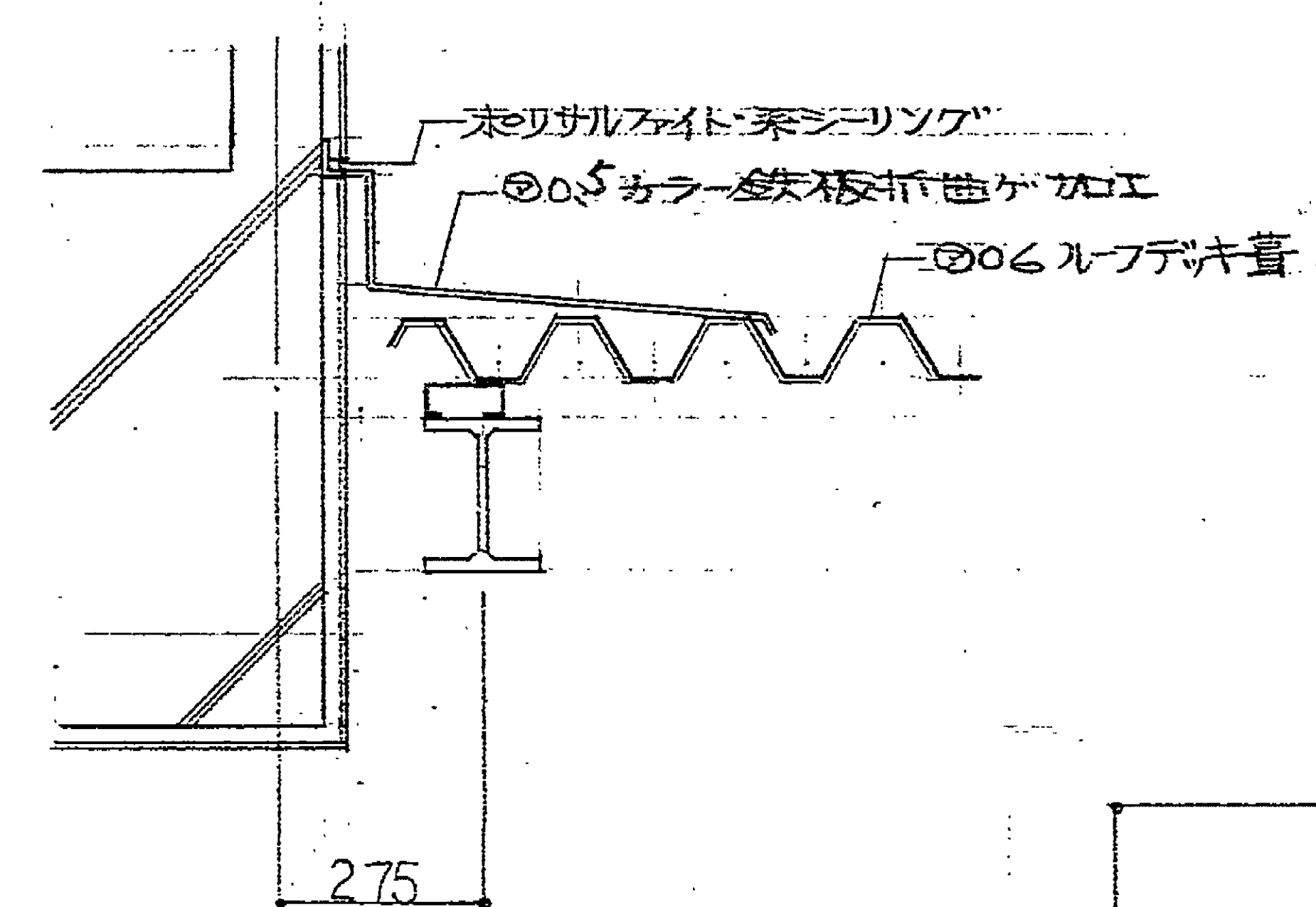
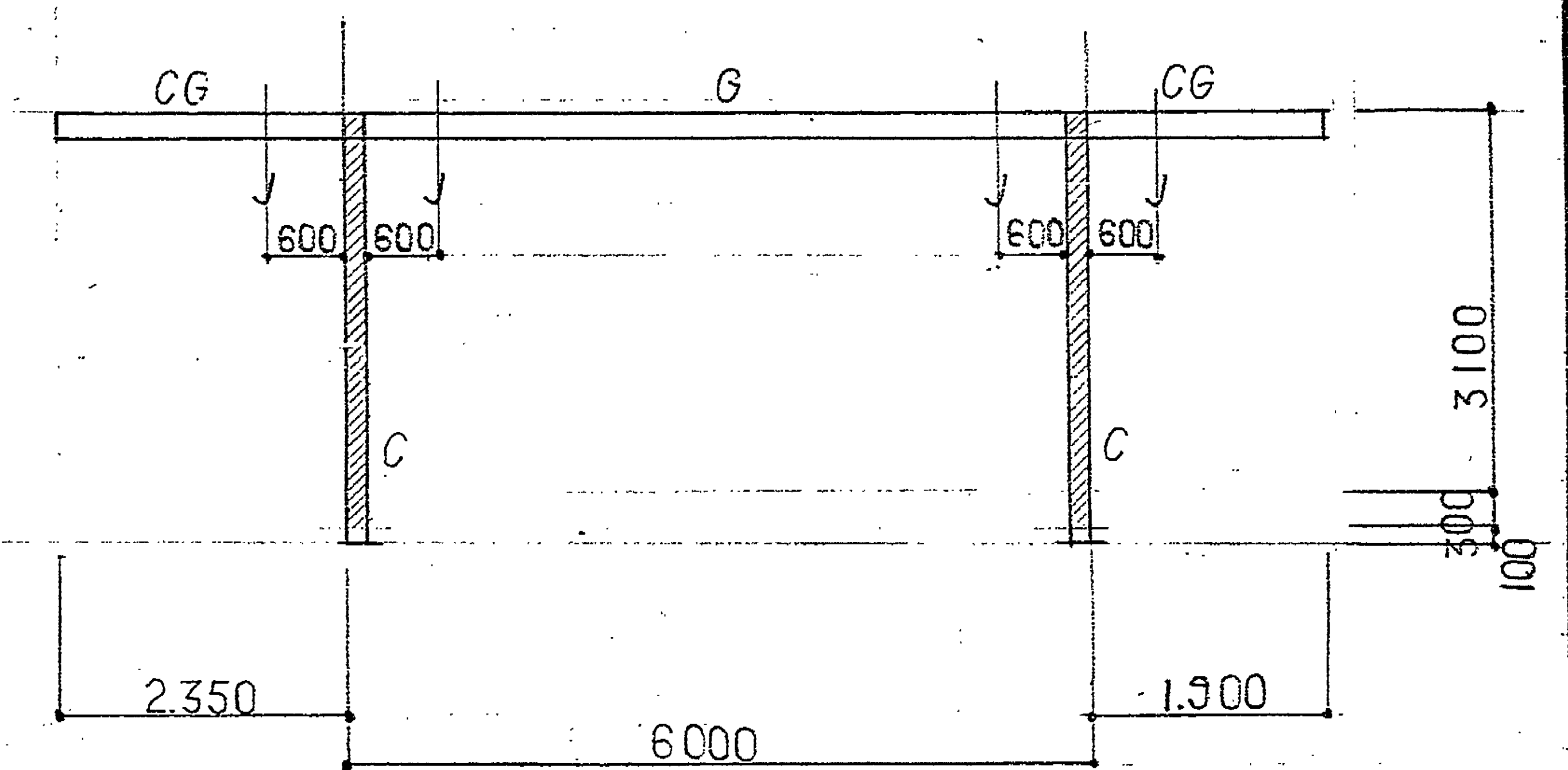
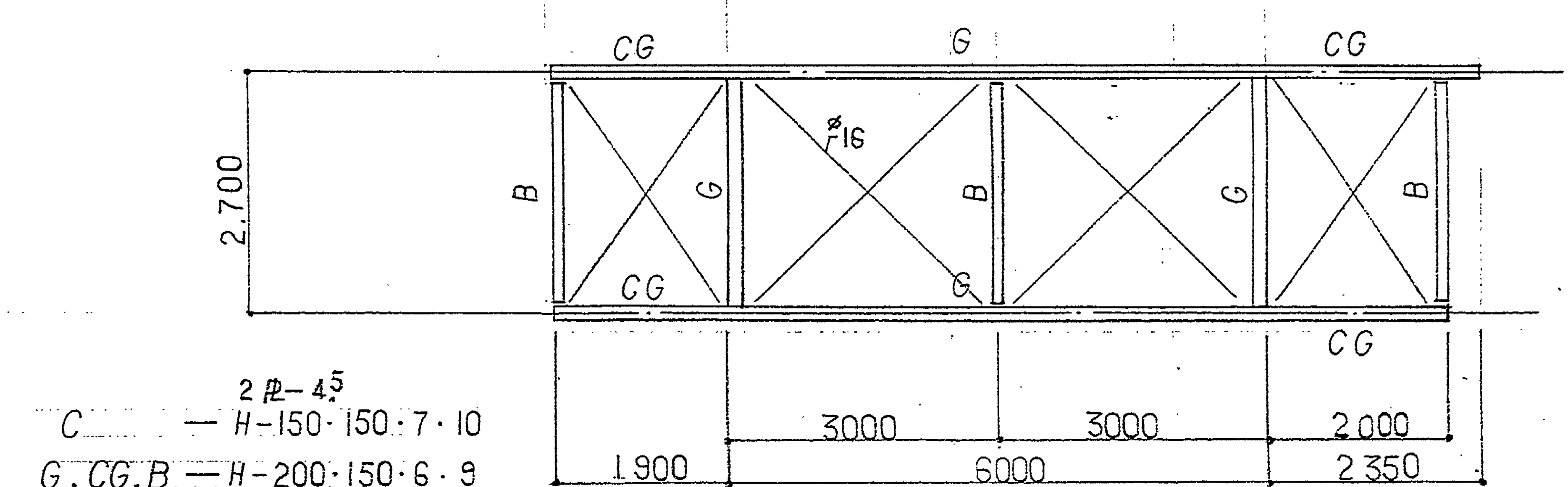
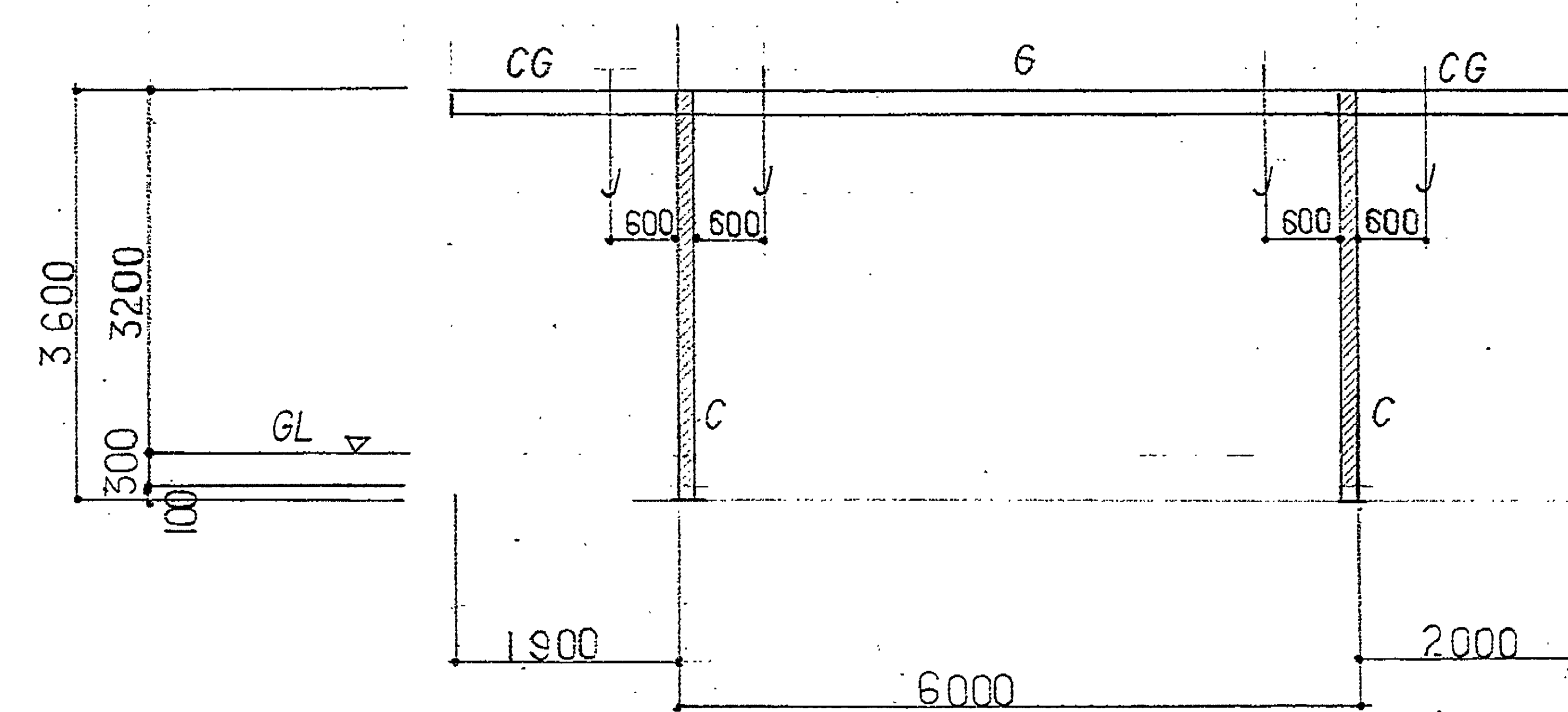
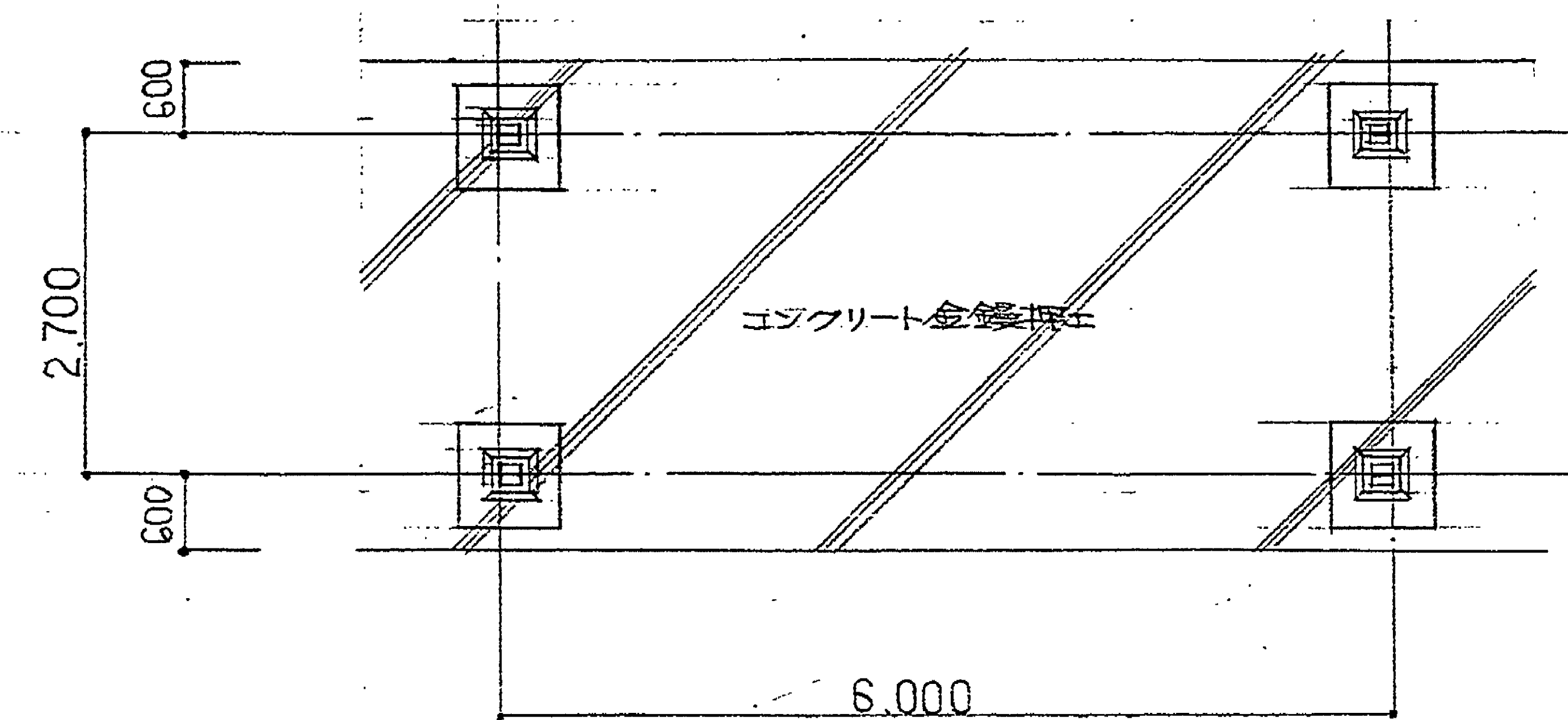
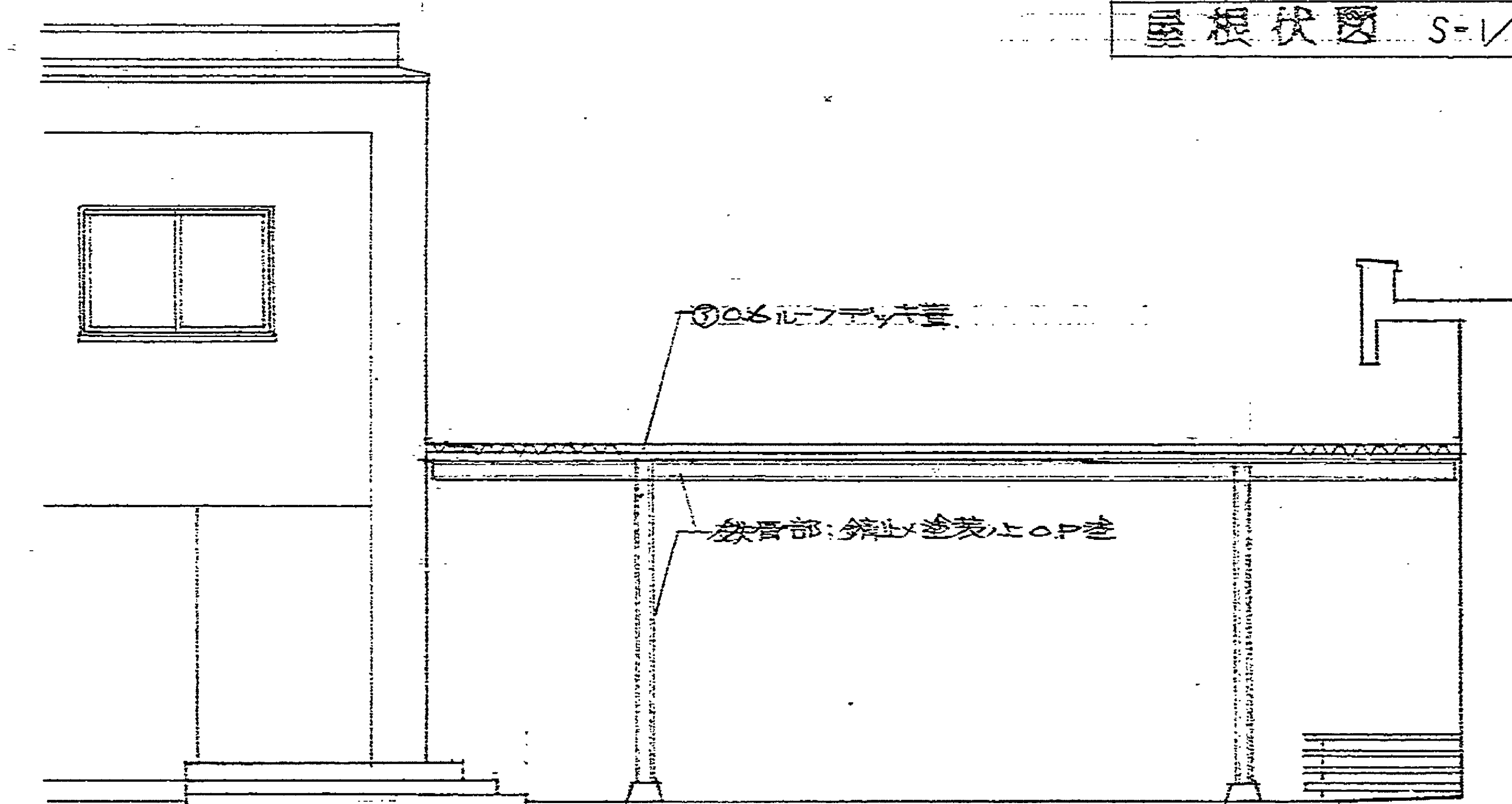
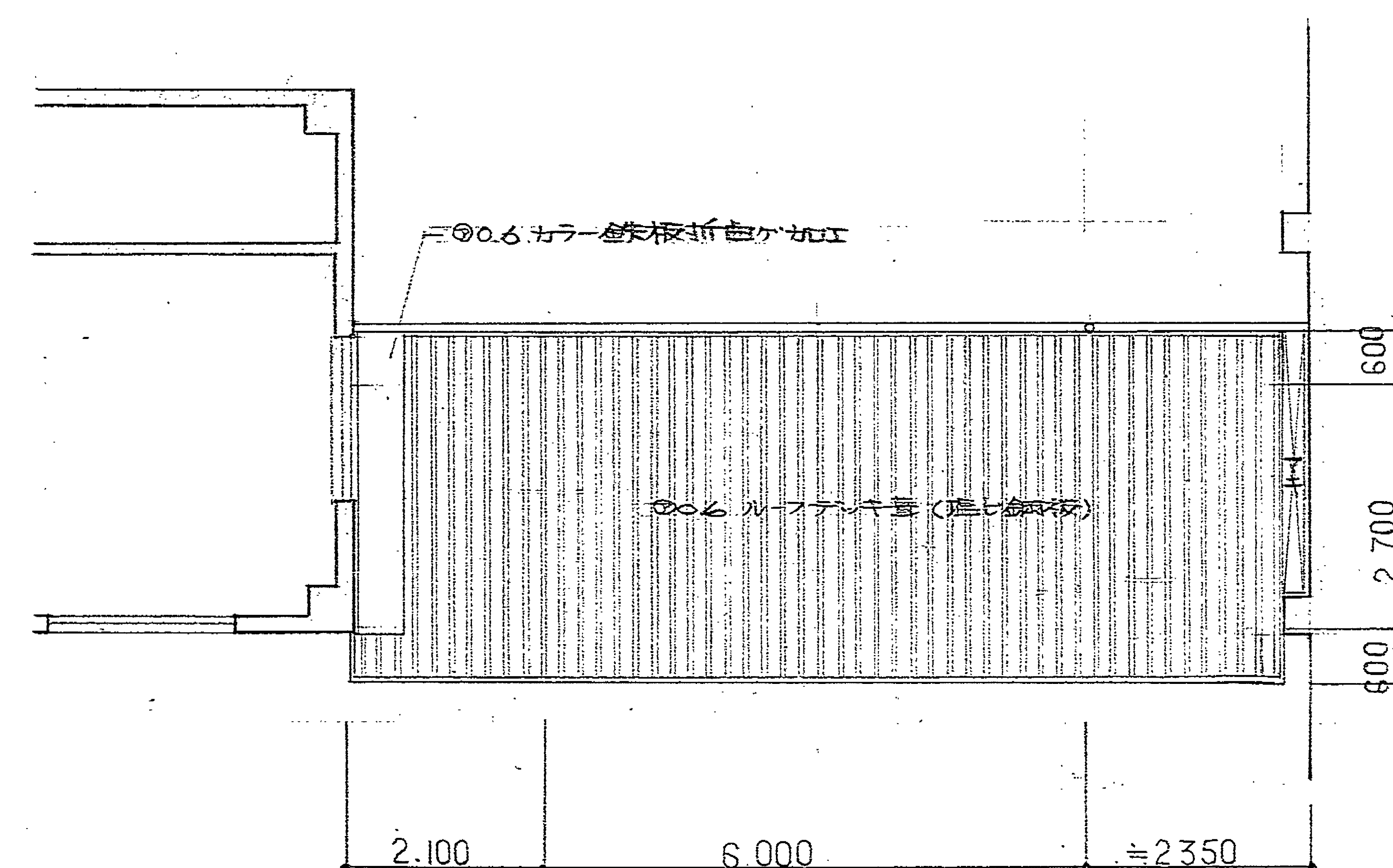
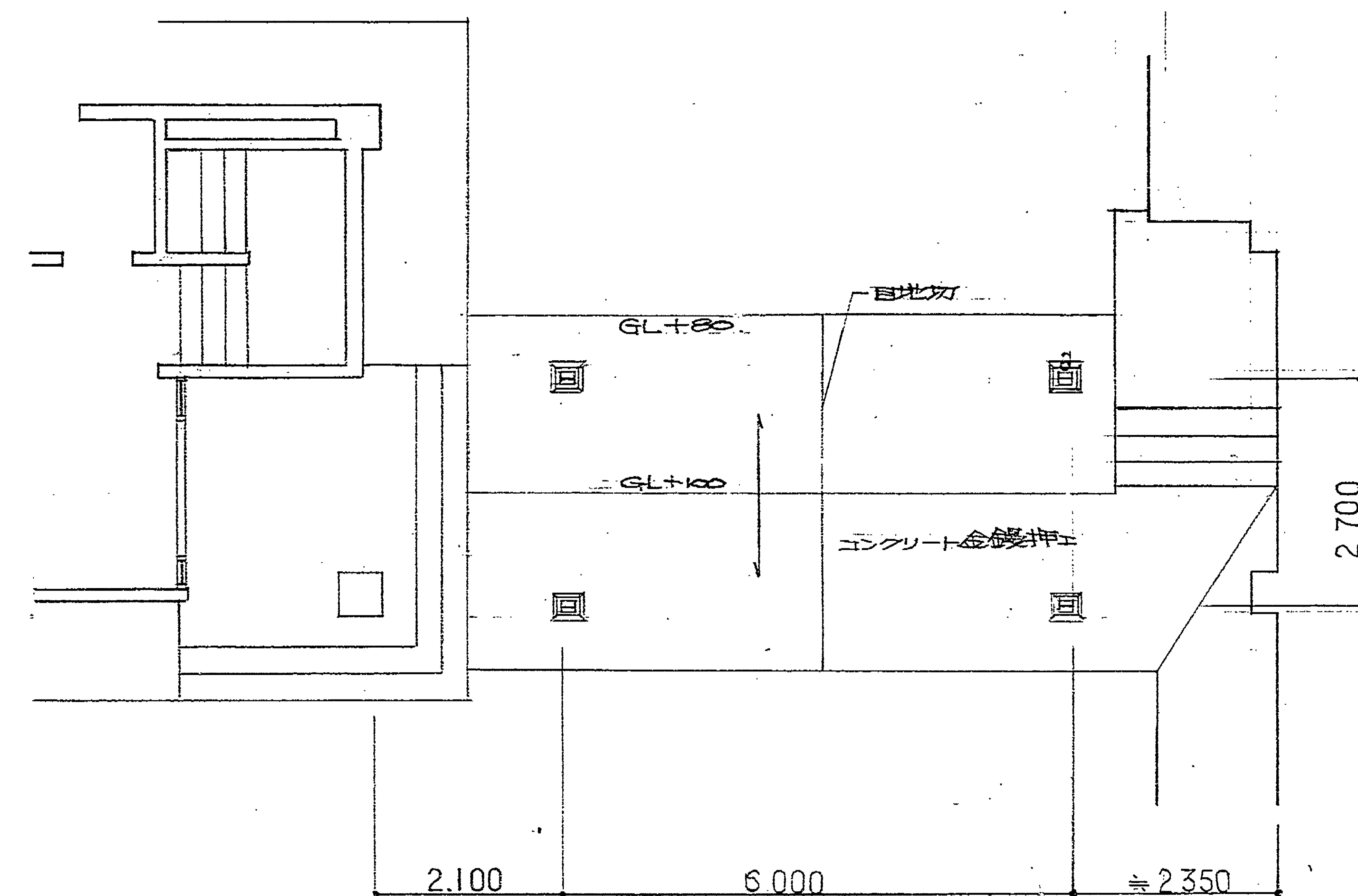


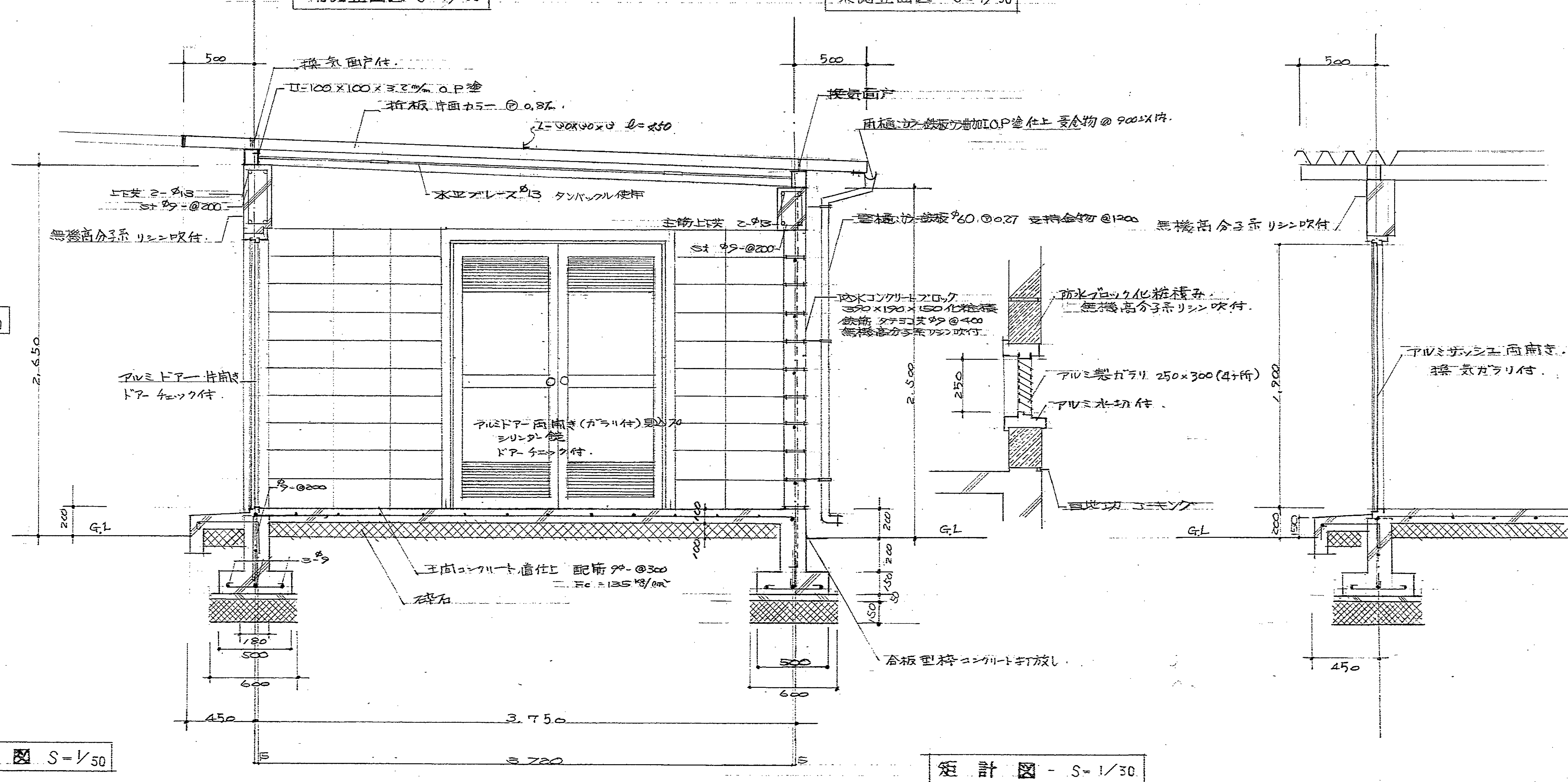
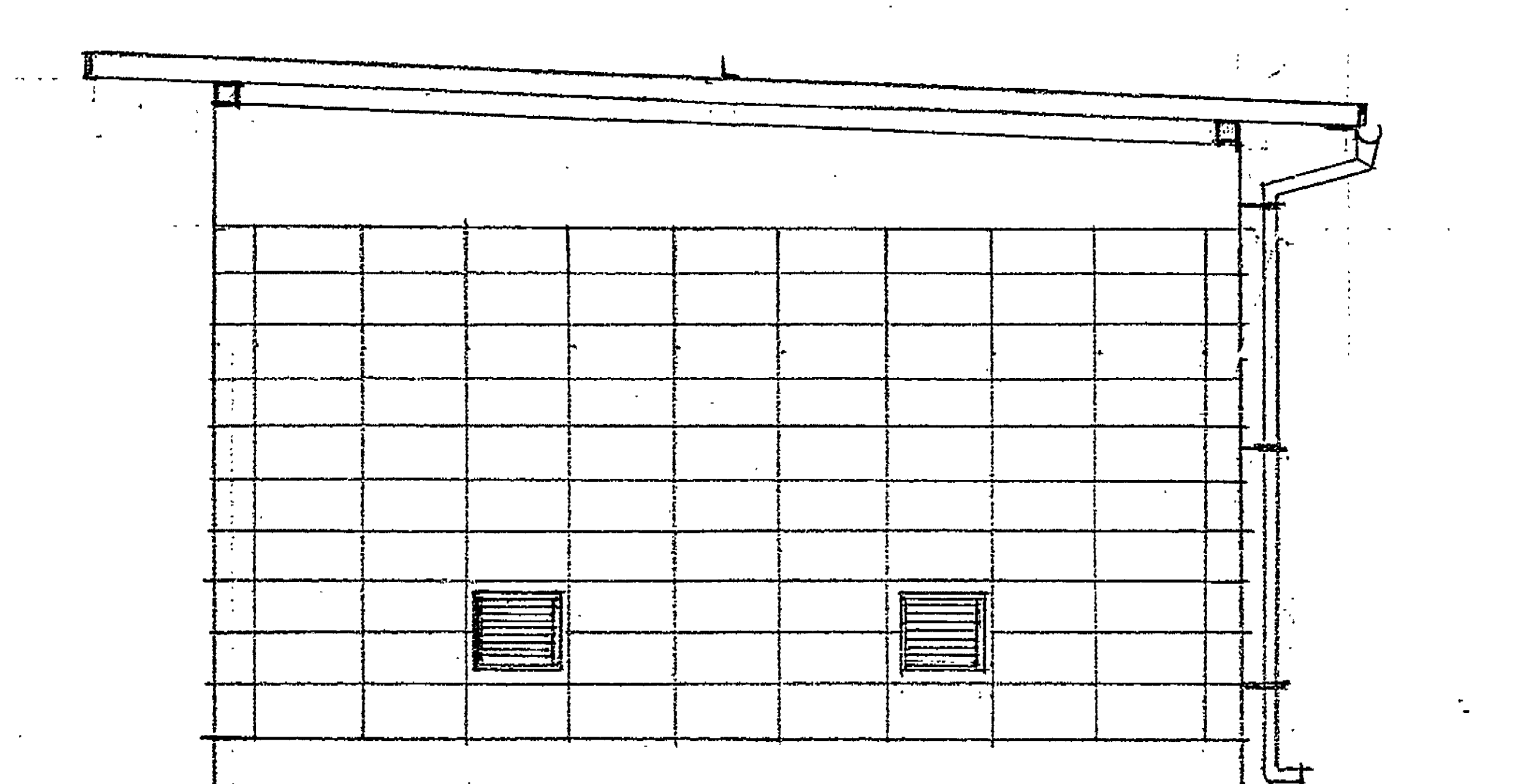
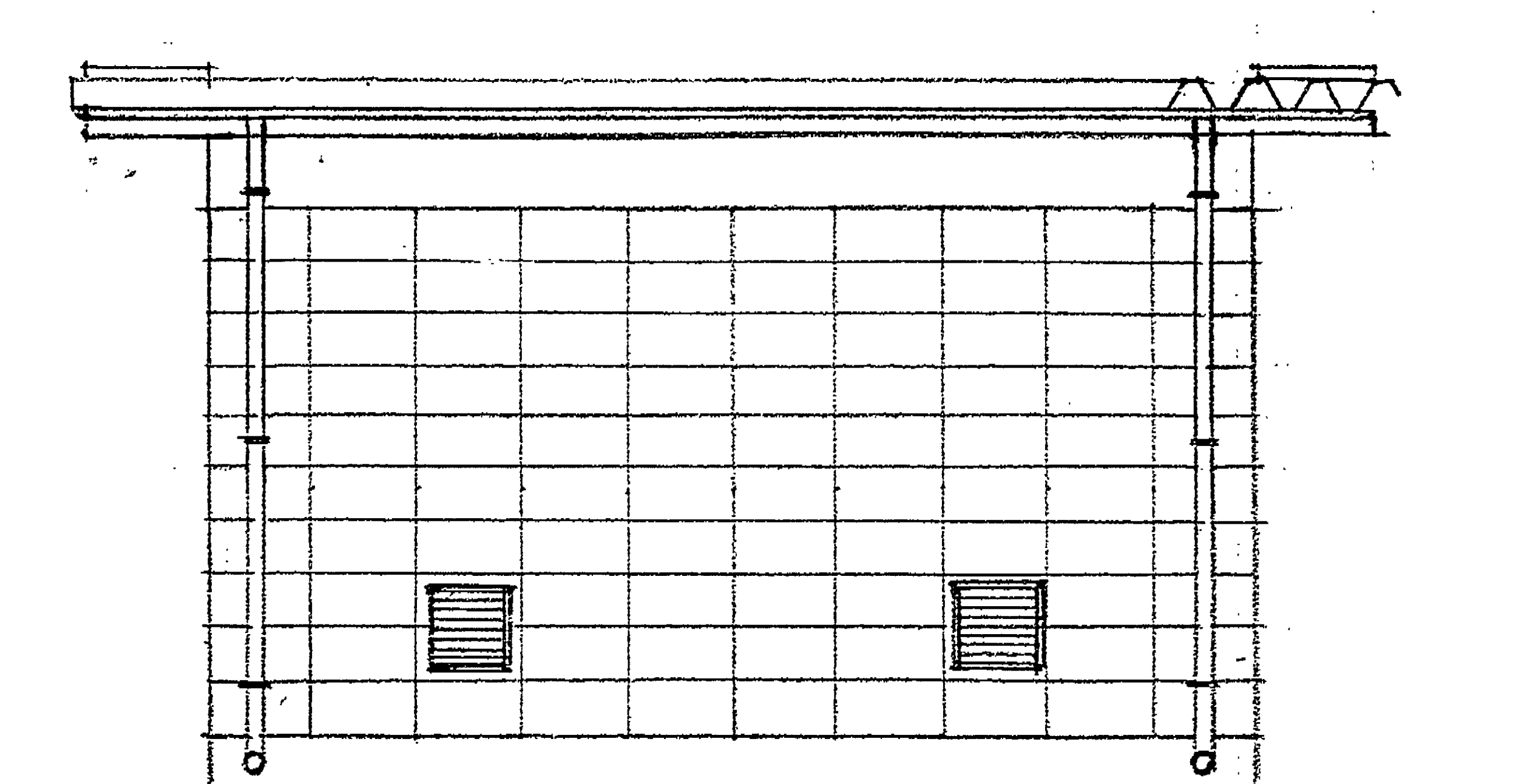
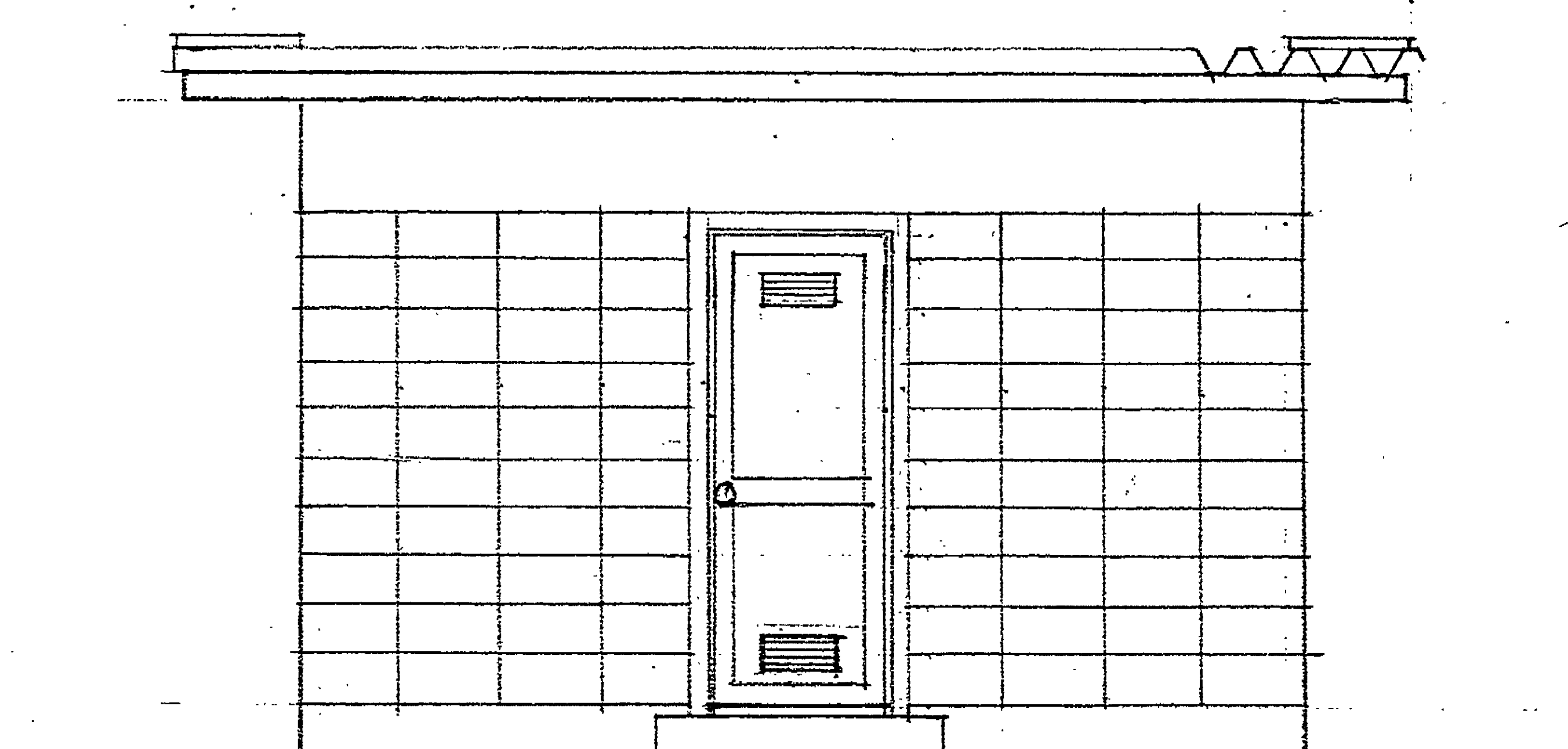
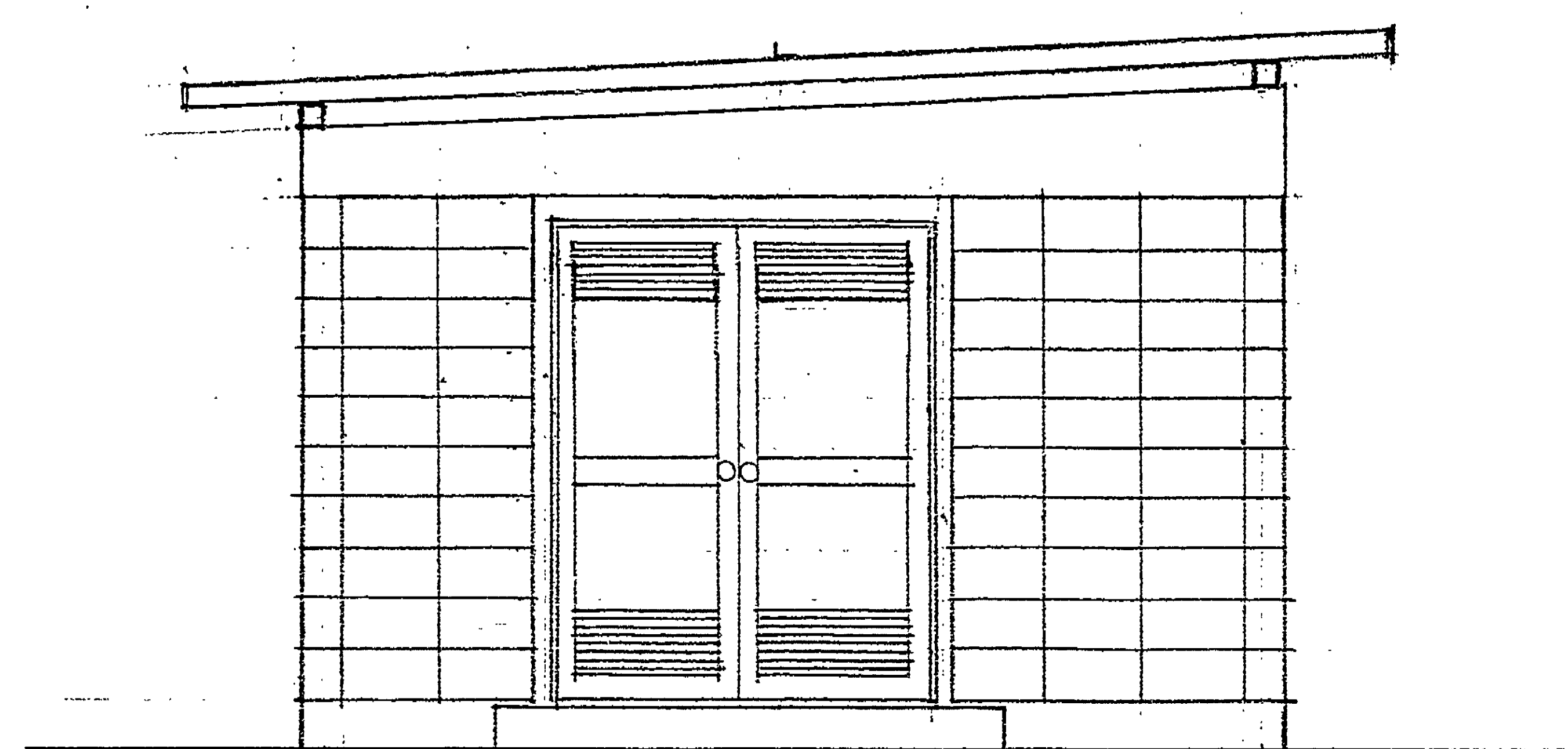
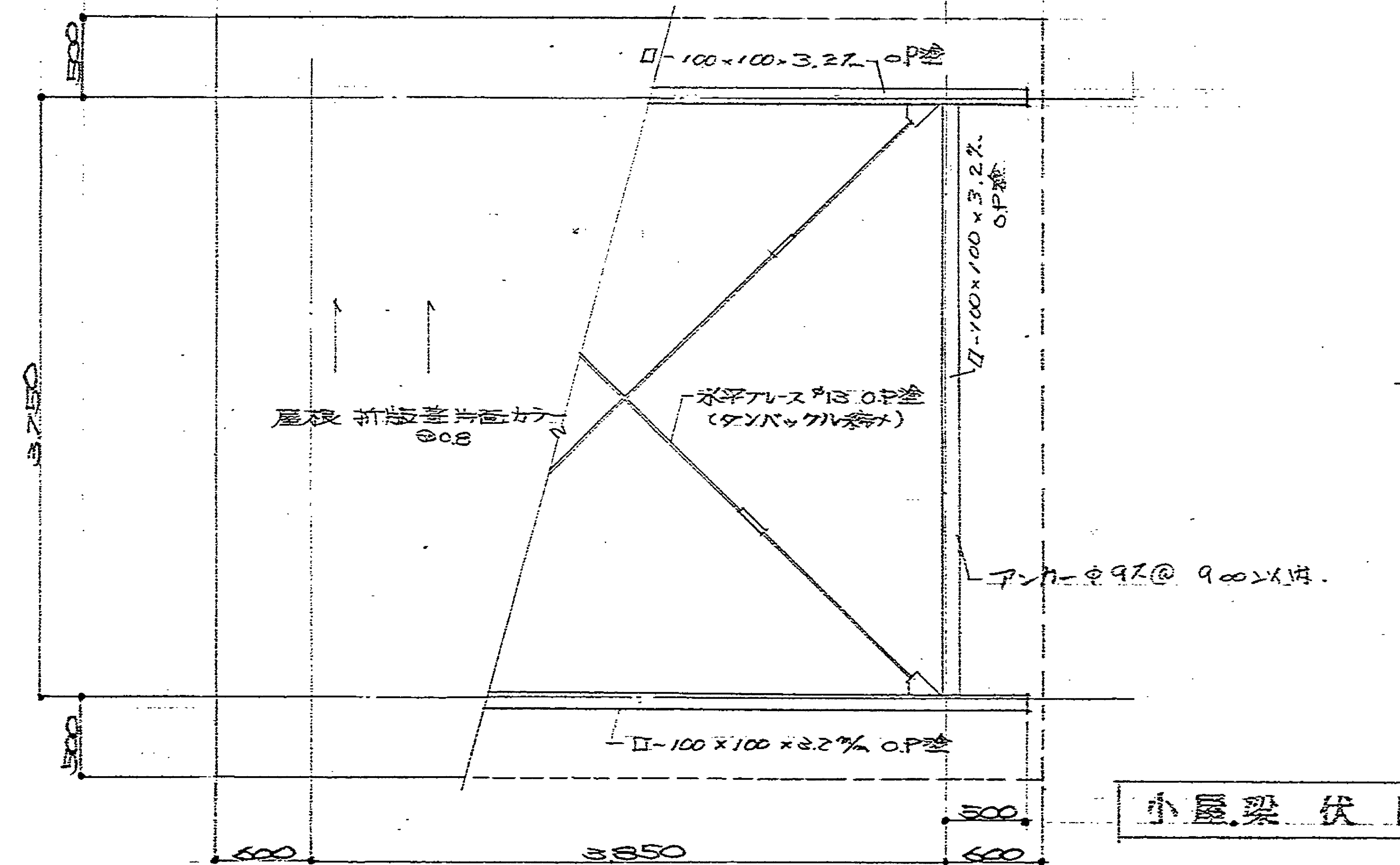
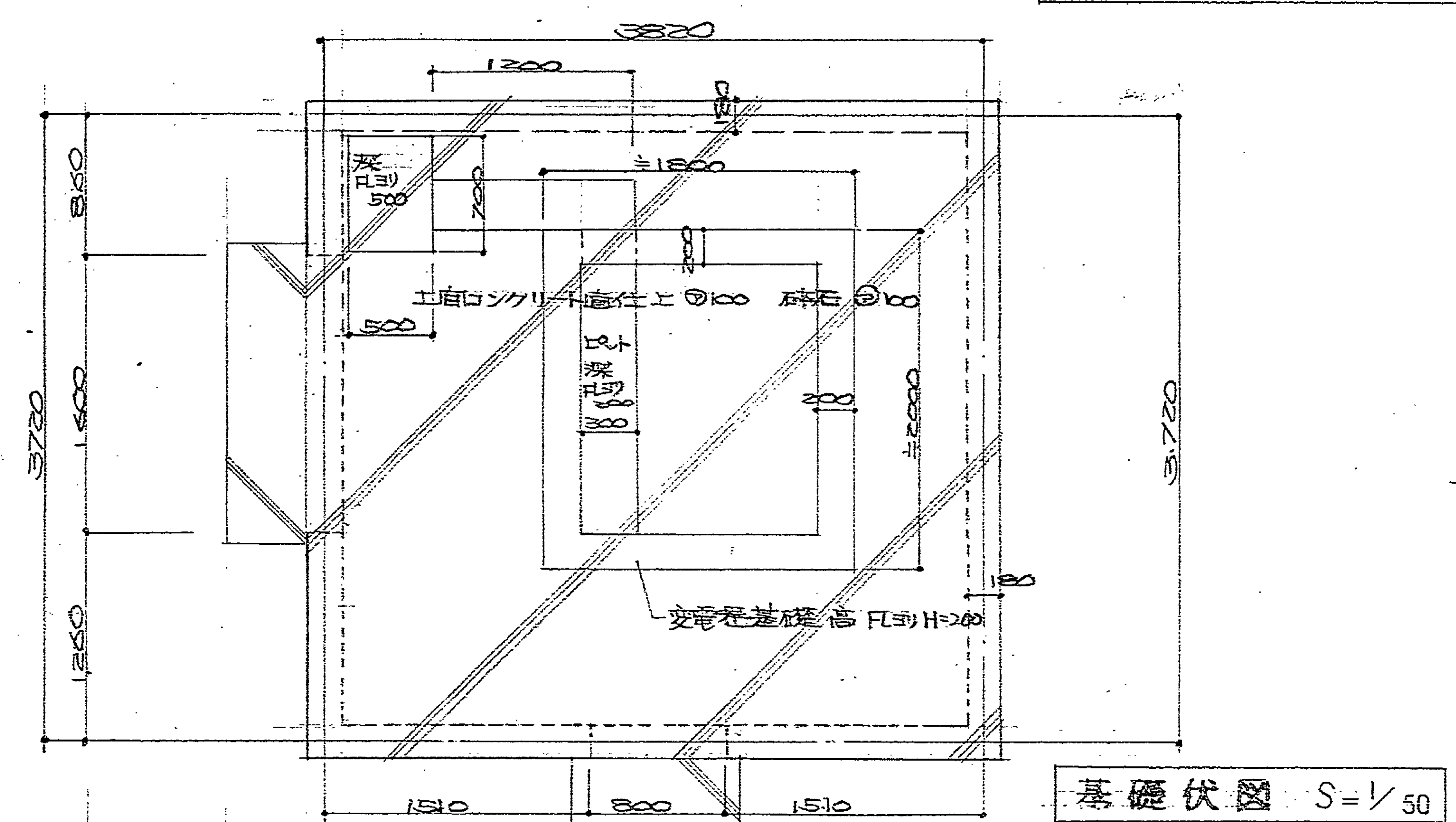
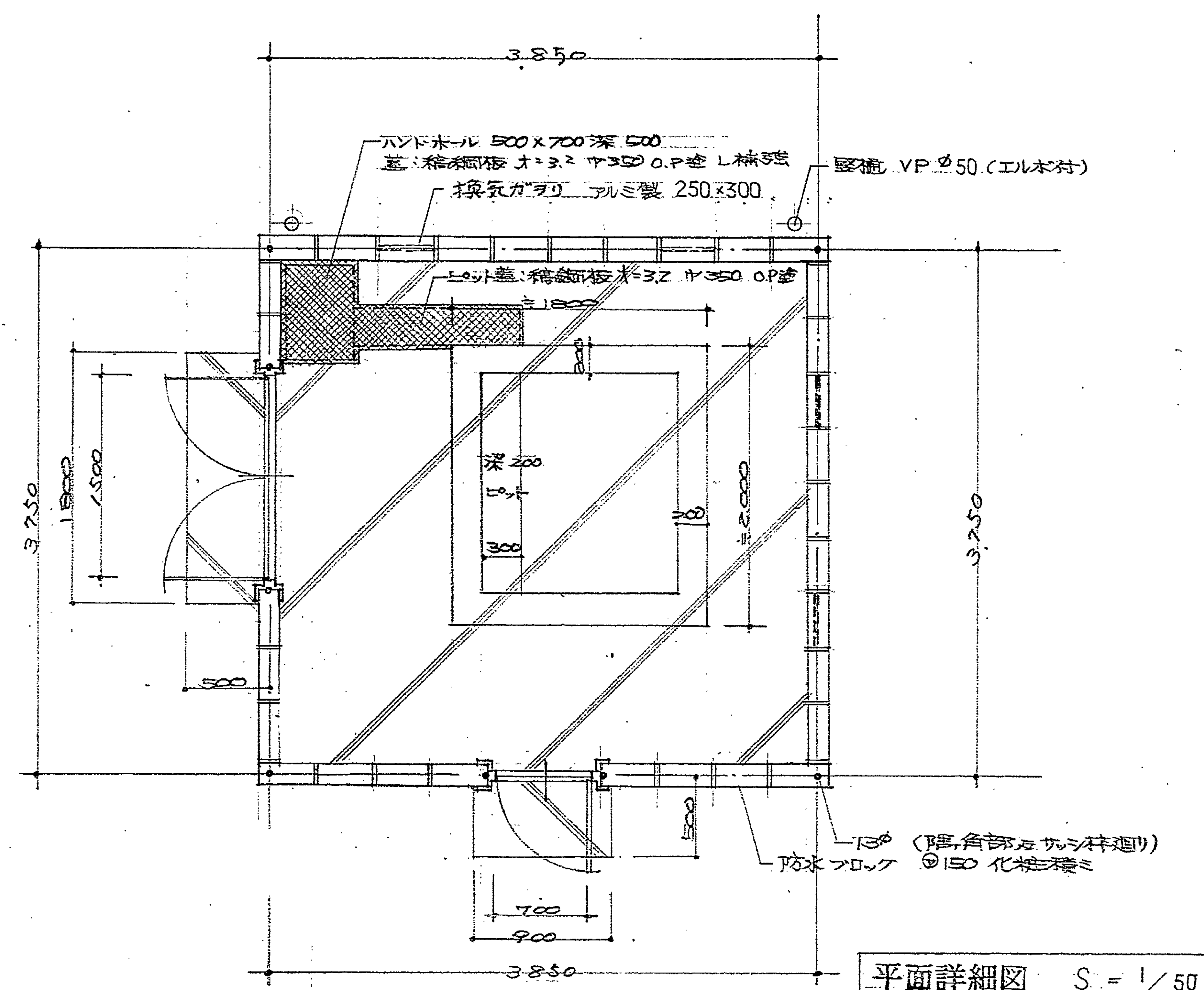
実験台詳細図 S=1/20

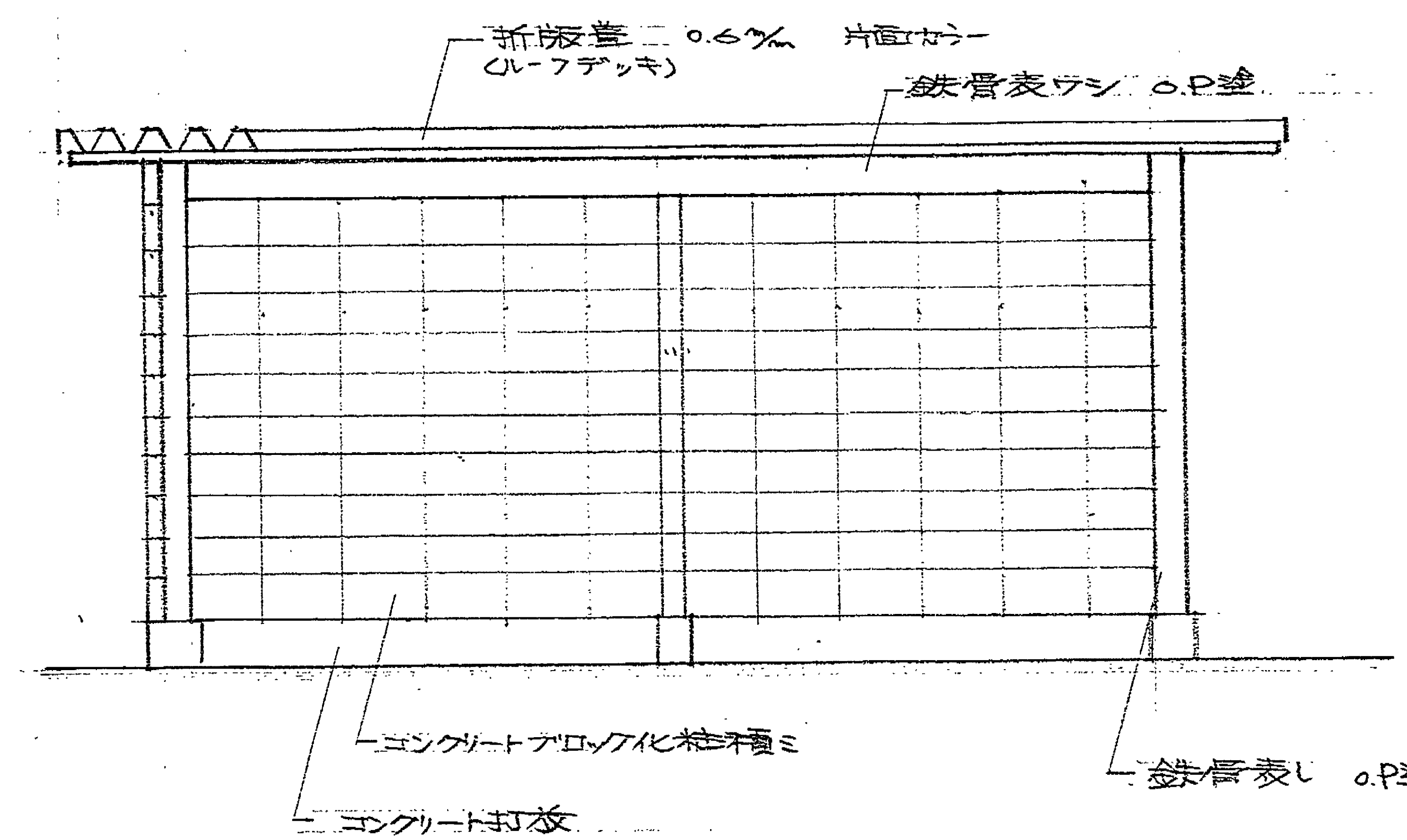
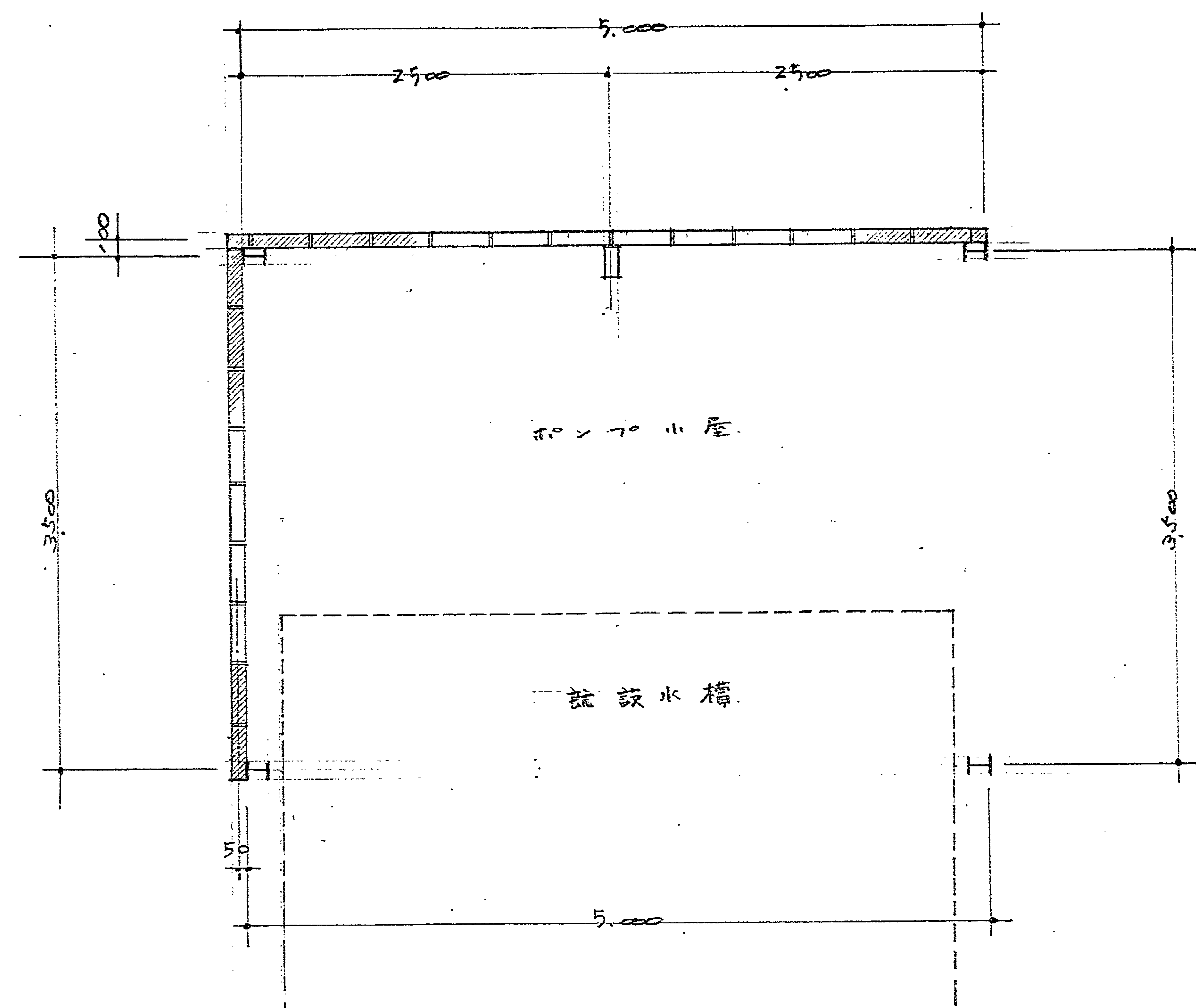


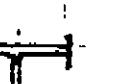
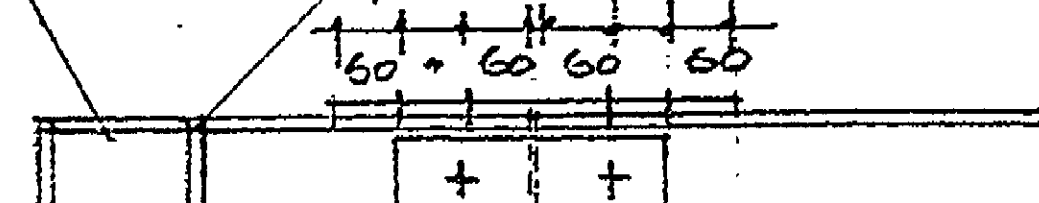
ステンレス流し台詳細図 S=1/20

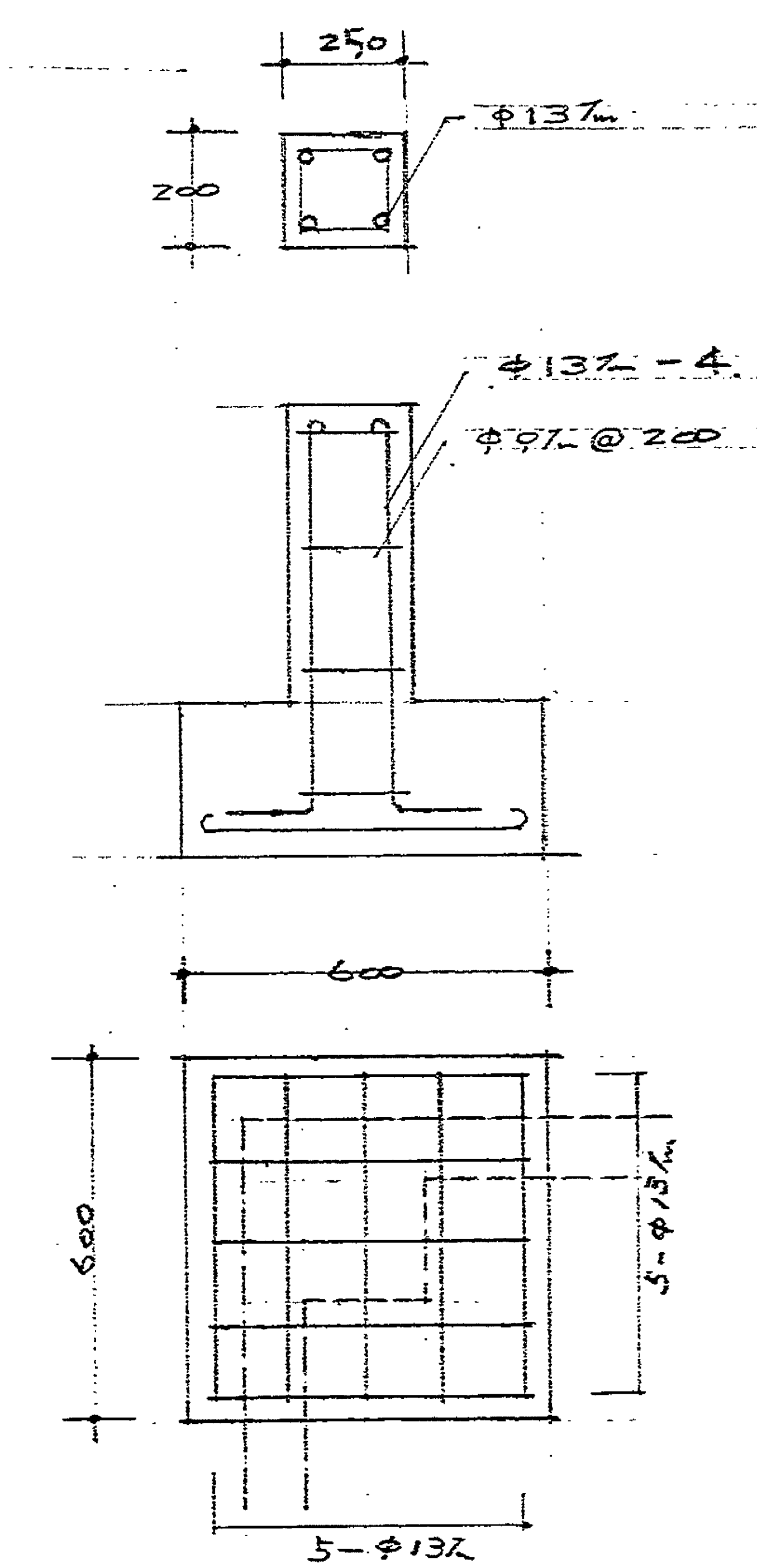
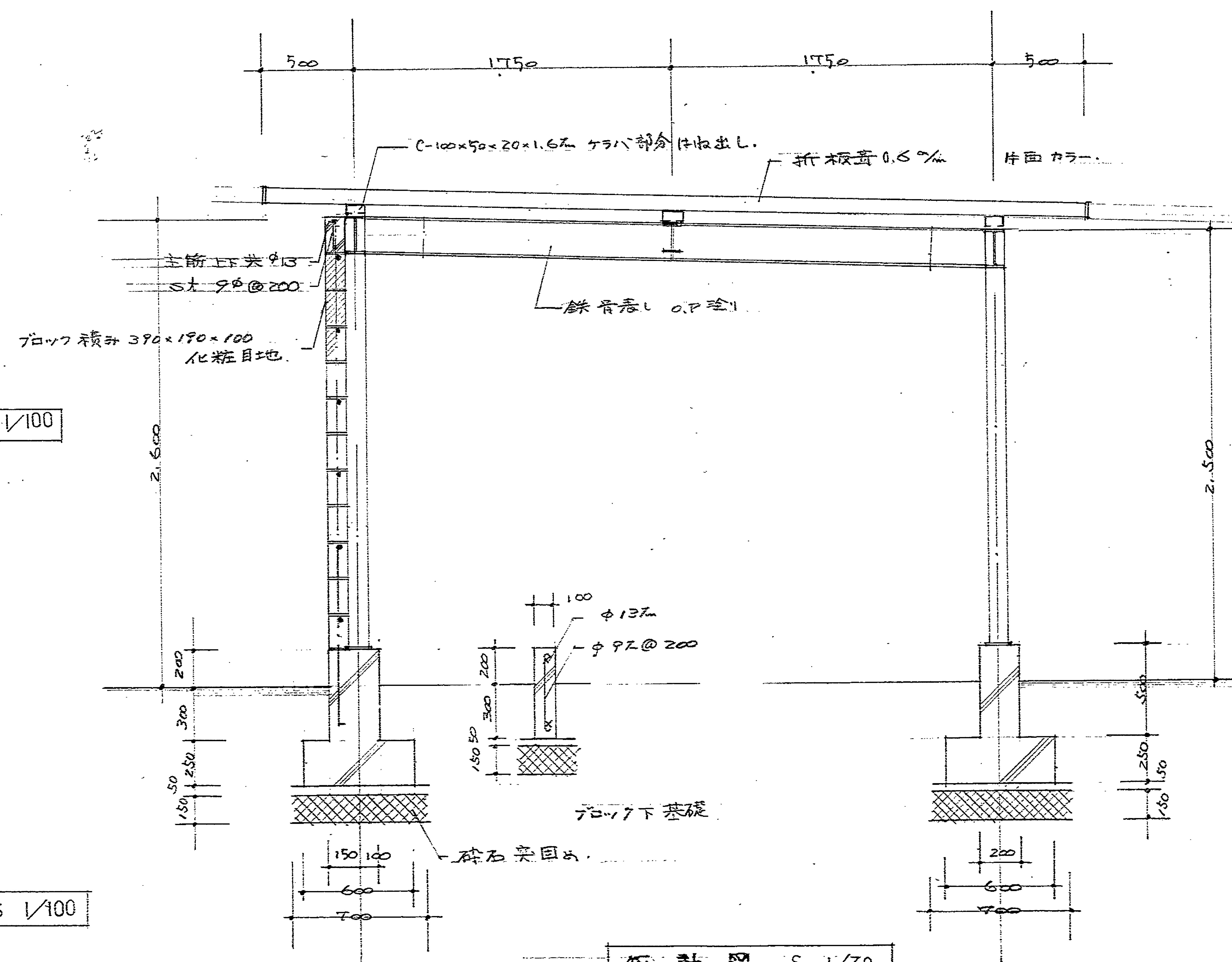
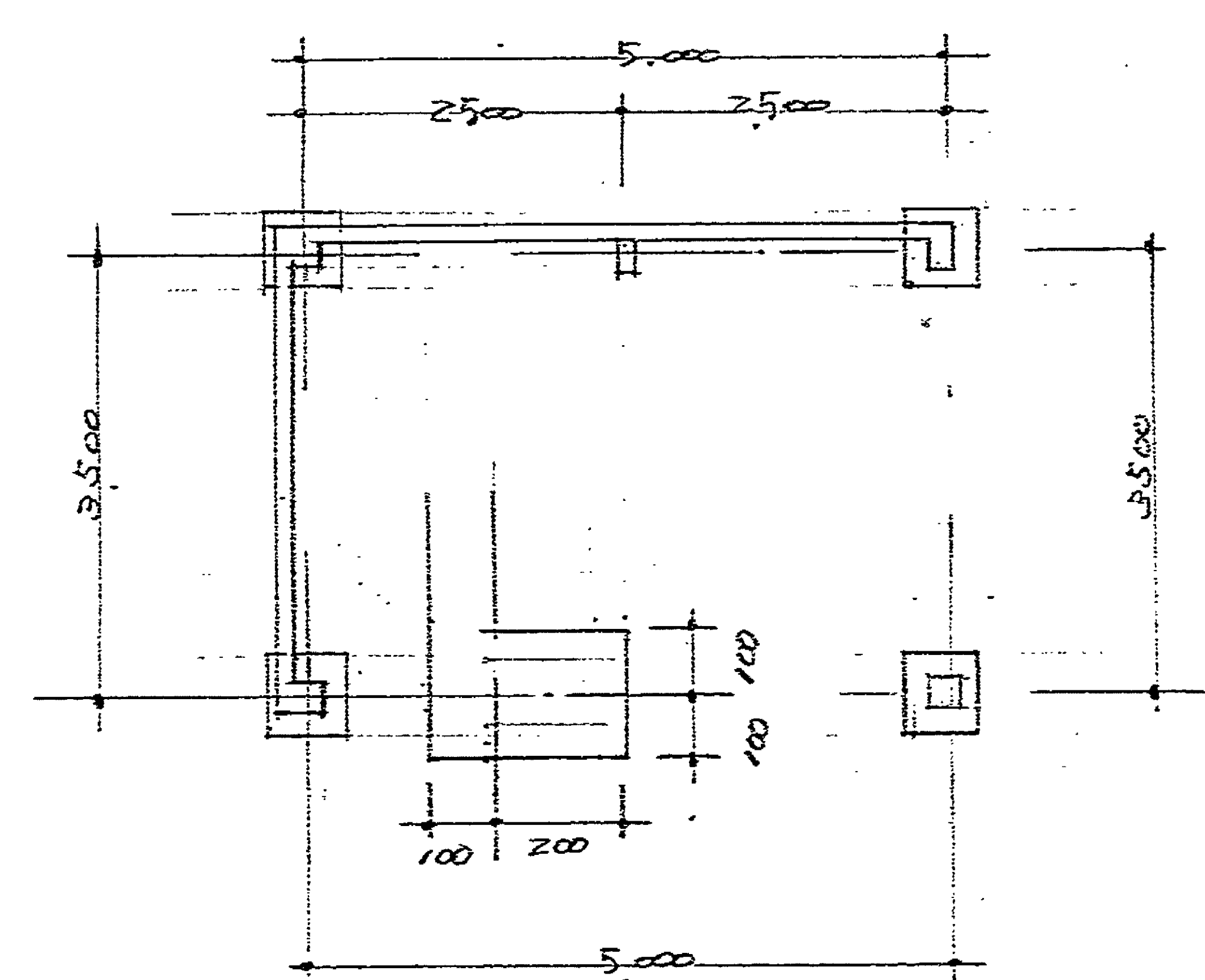
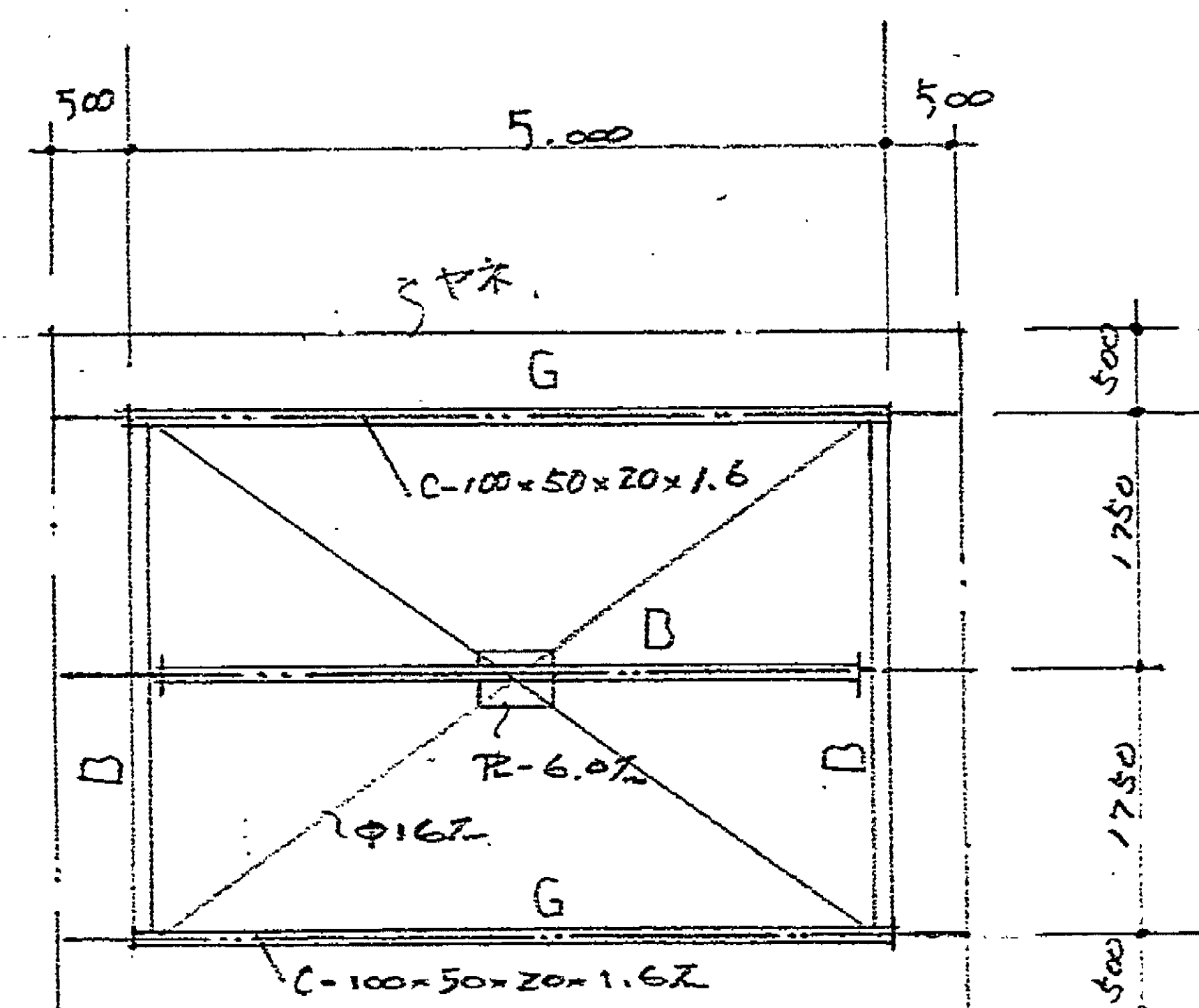
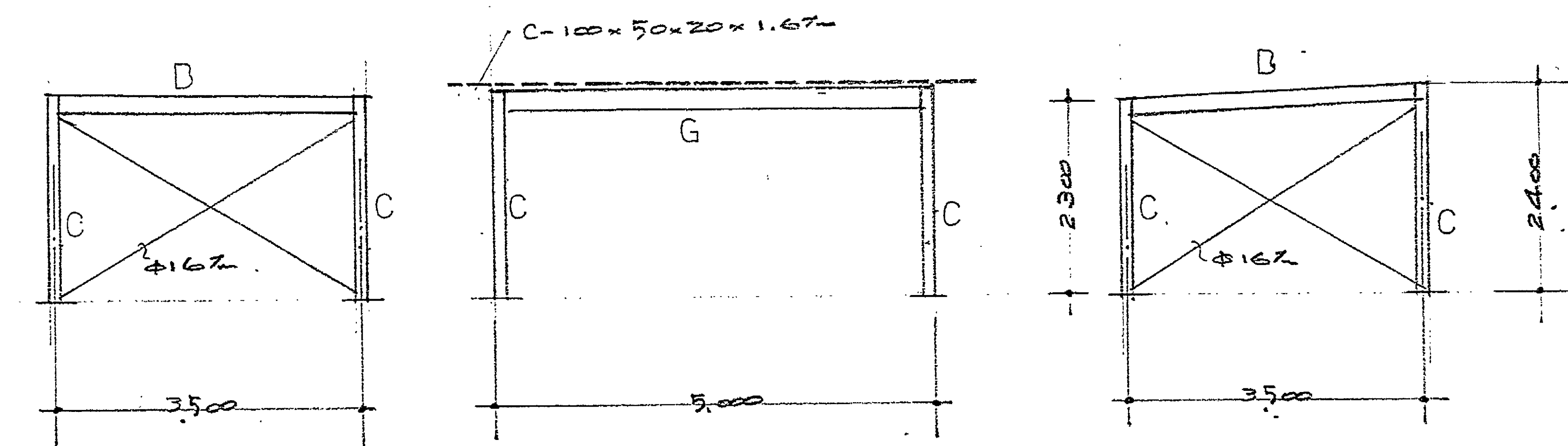








部 材 リ ス ト				
C	G	B		
				 $\phi 6.0\%$ $\phi 8.0\%$ $\phi 10.0\%$ $\phi 12.0\%$ $\phi 14.0\%$ $\phi 16.0\%$ $\phi 18.0\%$ $\phi 20.0\%$ $\phi 22.0\%$ $\phi 24.0\%$ $\phi 26.0\%$ $\phi 28.0\%$ $\phi 30.0\%$ $\phi 32.0\%$ $\phi 34.0\%$ $\phi 36.0\%$ $\phi 38.0\%$ $\phi 40.0\%$ $\phi 42.0\%$ $\phi 44.0\%$ $\phi 46.0\%$ $\phi 48.0\%$ $\phi 50.0\%$ $\phi 52.0\%$ $\phi 54.0\%$ $\phi 56.0\%$ $\phi 58.0\%$ $\phi 60.0\%$ $\phi 62.0\%$ $\phi 64.0\%$ $\phi 66.0\%$ $\phi 68.0\%$ $\phi 70.0\%$ $\phi 72.0\%$ $\phi 74.0\%$ $\phi 76.0\%$ $\phi 78.0\%$ $\phi 80.0\%$ $\phi 82.0\%$ $\phi 84.0\%$ $\phi 86.0\%$ $\phi 88.0\%$ $\phi 90.0\%$ $\phi 92.0\%$ $\phi 94.0\%$ $\phi 96.0\%$ $\phi 98.0\%$ $\phi 100.0\%$ $\phi 102.0\%$ $\phi 104.0\%$ $\phi 106.0\%$ $\phi 108.0\%$ $\phi 110.0\%$ $\phi 112.0\%$ $\phi 114.0\%$ $\phi 116.0\%$ $\phi 118.0\%$ $\phi 120.0\%$ $\phi 122.0\%$ $\phi 124.0\%$ $\phi 126.0\%$ $\phi 128.0\%$ $\phi 130.0\%$ $\phi 132.0\%$ $\phi 134.0\%$ $\phi 136.0\%$ $\phi 138.0\%$ $\phi 140.0\%$ $\phi 142.0\%$ $\phi 144.0\%$ $\phi 146.0\%$ $\phi 148.0\%$ $\phi 150.0\%$ $\phi 152.0\%$ $\phi 154.0\%$ $\phi 156.0\%$ $\phi 158.0\%$ $\phi 160.0\%$ $\phi 162.0\%$ $\phi 164.0\%$ $\phi 166.0\%$ $\phi 168.0\%$ $\phi 170.0\%$ $\phi 172.0\%$ $\phi 174.0\%$ $\phi 176.0\%$ $\phi 178.0\%$ $\phi 180.0\%$ $\phi 182.0\%$ $\phi 184.0\%$ $\phi 186.0\%$ $\phi 188.0\%$ $\phi 190.0\%$ $\phi 192.0\%$ $\phi 194.0\%$ $\phi 196.0\%$ $\phi 198.0\%$ $\phi 200.0\%$ $\phi 202.0\%$ $\phi 204.0\%$ $\phi 206.0\%$ $\phi 208.0\%$ $\phi 210.0\%$ $\phi 212.0\%$ $\phi 214.0\%$ $\phi 216.0\%$ $\phi 218.0\%$ $\phi 220.0\%$ $\phi 222.0\%$ $\phi 224.0\%$ $\phi 226.0\%$ $\phi 228.0\%$ $\phi 230.0\%$ $\phi 232.0\%$ $\phi 234.0\%$ $\phi 236.0\%$ $\phi 238.0\%$ $\phi 240.0\%$ $\phi 242.0\%$ $\phi 244.0\%$ $\phi 246.0\%$ $\phi 248.0\%$ $\phi 250.0\%$ $\phi 252.0\%$ $\phi 254.0\%$ $\phi 256.0\%$ $\phi 258.0\%$ $\phi 260.0\%$ $\phi 262.0\%$ $\phi 264.0\%$ $\phi 266.0\%$ $\phi 268.0\%$ $\phi 270.0\%$ $\phi 272.0\%$ $\phi 274.0\%$ $\phi 276.0\%$ $\phi 278.0\%$ $\phi 280.0\%$ $\phi 282.0\%$ $\phi 284.0\%$ $\phi 286.0\%$ $\phi 288.0\%$ $\phi 290.0\%$ $\phi 292.0\%$ $\phi 294.0\%$ $\phi 296.0\%$ $\phi 298.0\%$ $\phi 300.0\%$ $\phi 302.0\%$ $\phi 304.0\%$ $\phi 306.0\%$ $\phi 308.0\%$ $\phi 310.0\%$ $\phi 312.0\%$ $\phi 314.0\%$ $\phi 316.0\%$ $\phi 318.0\%$ $\phi 320.0\%$ $\phi 322.0\%$ $\phi 324.0\%$ $\phi 326.0\%$ $\phi 328.0\%$ $\phi 330.0\%$ $\phi 332.0\%$ $\phi 334.0\%$ $\phi 336.0\%$ $\phi 338.0\%$ $\phi 340.0\%$ $\phi 342.0\%$ $\phi 344.0\%$ $\phi 346.0\%$ $\phi 348.0\%$ $\phi 350.0\%$ $\phi 352.0\%$ $\phi 354.0\%$ $\phi 356.0\%$ $\phi 358.0\%$ $\phi 360.0\%$ $\phi 362.0\%$ $\phi 364.0\%$ $\phi 366.0\%$ $\phi 368.0\%$ $\phi 370.0\%$ $\phi 372.0\%$ $\phi 374.0\%$ $\phi 376.0\%$ $\phi 378.0\%$ $\phi 380.0\%$ $\phi 382.0\%$ $\phi 384.0\%$ $\phi 386.0\%$ $\phi 388.0\%$ $\phi 390.0\%$ $\phi 392.0\%$ $\phi 394.0\%$ $\phi 396.0\%$ $\phi 398.0\%$ $\phi 400.0\%$ $\phi 402.0\%$ $\phi 404.0\%$ $\phi 406.0\%$ $\phi 408.0\%$ $\phi 410.0\%$ $\phi 412.0\%$ $\phi 414.0\%$ $\phi 416.0\%$ $\phi 418.0\%$ $\phi 420.0\%$ $\phi 422.0\%$ $\phi 424.0\%$ $\phi 426.0\%$ $\phi 428.0\%$ $\phi 430.0\%$ $\phi 432.0\%$ $\phi 434.0\%$ $\phi 436.0\%$ $\phi 438.0\%$ $\phi 440.0\%$ $\phi 442.0\%$ $\phi 444.0\%$ $\phi 446.0\%$ $\phi 448.0\%$ $\phi 450.0\%$ $\phi 452.0\%$ $\phi 454.0\%$ $\phi 456.0\%$ $\phi 458.0\%$ $\phi 460.0\%$ $\phi 462.0\%$ $\phi 464.0\%$ ϕ

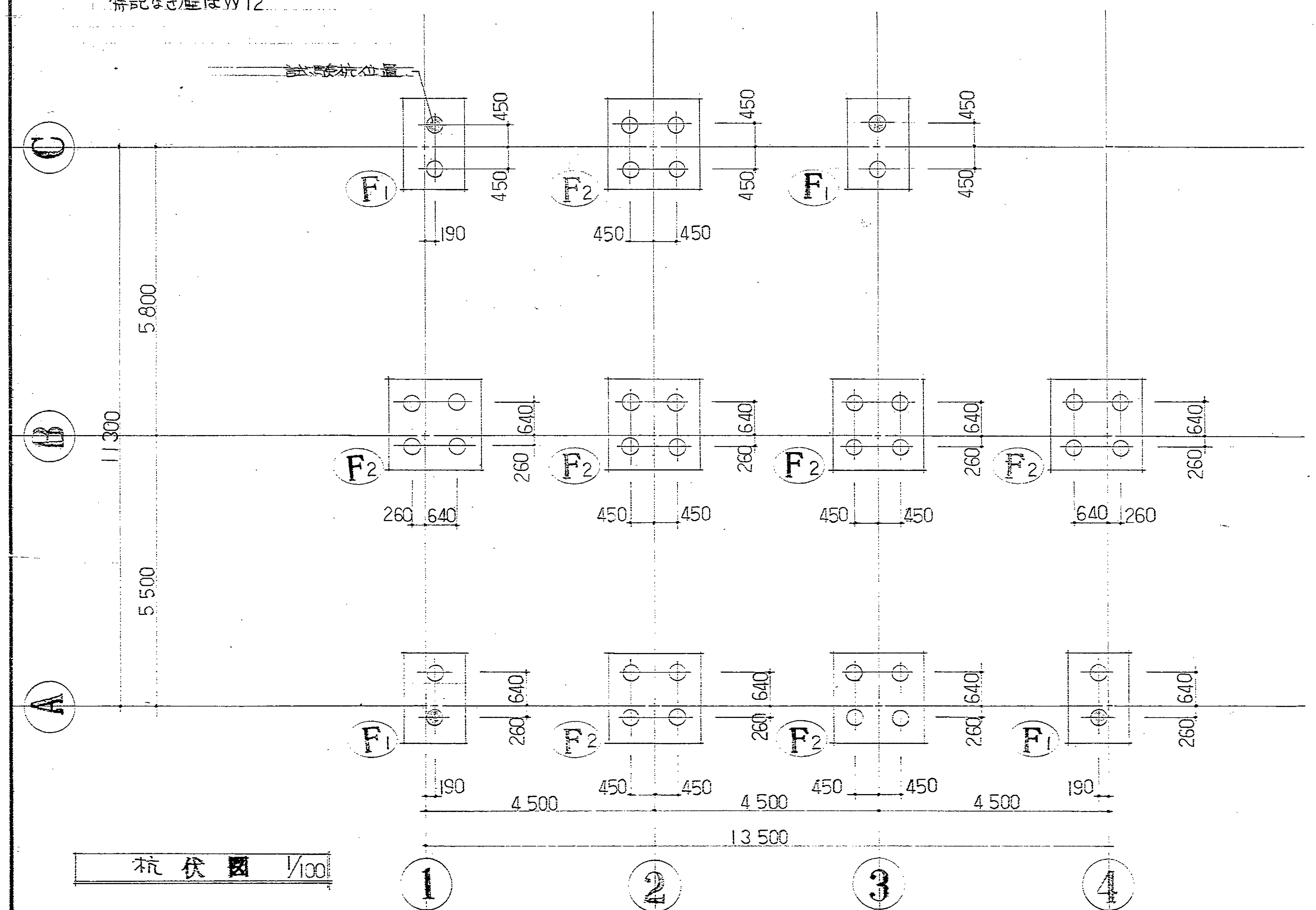
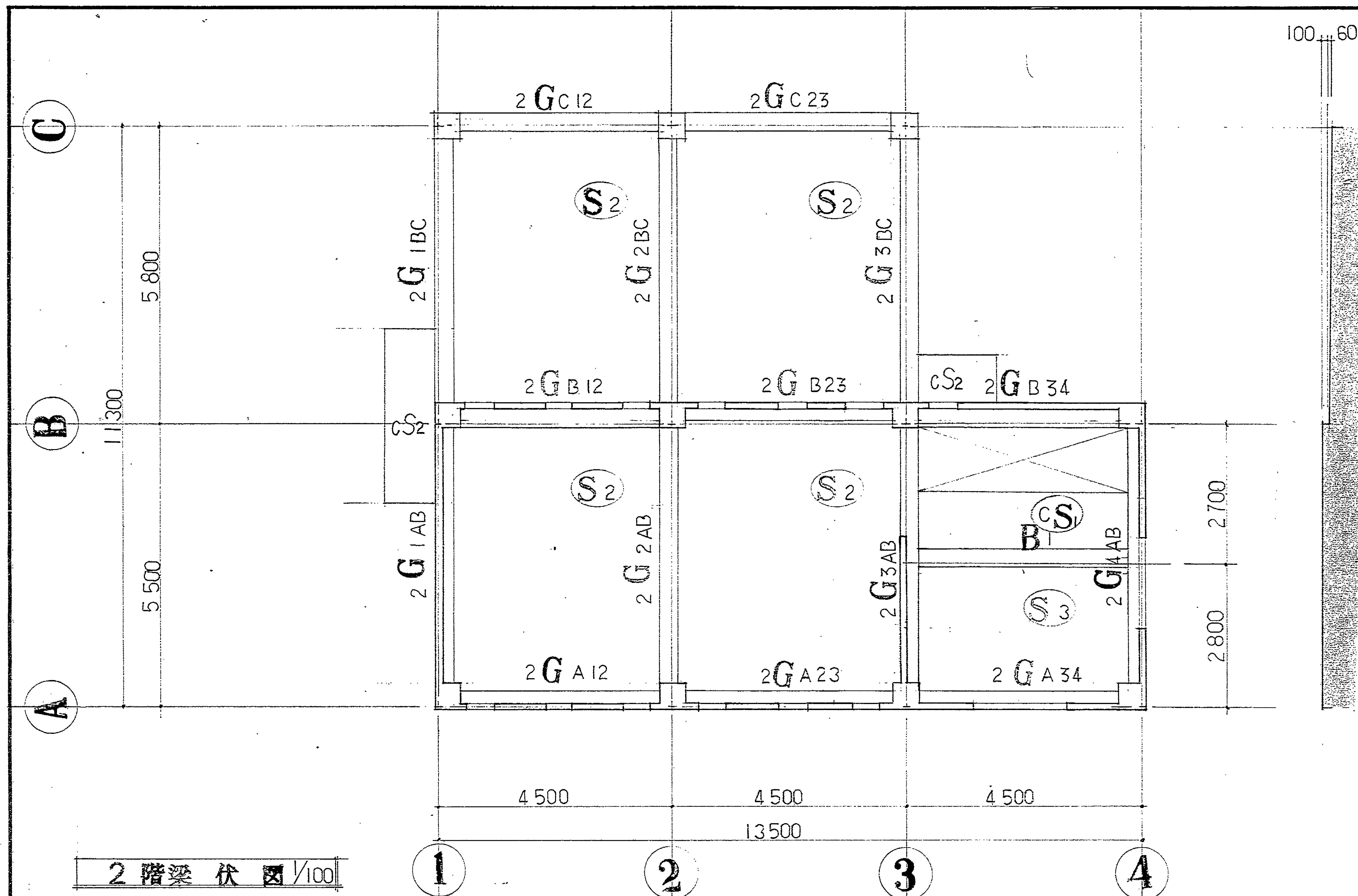


柱脚
B 12-150x200x9.0mm
アンカーボルト $\phi 13$ $l=400$

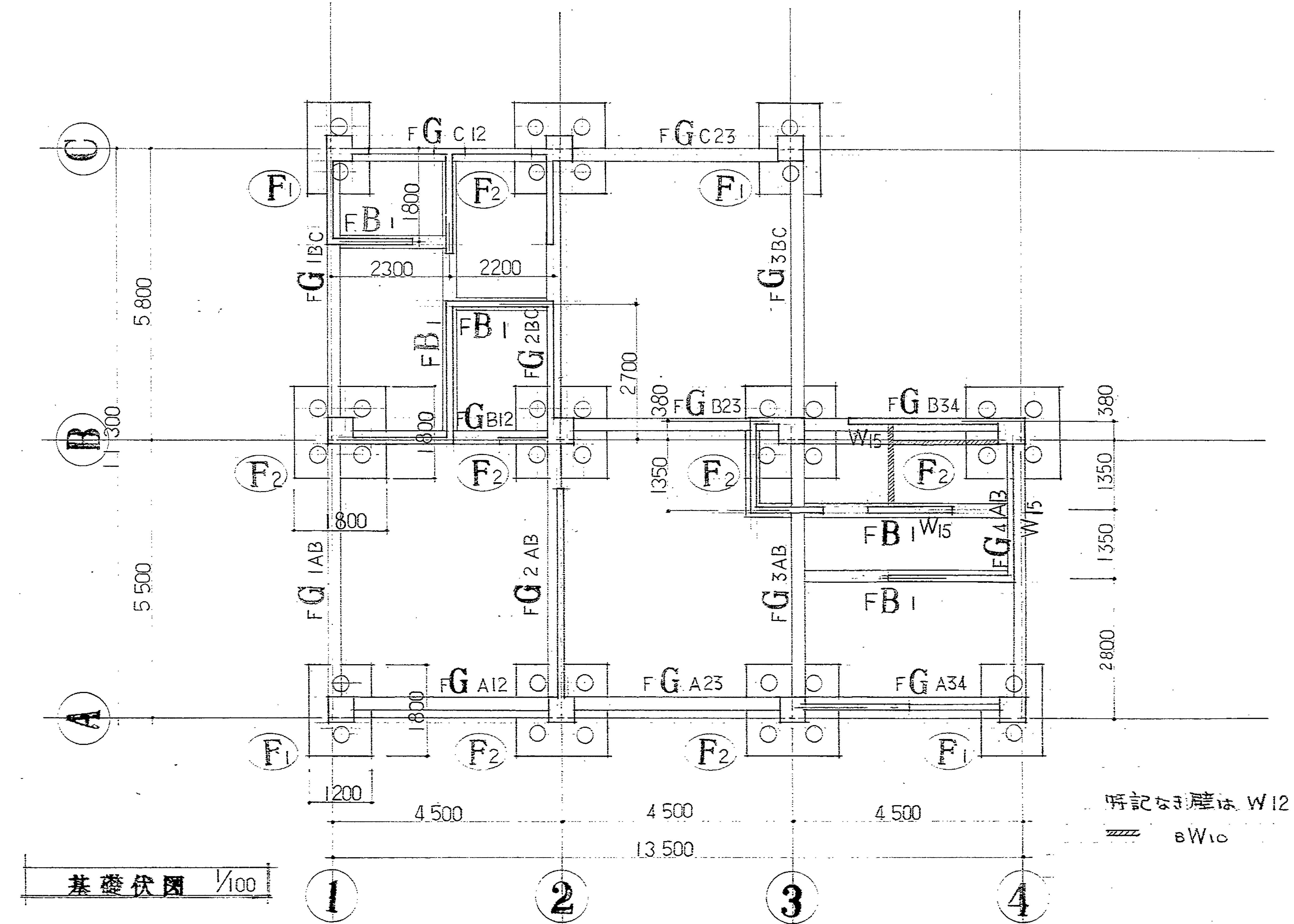
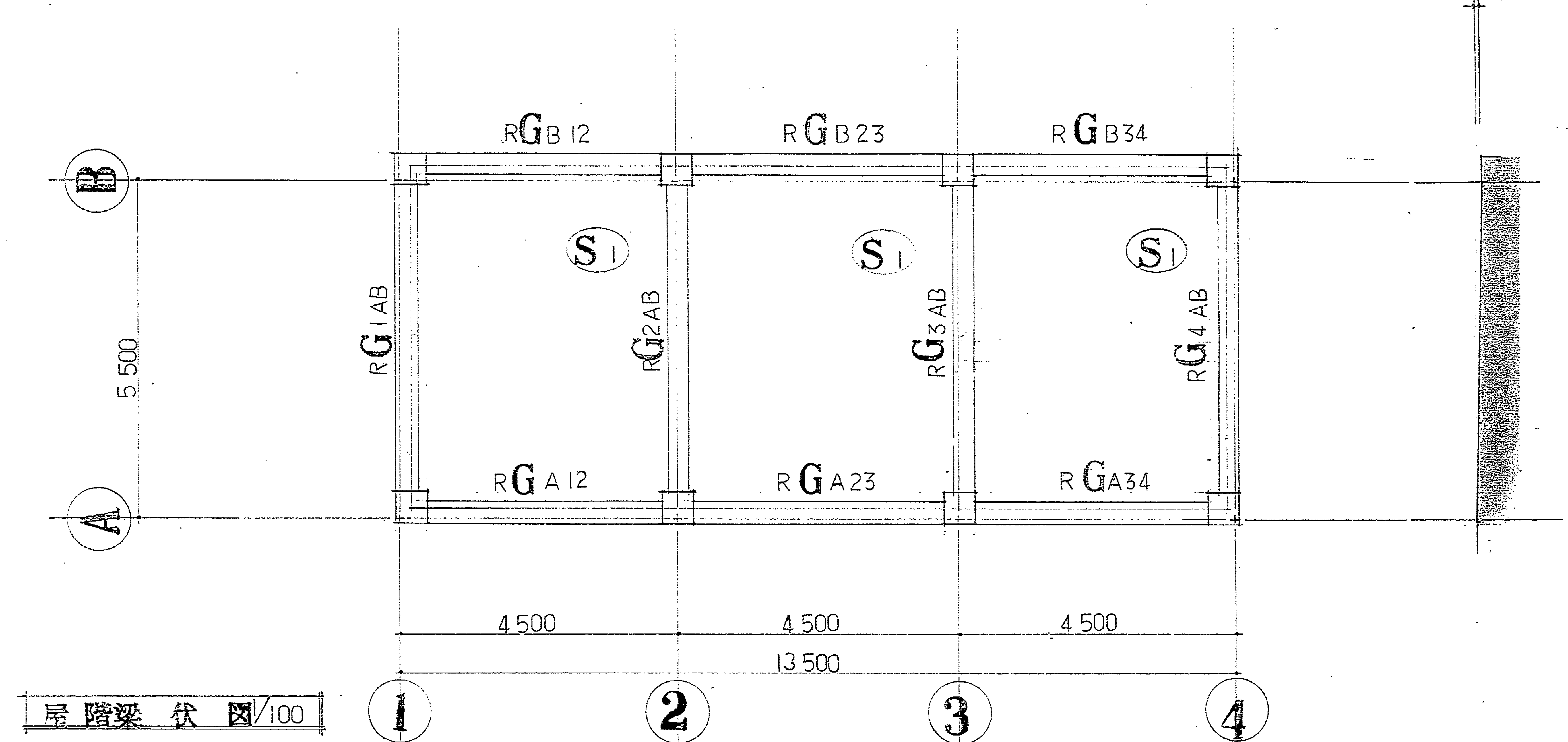
就設水槽と接する基礎にハースをずらして施工す。

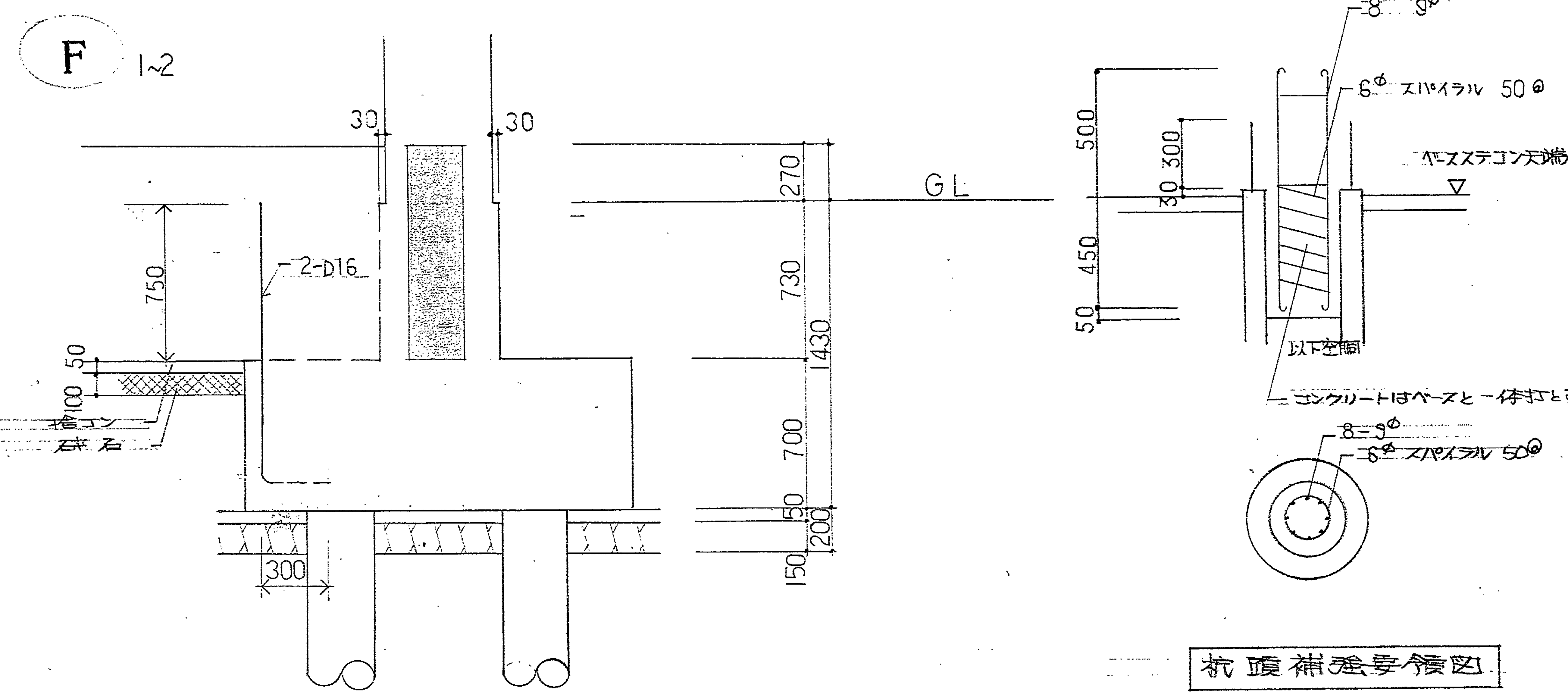
— 10 — 7 積 配筋

(2 次筋 中 9 本 @ 400
3 次筋 中 9 本 @ 400.

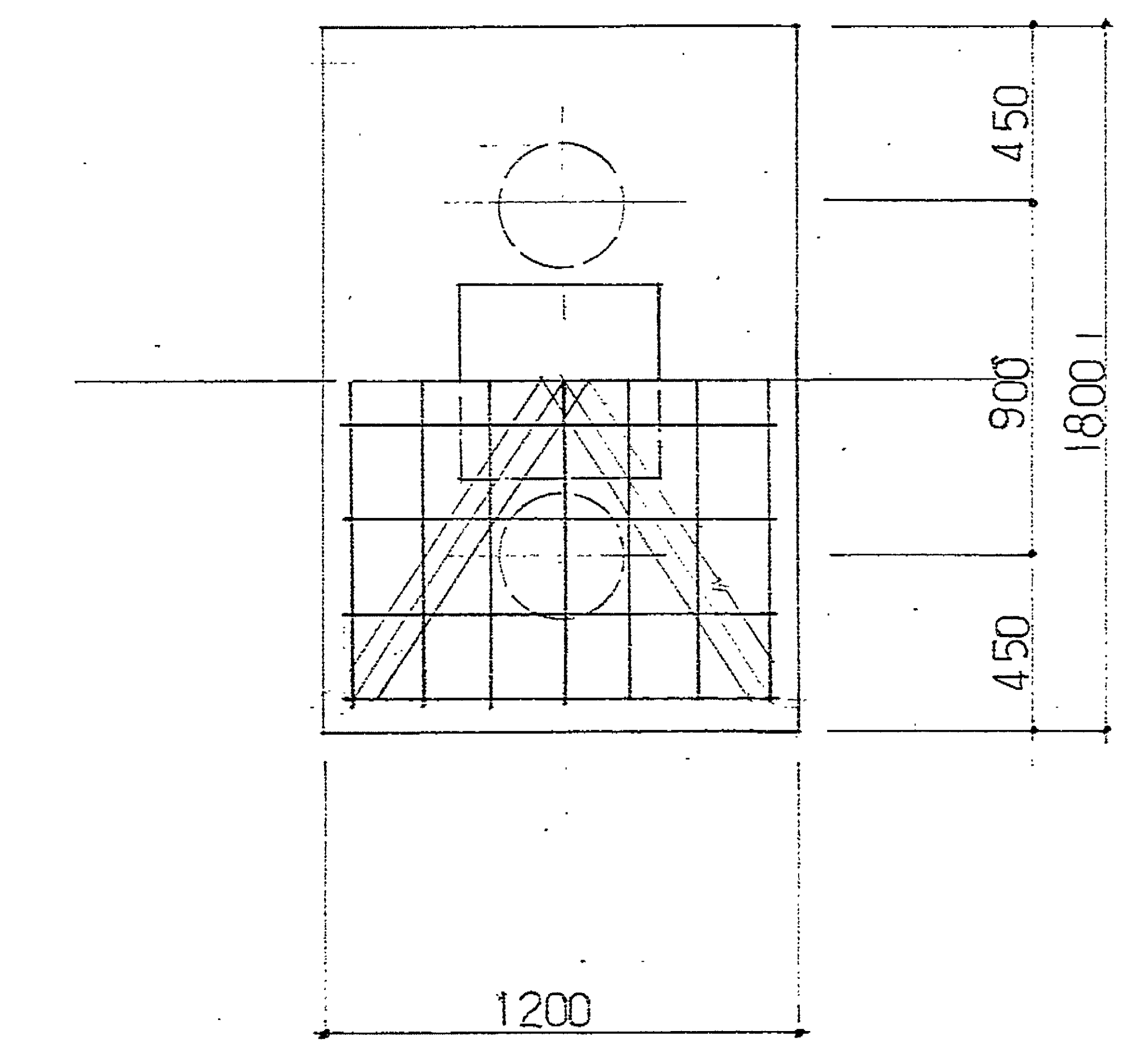


- 1 杭 R.C 100φ 3000 L=5.000
試験杭 300φ L=6.000 4ヶ所
- 2 コンクリート 28F_c = 21.0 kg/cm²
- 3 土間コン. 28F_c = 13.5 kg/cm²
- 4 丸鋼 SD-30
SR-24





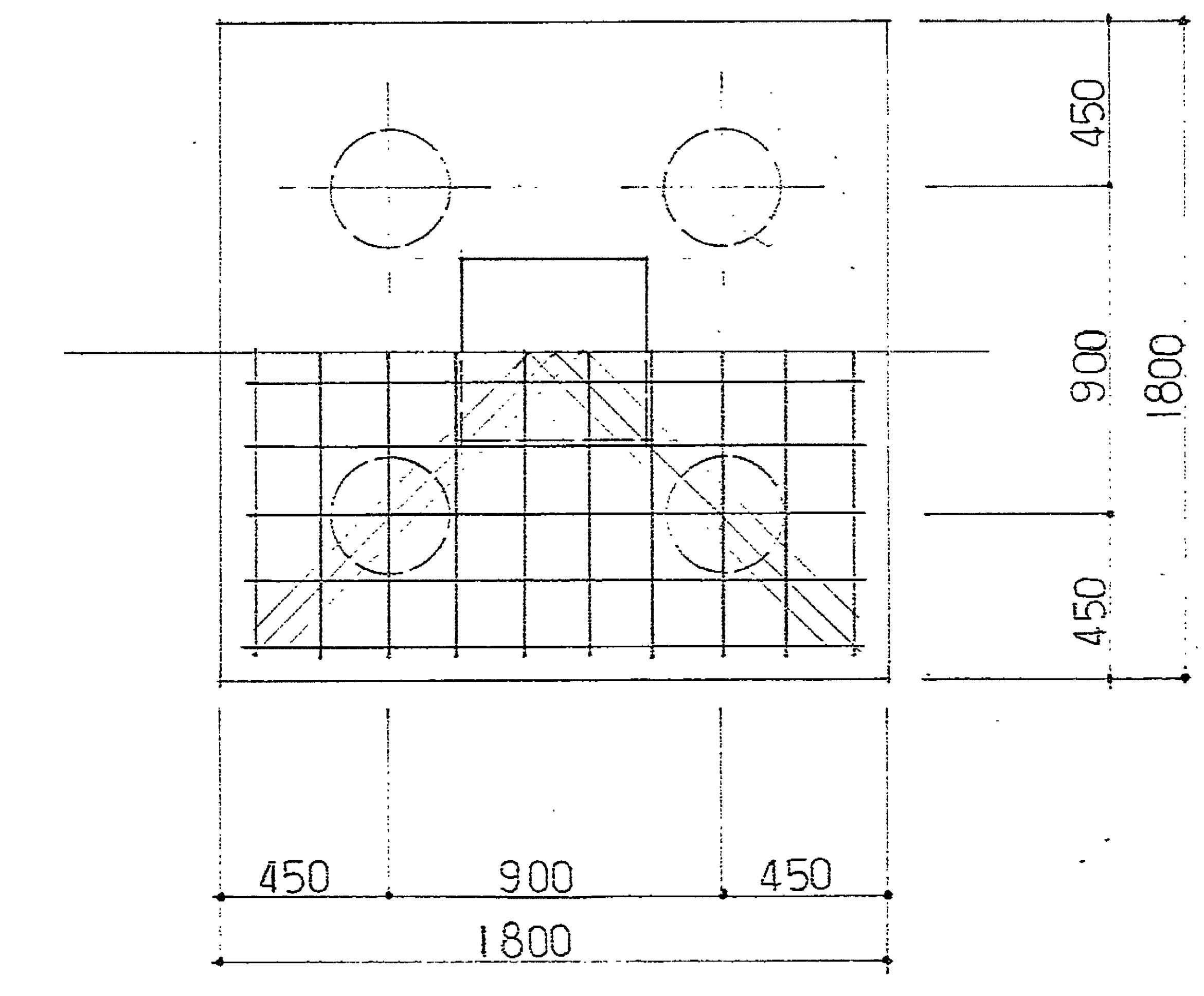
F₁ 4ヶ所



- 8-D19
- | 7-D19
- × 各3-13φ

基礎リスト 1/30

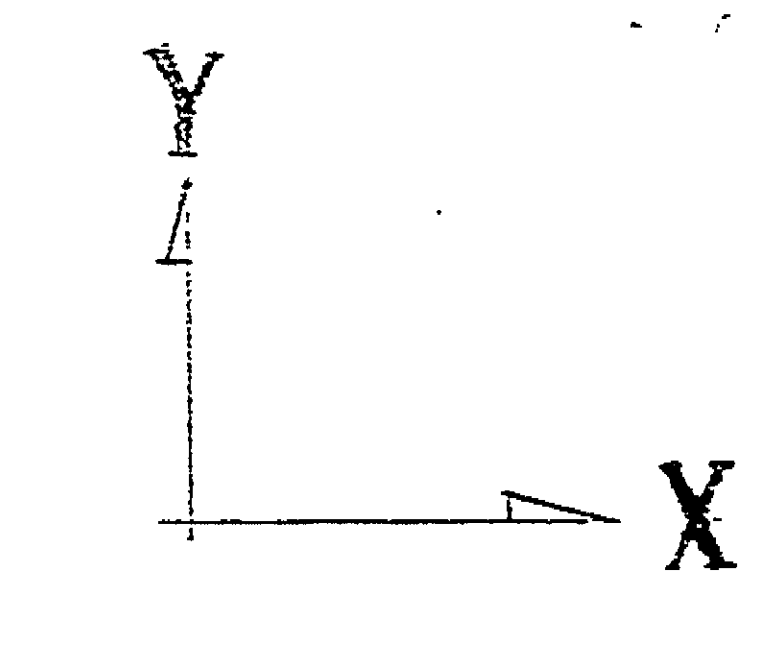
F₂ 7ヶ所



- 10-D19
- | 10-D19
- × 各3-13φ

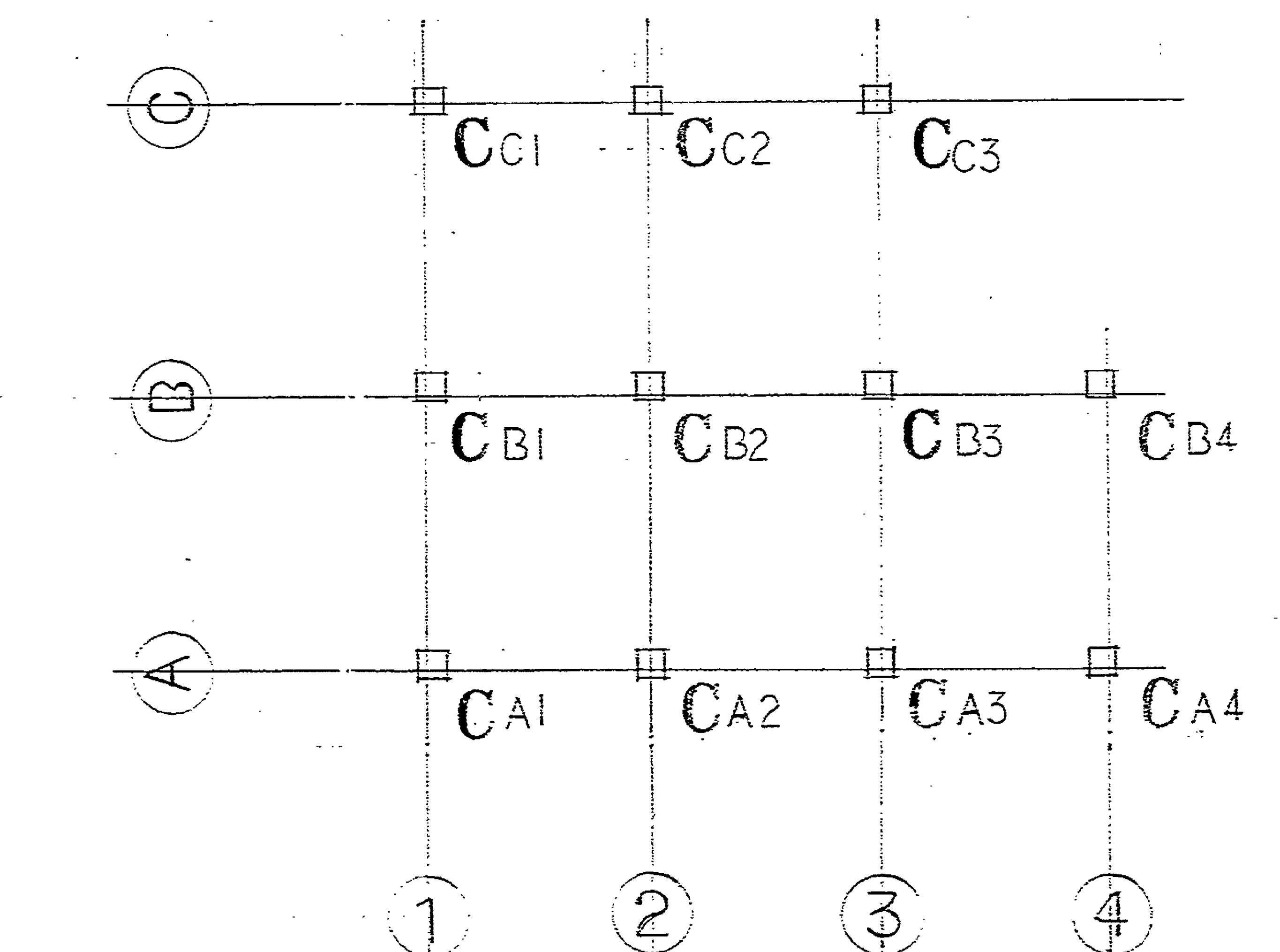
柱リスト

	C _{A1}	C _{A2}	C _{A3}	C _{A4}	C _{B1}	C _{B2}
2C						
B×D	500×500	500×500	500×500	500×500	500×500	500×500
主筋	6-D22	8-D22	8-D22	6-D22	6-D22	8-D22
Hoop						
1C						
B×D	500×500	500×500	500×500	500×500	500×500	500×500
主筋	12-D22	14-D22	14-D22	14-D22	16-D22	16-D22
Hoop						
	C _{B3}	C _{B4}	C _{C1}	C _{C2}	C _{C3}	
2C						
B×D	500×500	500×500				
主筋	8-D22	6-D22				
Hoop						
1C						
B×D	500×500	500×500	500×500	500×500	500×500	
主筋	14-D22	12-D22	16-D22	16-D22	16-D22	
Hoop						

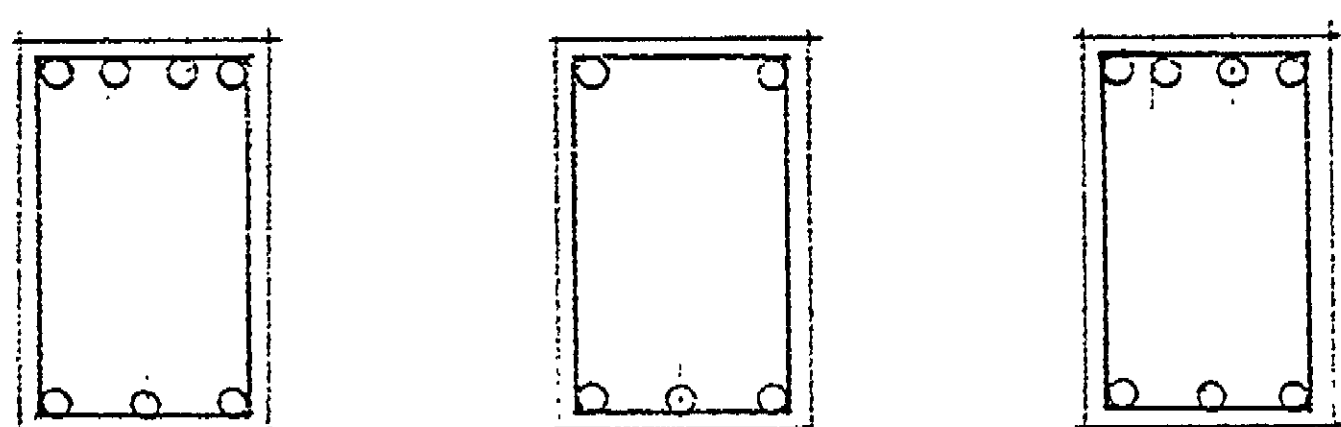
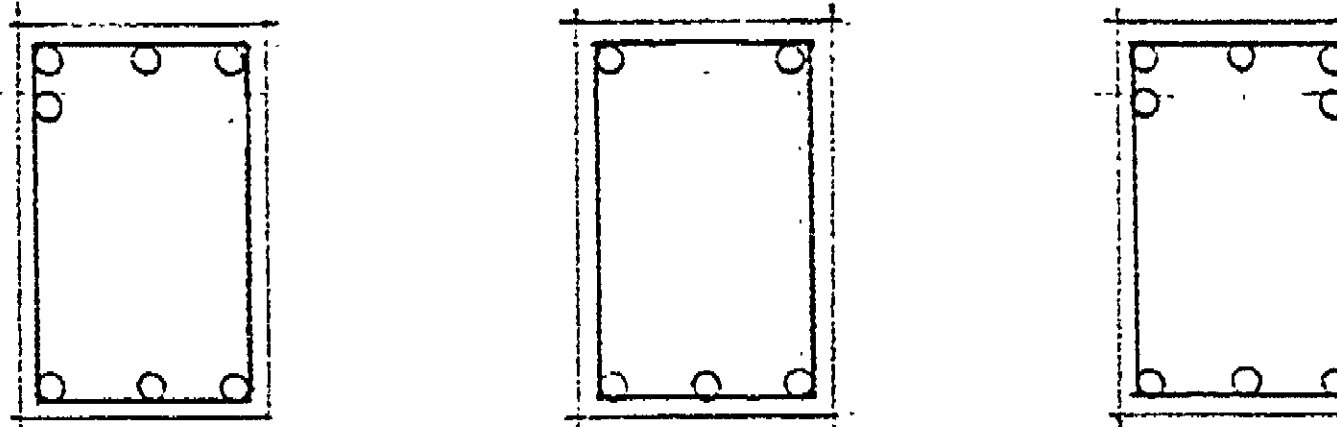
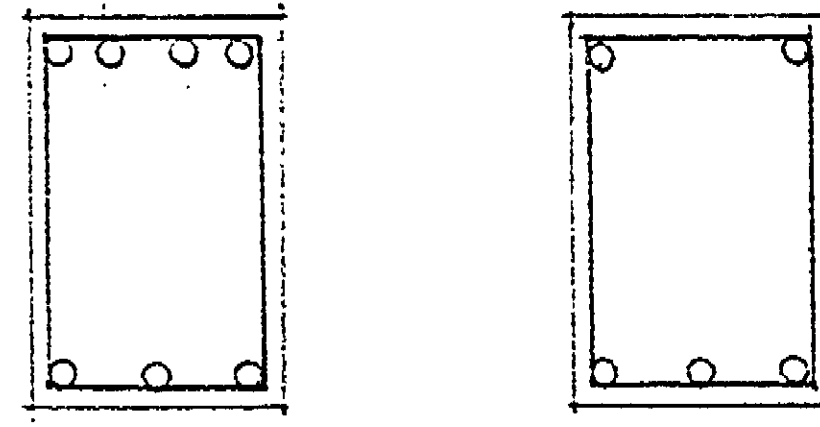
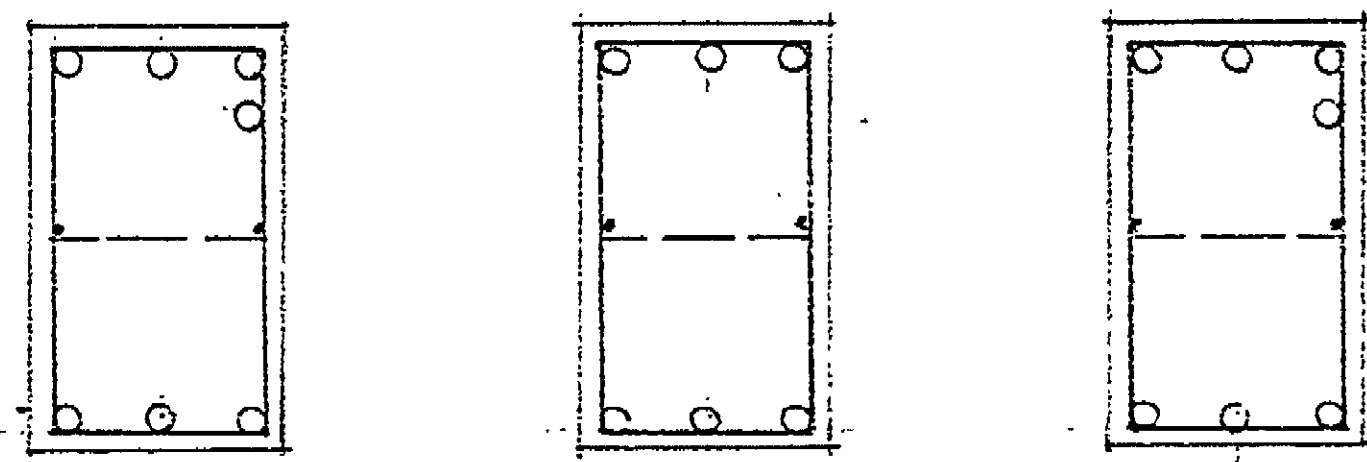
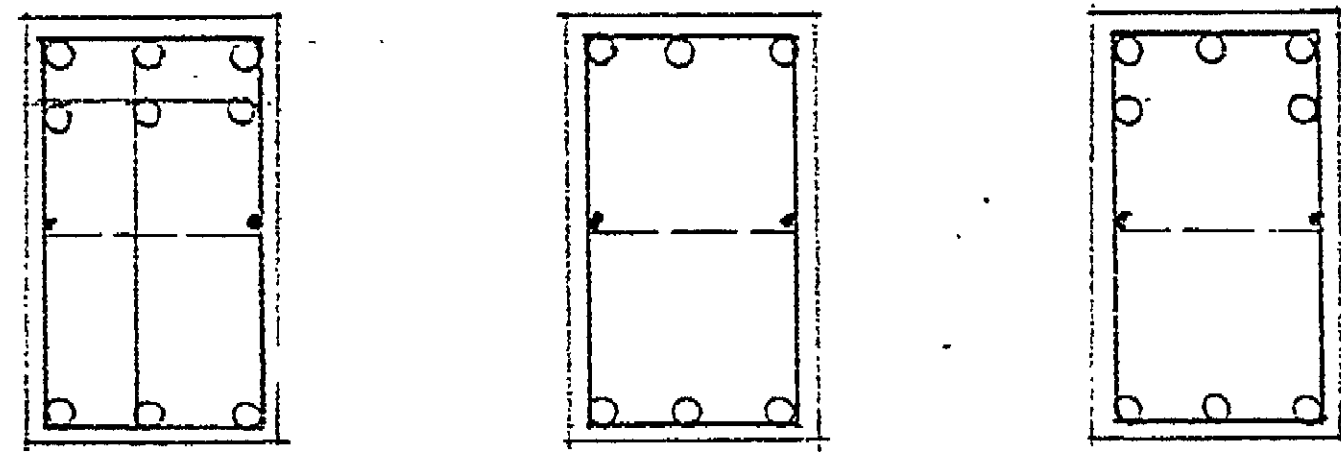
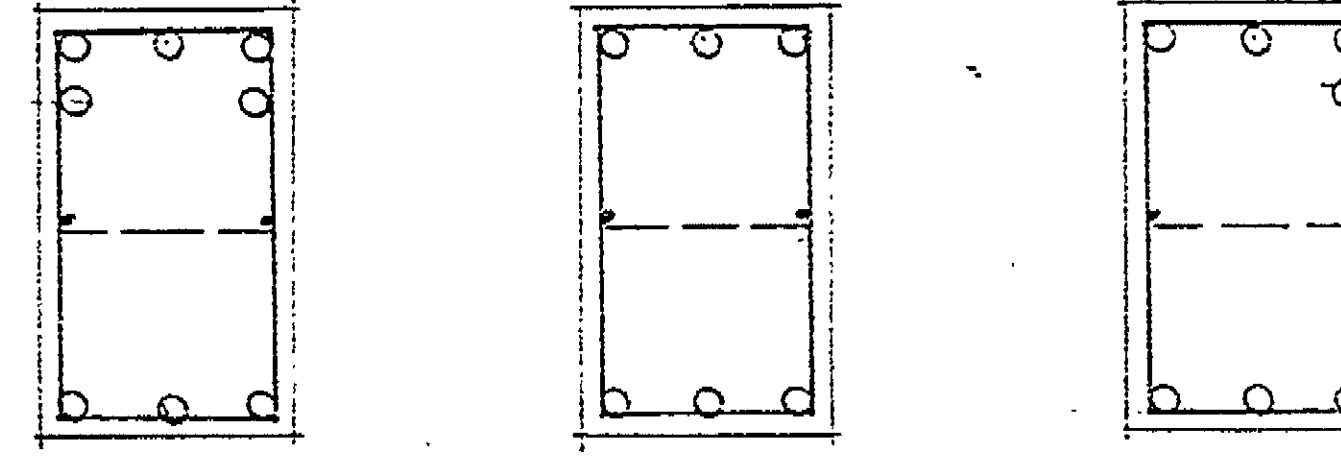
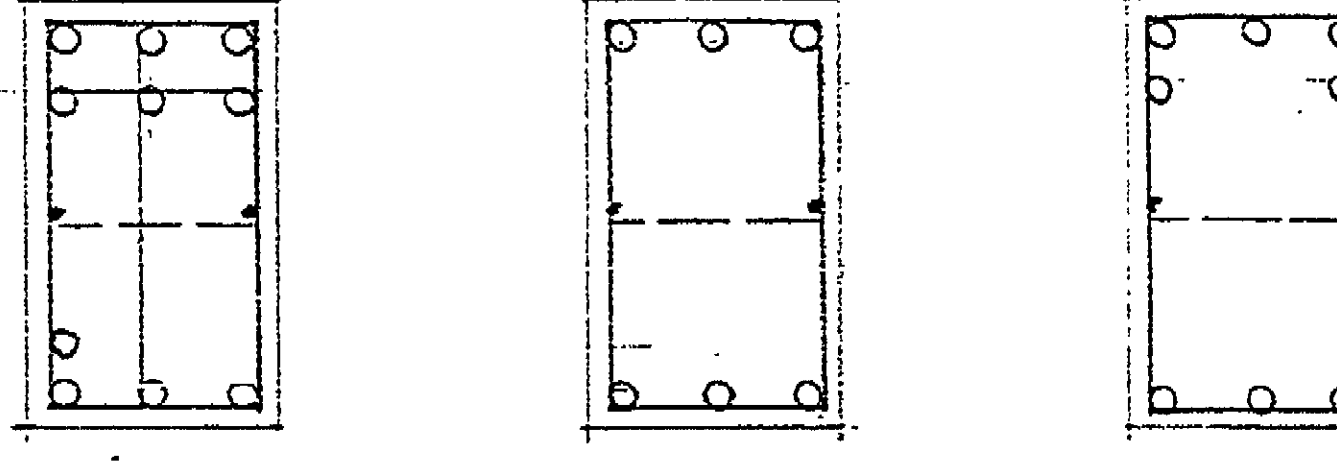
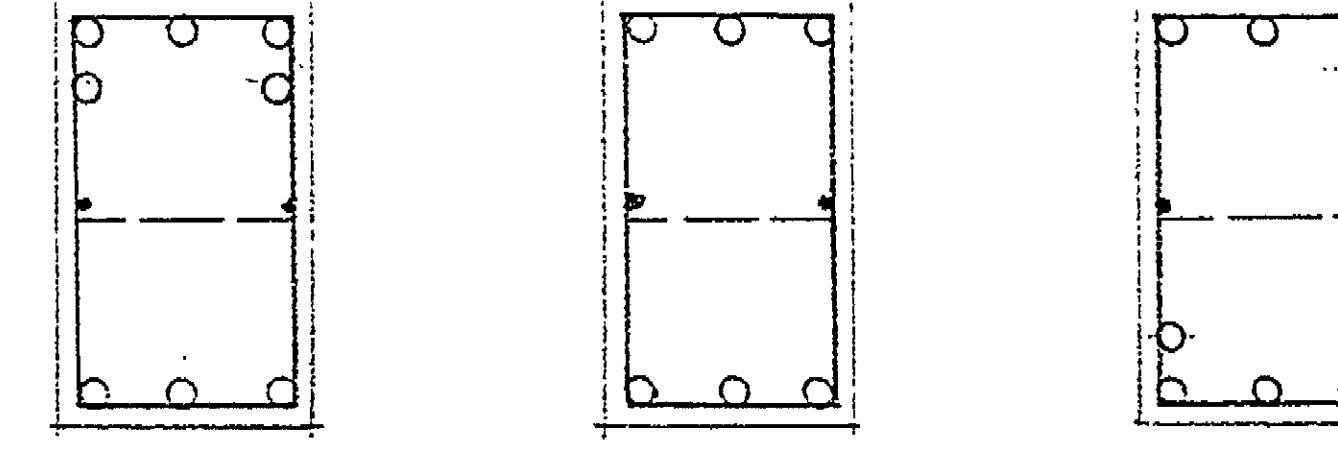
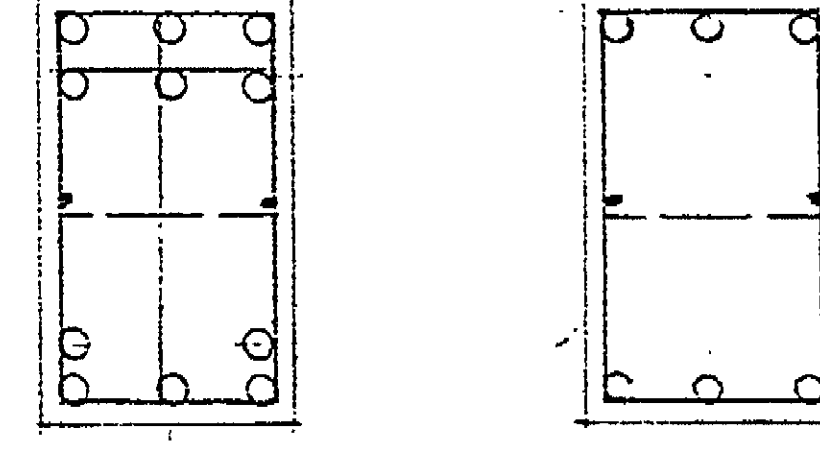
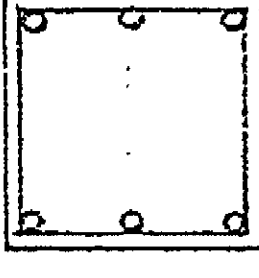
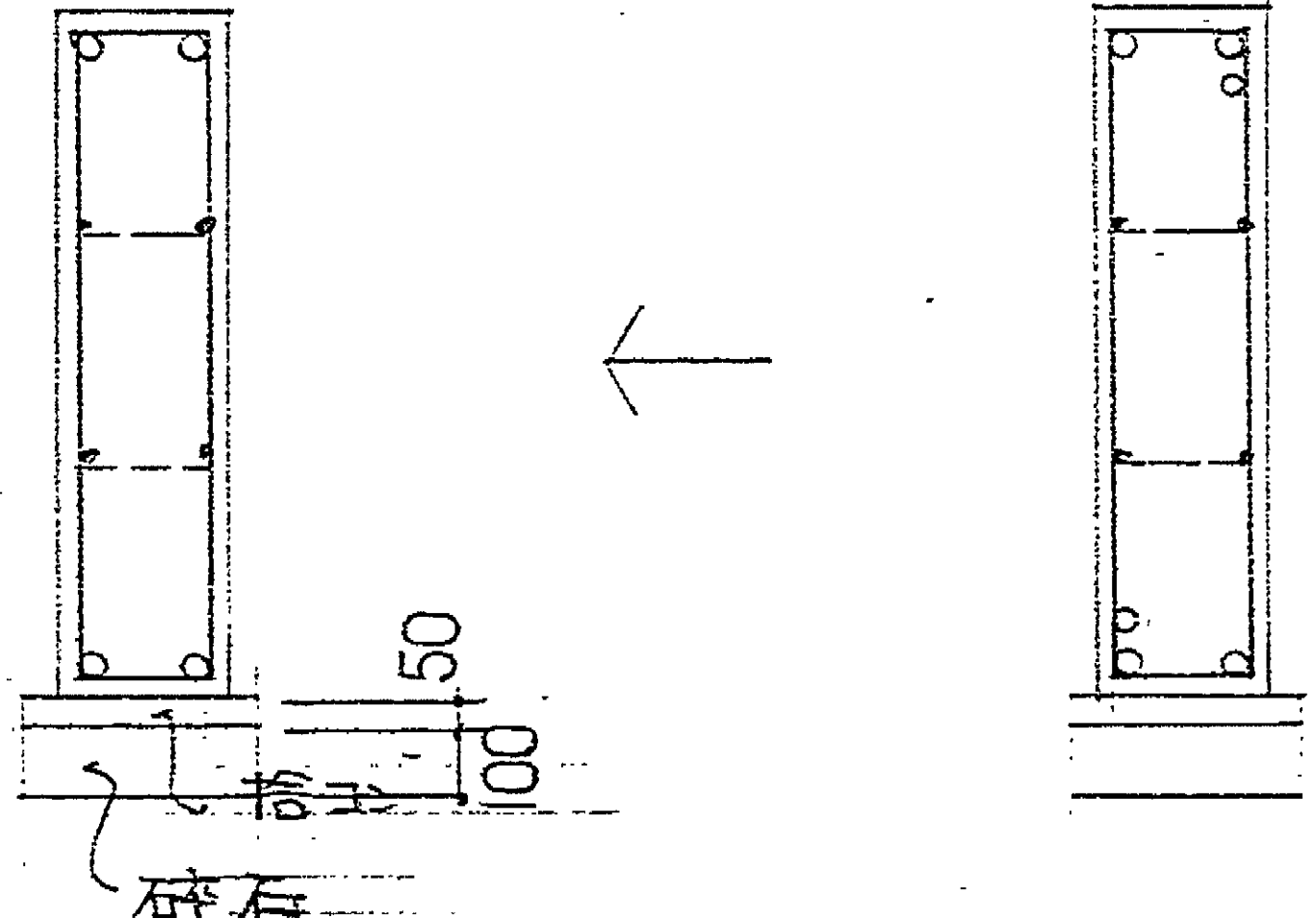
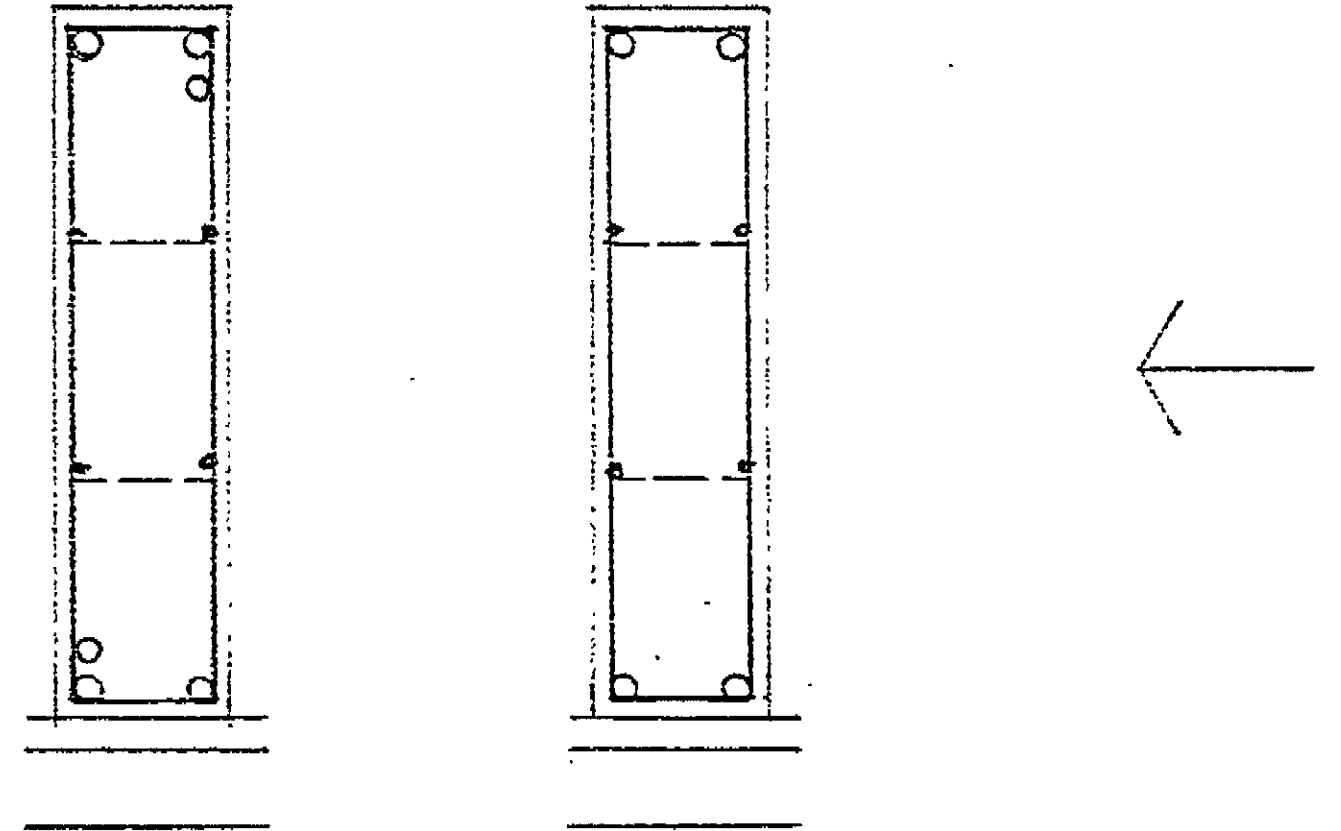
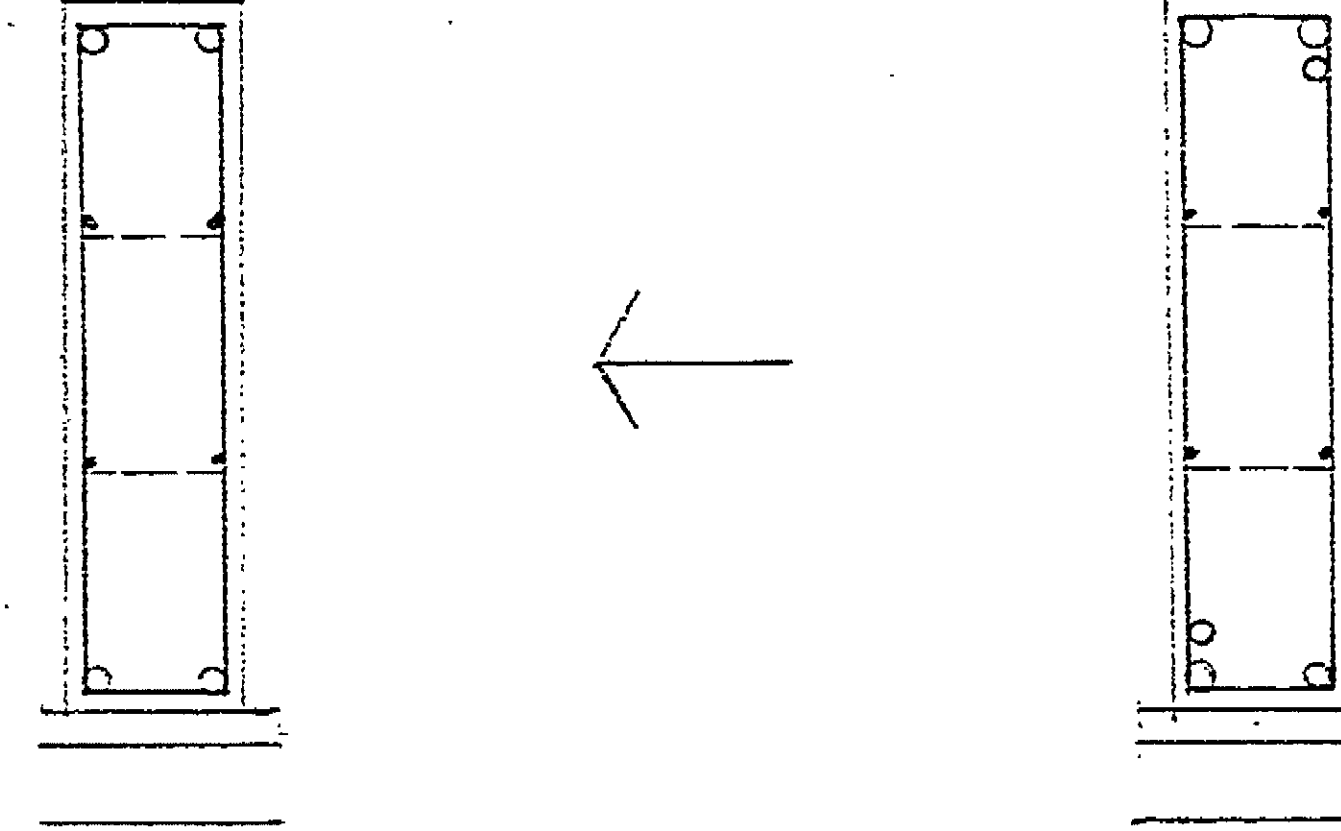
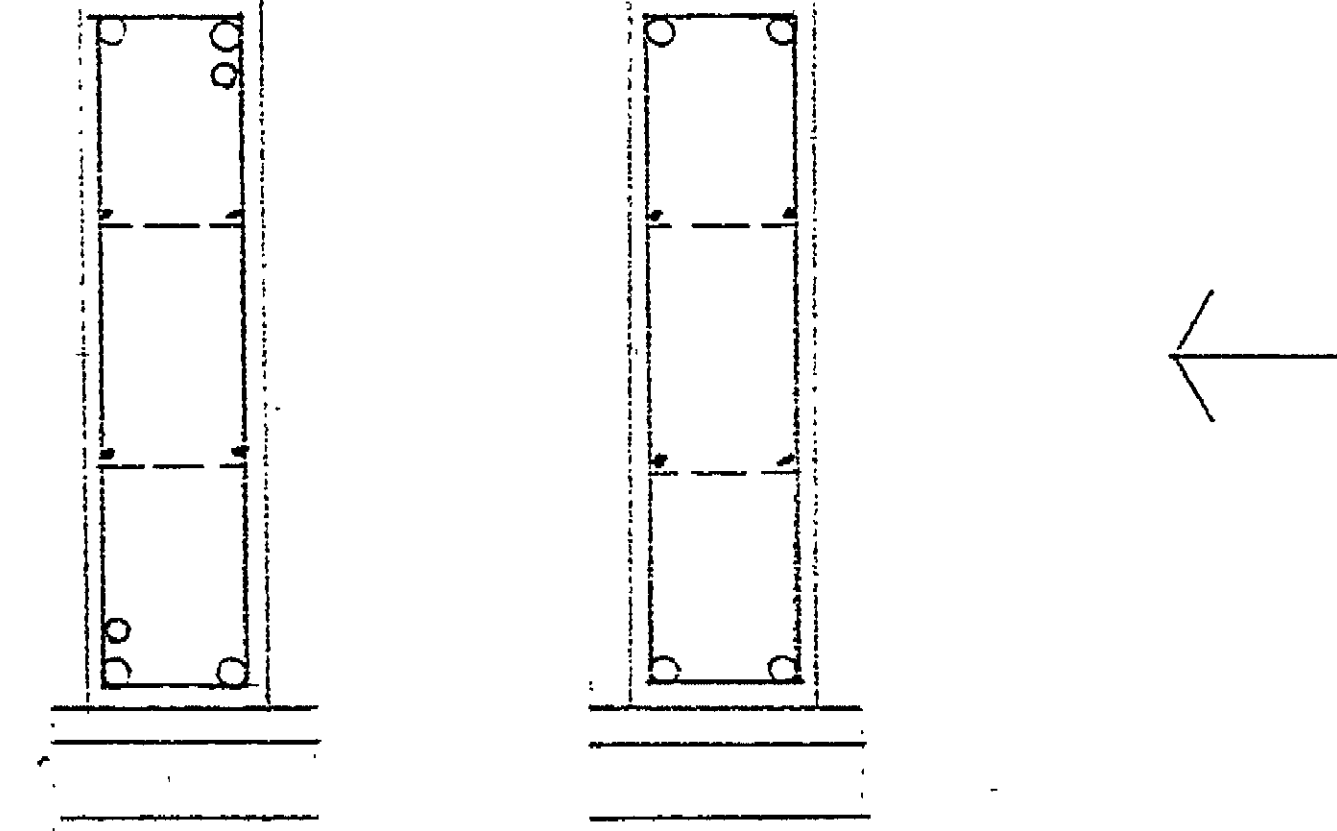
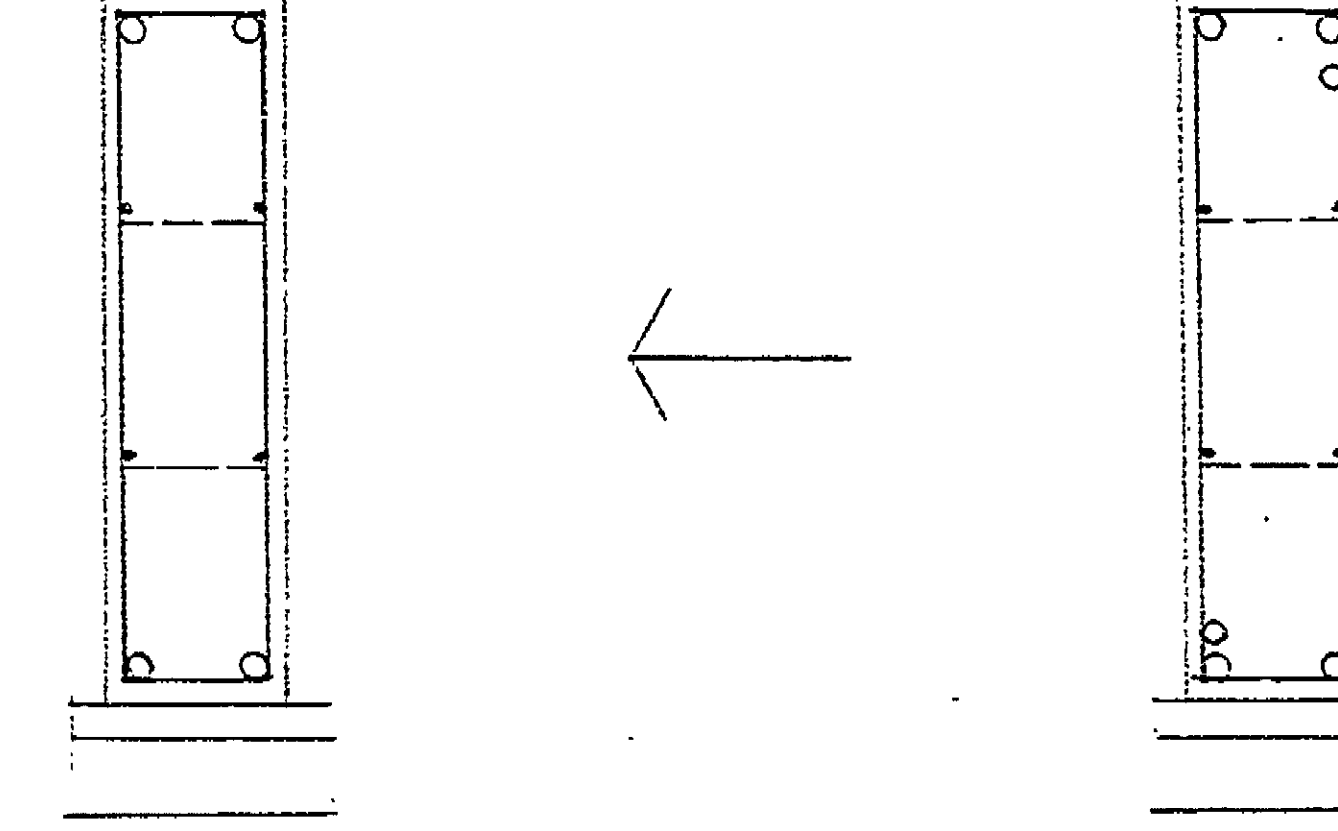
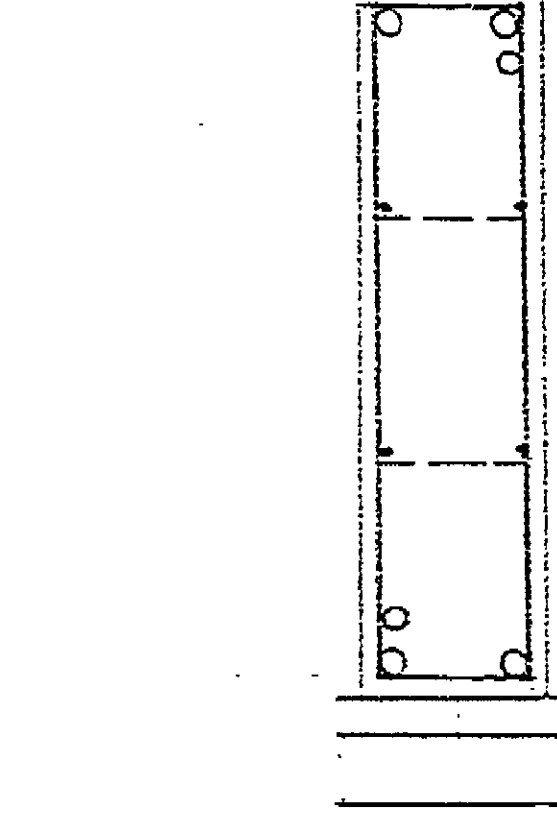
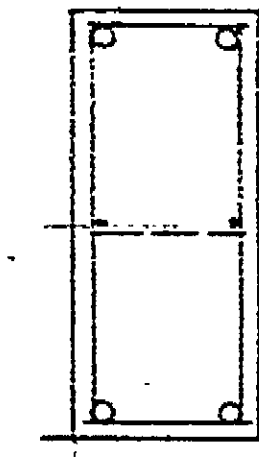


柱リスト 1/30

- 特記なき限り下記に依る
- 1 Hoop 9φ-100φ
 - 2 X-Hoop 9φ-600φ (92キ)



柱伏図 1/200

	$G_1 BC$	$G_2 AB$	$G_2 BC$	$G_3 AB$	$G_3 BC$	$G_4 AB$		B_1	
	B 端 中央 C 端	外 端 中央 内 端	内 端 中央 外 端	外 端 中央 内 端	内 端 中央 外 端	端 部 中央		全	
RG									
BXD		350 x 550		350 x 550		350 x 550			
上端筋		4-D22 2-D22 4-D22		4-D22 2-D22 5-D22		4-D22 2-D22			
下端筋		3-D22 3-D22 3-D22		2-D22 3-D22 3-D22		3-D22 3-D22			
St		9φ-200		9φ-200		9φ-200			
2G									
BXD	350 x 600	350 x 600	350 x 600	350 x 600	350 x 600	350 x 600		350 x 350	
上端筋	4-D22 3-D22 4-D22	6-D22 3-D22 5-D22	5-D22 3-D22 4-D22	6-D22 3-D22 5-D22	5-D22 3-D22 4-D22	6-D22 3-D22		3-D16	
下端筋	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 3-D22	4-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22 4-D22	5-D22 3-D22		3-D16	
St	9φ-200	9φ-200	9φ-200	9φ-200	9φ-200	9φ-200		9φ-200	
FG									
BXD	250 x 1000	250 x 1000	250 x 1000	250 x 1000	250 x 1000	250 x 1000		250 x 600	
上端筋	2-D22 2-D22 3-D22	3-D22 2-D22 2-D22	2-D22 2-D22 3-D22	3-D22 2-D22 2-D22	2-D22 2-D22 3-D22	3-D22		2-D22	
下端筋	2-D22 2-D22 3-D22	3-D22 2-D22 2-D22	2-D22 2-D22 3-D22	3-D22 2-D22 2-D22	2-D22 2-D22 3-D22	3-D22		2-D22	
St	9φ-200	9φ-200	9φ-200	9φ-200	9φ-200	9φ-200		9φ-200	
腹筋	4-9φ	4-9φ	4-9φ	4-9φ	4-9φ	4-9φ		2-9φ	

梁 リ ス ト 1/30

特記なき限り下記に依る

- 1 腰筋 2-9φ (D ≥ 600)
- 2 かんざし筋 9φ-400[Ⓢ]
- 3 中止筋 9φ-600[Ⓢ]

Hand-drawn structural drawing of a reinforced concrete slab. The drawing shows a grid of reinforcement bars with various dimensions and labels. Key labels include:

- $9\phi-400$ ⑤ (Top bars)
- $9\phi-200$ ⑥ (Bottom bars)
- $9\phi-250$ ⑦ (Bottom bars)
- $9\phi-300$ ⑧ (Corner bars)

Dimensions are given in millimeters (e.g., 450, 750, 1250, 1500, 1750, 2000, 2500, 3000, 3500, 4000, 4500). A total width of 4500 is indicated on the right side.

Hand-drawn technical drawing of a building section showing two levels of floor slabs. The top level is labeled "90-100" and "90-250". The bottom level is labeled "90-500" and "90-200". A vertical dimension of "1-130" is indicated between the two levels. The drawing shows the structural layout of the slabs and the supporting walls.

Technical drawing of a reinforced concrete slab cross-section. The drawing shows a horizontal slab with a vertical support on the left. The total width of the slab is 1310 mm. The total height of the slab is 130 mm. The top reinforcement consists of 9 bars of diameter 200 mm, with 5 bars at the top and 4 bars at the bottom. The bottom reinforcement consists of 9 bars of diameter 200 mm, with 5 bars at the bottom and 4 bars at the top. The distance between the centerlines of the top and bottom reinforcement is 150 mm. The distance from the centerline of the top reinforcement to the right edge is 200 mm. The distance from the centerline of the bottom reinforcement to the right edge is 200 mm. The drawing is labeled with dimensions and reinforcement details.

Technical drawing of a reinforced concrete slab (CS2) showing dimensions and reinforcement details. The drawing includes a plan view and a cross-section view. The plan view shows a rectangular slab with a width of 2.70 and a length of 2.00. The cross-section view shows the slab thickness and the reinforcement bars (9φ) with a diameter of 200. The drawing also shows the connection of the slab to a wall and a column.

S₂

屋上部分についてはトップ筋をのぼすこと

120

9φ-200[○]

9φ-300[○]

8-13φ

9φ-300[○]

9φ-150[○]

9φ-400[○]

9φ-400[○]

9φ-200[○]

9φ-300[○]

9φ-400[○]

5500/2

4500/2

Hand-drawn cross-section diagram of a reinforced concrete beam. The beam has a total width of 4500/2 mm and a height of 120 mm. It shows various reinforcement bars with diameters and lengths: 9φ-250, 9φ-300, 9φ-200, 9φ-500, 9φ-250, 9φ-400, and 9φ-300. There are also labels for '各1-13φ' and '4500/2'.

土間コンクリート 1/30

— 卷 1 - 130

階段	1/30
----	------

Figure 10-10 shows two diagrams illustrating reinforcement details for a beam-column joint. Diagram (a) is a section view showing the reinforcement layout for a beam-column joint. It includes dimensions such as 120, 140, 130, 20, 100, 300, and 150. Diagram (b) is a plan view showing the reinforcement layout for a beam-column joint. It includes dimensions such as 120, 140, 130, 20, 100, 300, 150, 20, 100, 300, and 150. The diagrams are labeled with reinforcement specifications: 9E-333 and 9E-200.

2階フロア 1/30	屋上フロア 1/30	防水工事 1/30
------------	------------	-----------

W 15

壁

夕テ筋	90-200
ヨコ筋	90-200
斜筋	

90 - 200 |
90 - 200 | ダブル

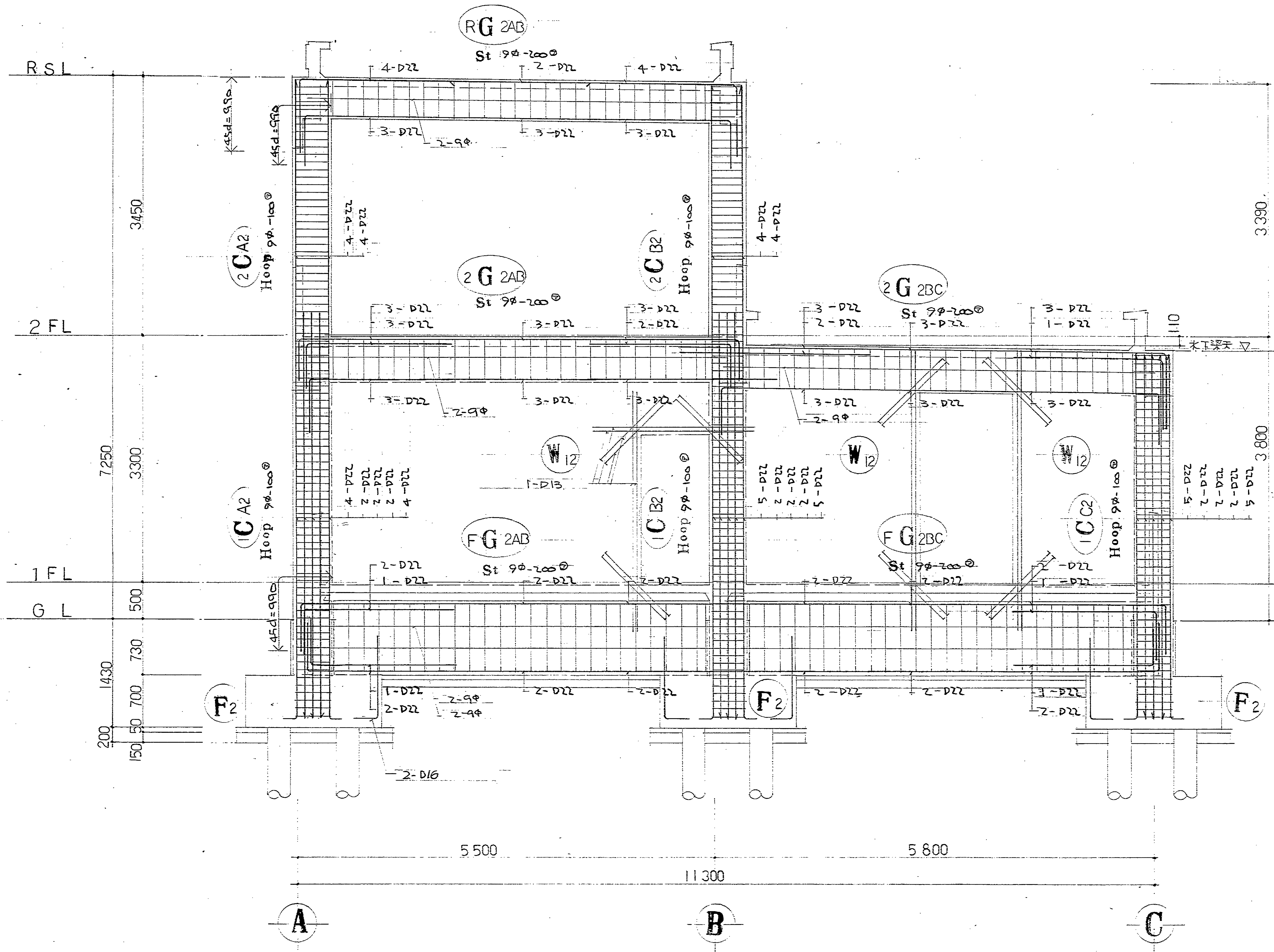
南口部補強

~~開口詩~~

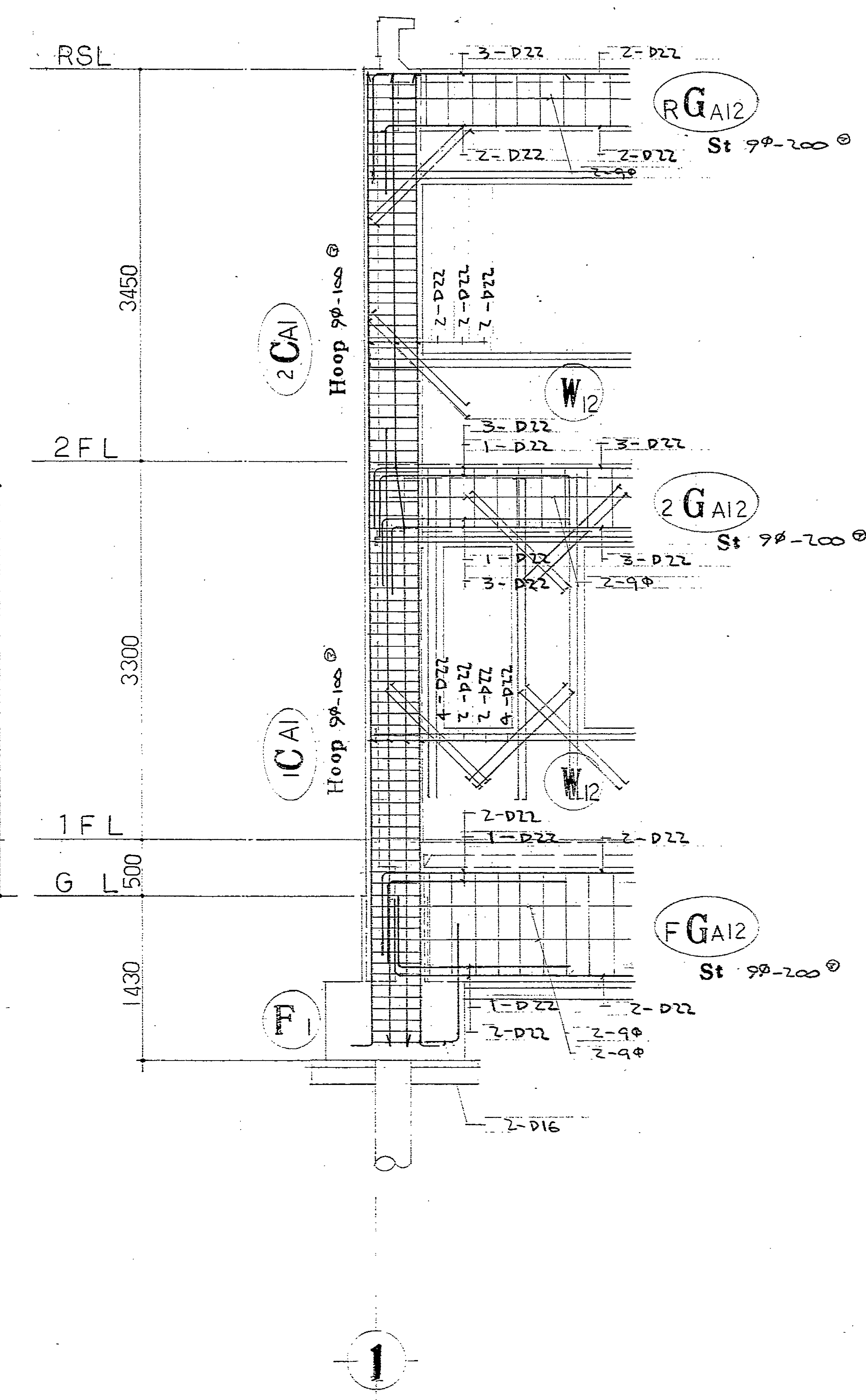
夕字筋	2 - 130
三才筋	2 - 130
斜筋	2 - 130

2 - D16
2 - D16
2 - D16

施設 コードNo	5・ 15・000
図 番	A・ 31・ 30



2列配筋図 1/50



1列配筋図 1/50